

第3回

王寺町総合計画(第2期総合戦略)効果検証のための 成果指標(数値目標・KPI)進捗状況

令和5年6月

王寺町

目次

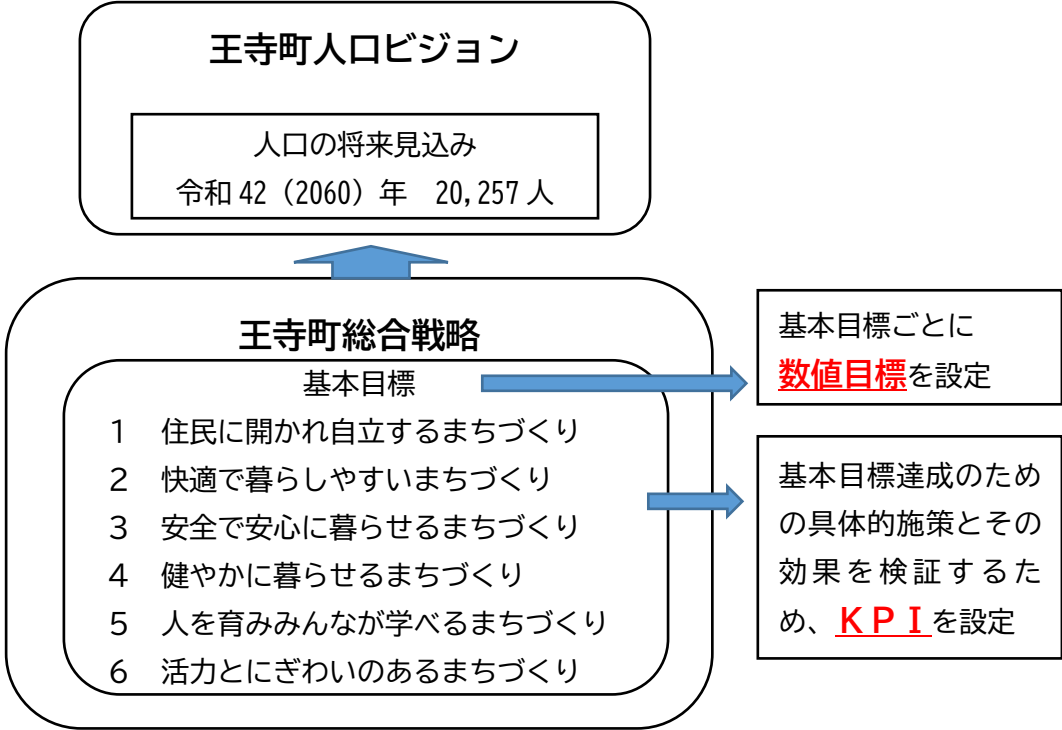
1. 第2期王寺町総合戦略について	1
2. 王寺町総合戦略におけるPDCAサイクル	1
3. 評価について	2
4. 第2期王寺町総合戦略の体系と重要業績評価指標（KPI）数	3
5. 数値目標の状況	4
6. 重要業績評価指標（KPI）の状況	4
7. 成果指標（数値目標・KPI）の見方	5

◎成果指標（数値目標・KPI）

1 住民に開かれ自立するまちづくり	6
2 快適で暮らしやすいまちづく	15
3 安全で安心して暮らせるまちづくり	25
4 健やかに暮らせるまちづくり	30
5 人を育みみんなが学べるまちづくり	40
6 活力とにぎわいのあるまちづくり	56

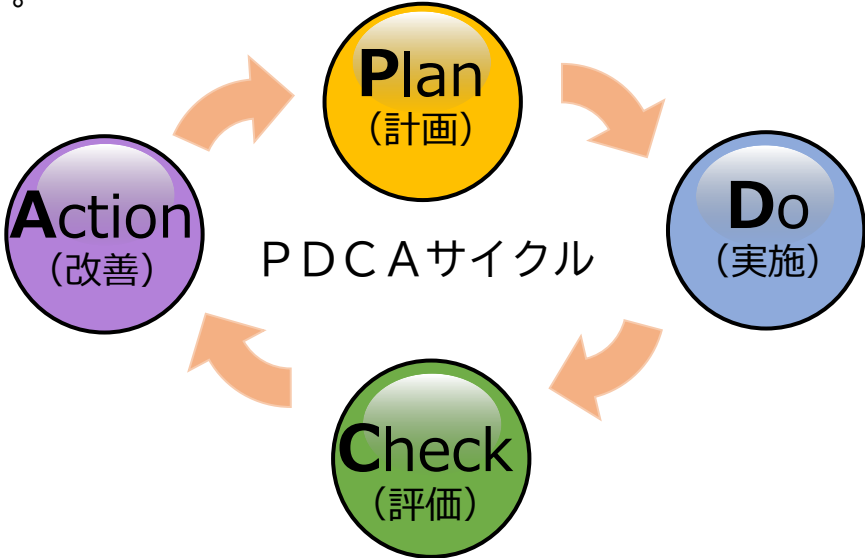
1. 第2期王寺町総合戦略について

第2期王寺町総合戦略では、王寺町人口ビジョンにおける人口の将来見込みを達成するために必要な3つの基本目標を設定しています。基本目標それぞれに数値目標を設定し、基本目標を達成するため基本的方向及び具体的施策を定め、具体的施策には重要業績評価指標（K P I）を定めています。



2. 王寺町総合戦略におけるPDCAサイクル

王寺町総合戦略に位置づける施策（取組）を実効性のあるものとするため、毎年度、施策の効果検証を行います。

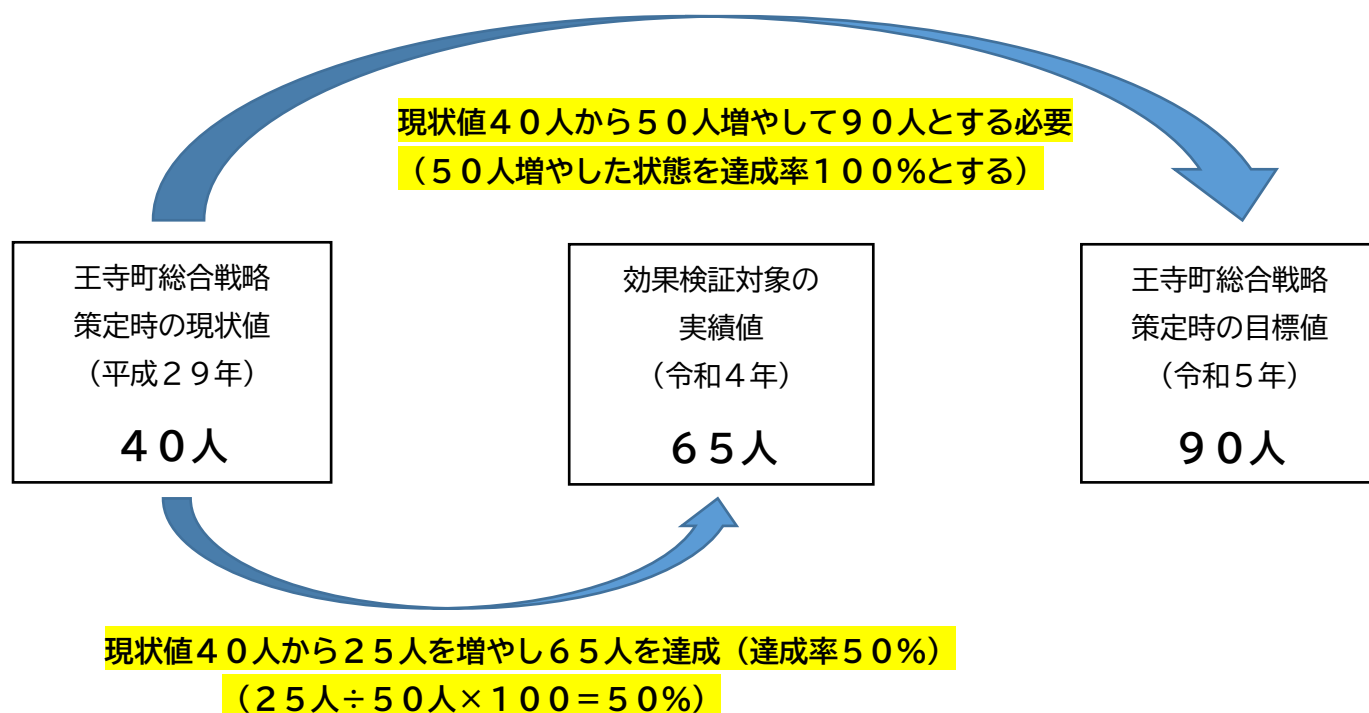


P（Plan:計画）	総合戦略の策定
D（Do:実施）	施策（取組）の着実な実施
C（Check:評価）	実施した施策（取組）の効果をK P I等により検証
A（Action:改善）	必要に応じた総合戦略の改定

3. 評価について

(1) 重要業績評価指標（K P I）達成率の考え方

例：平成29年の現状値が40人、令和5年の目標値が90人（50人増加させる必要）というK P Iにおいて、効果検証の対象である令和4年の実績値が65人（実績が25人の増加）であった場合、達成率は50%と表します。



(2) 評価の視点について

「具体的施策」ごとに区切ってK P Iの達成率の状況を説明させていただきますので下記の視点でA B C Dの4段階評価をお願いします。

評価につきましては、コメントとともに「王寺町総合計画（第2期総合戦略）効果検証の評価・意見」シートにご記入をお願いします。

- ・評価の視点：施策が目標の達成に寄与したか。
長期的な効果が見込めるか。
事業の進め方、事業内容、実施主体は適切か。
- ・評価 A：高い効果が得られた。
B：一定の効果が得られた。
C：やや不十分な効果にとどまった。
D：効果は不十分もしくは見られなかった。

4. 第2期王寺町総合戦略の体系と重要業績評価指標(KPI)数

基本目標 (6項目)	基本的方向(6項目)	具体的施策(19項目)	KPI数 (83個)
1 住民に関われ自立するまちづくり	協働による仕組みづくりや効率的な行政経営により、行政サービスの充実を図る	(1) 協働の仕組みの構築	4
		(2) お互いを尊重するまちづくり	4
		(3) 健全で効率的な行財政運営	5
2 快適で暮らしやすいまちづくり	都市基盤の整備、環境や景観への配慮により、快適に暮らし続けられる町をつくる	(4) 都市基盤の充実	6
		(5) 交通ネットワークの整備	4
		(6) 環境への配慮	4
		(7) 水と緑の保全と創出	2
3 安全で安心に暮らせるまちづくり	住民が安心して暮らし続けられる安全な町をつくる	(8) 地域防災の充実	4
		(9) 日常生活の安全確保	2
4 健やかに暮らせるまちづくり	健康寿命奈良県一を目標に、高齢者、障害者を含む誰もが健やかに暮らせる町をつくる	(10) 高齢者支援の充実	3
		(11) 障害者支援の充実	2
		(12) 健康づくりの推進	7
		(13) 地域で支え合うまちづくり	4
5 人を育みみんなが学べるまちづくり	すべての住民が生涯学び続けることができ、地域の歴史文化に親しめる町をつくる	(14) 子ども・子育て支援の充実	8
		(15) 学校教育の充実	8
		(16) 生涯学習の充実	5
		(17) 歴史文化・スポーツ活動の振興	6
6 活力とにぎわいのあるまちづくり	歴史資源を活用した観光振興により、経済の好循環を促し、にぎわいのある住み続けたいと思える町をつくる	(18) 活力の創出	3
		(19) 交流の促進	2

5. 数値目標の状況

基本目標	数値目標名	達成状況		進捗率
		達成	未達成	
1 住民に開かれ自立するまちづくり	(1) 月に1回以上地域活動に参加する人の割合		○	▲158.5%
2 快適で暮らしやすいまちづくり	(1) 人口の社会増(転入者数－転出者数)		○	9.0%
3 安全で安心に暮らせるまちづくり	(1) 防災訓練を実施している自主防災組織の数		○	▲8.9%
	(2) 防災士資格者数	○		125.9%
4 健やかに暮らせるまちづくり	(1) 健康寿命(65歳の平均自立期間)の県内市町村における順位〔男性〕		○	－
	(2) 健康寿命(65歳の平均自立期間)の県内市町村における順位〔女性〕		○	－
5 人を育みみんなが学べるまちづくり	(1) 合計特殊出生率		○	▲277.8%
6 活力とにぎわいのあるまちづくり	(1) 王寺町内での新規起業件数(累計)	○		110.0%
	(2) 人口の社会増(転入者数－転出者数)【再掲】			9.0%
	(3) 町の観光入込客数	○		482.6%
	(4) 王寺町周辺宿泊者数		○	45.3%
合 計		3	7	達成項目割合 30.0%

6. 重要業績評価指標(KPI)の状況

基本目標	達成状況				達成項目割合
	達成	未達成	その他	計	
1 住民に開かれ自立するまちづくり	6	7	0	13	46.2%
2 快適で暮らしやすいまちづくり	3	12	1	16	18.8%
3 安全で安心に暮らせるまちづくり	4	2	0	6	66.7%
4 健やかに暮らせるまちづくり	4	12	0	16	25.0%
5 人を育みみんなが学べるまちづくり	6	19	2	27	31.6%
6 活力とにぎわいのあるまちづくり	1	4	0	5	20.0%
合 計	24	56	3	83	28.9%

7. 成果指標(数値目標・KPI)の見方

王寺町総合計画(第2期総合戦略)各施策の「成果指標(数値目標・KPI)」、担当部署・指標管理責任者(担当者)、「成果指標」達成に向けた進捗状況を記載しています。

各成果指標の置かれている「まちづくり目標」「政策」「施策」を記載しています。

目標	「住民に開かれ自立するまちづくり」	担当部署・指標管理責任者
政策	(1) 協働の仕組みの構築	総務部 政策推進課
施策	(2) 広報広聴・情報公開	

各成果指標について、基準値、実績値、目標値、基準値と実績値の差、目標値に対する実績値の進捗率(傾向)、計画期間の経過年数を記載しています。

K1-2 町公式サイトへの年間アクセス件数

実績値を緑の実線、目標値を赤の破線で表示しています。

KPI	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値	
	154,068		316,752	1021.1%	170,000	185,000
	H29年度(2017)	162,584件	R4年度(2022)	4/5年目	R5年度(2023)	R10年度(2028)

H28年度末の町公式サイトリニューアルを契機に、広報紙を行い、アクセスをR2年2月以降に増やすことを目指し、WU(ウェブ)活用が高まったことを受け、視覚的に認知しやすいシグナグラムを用いた「新型コロナ」特設ページを開設。自ら情報を取得しようとする住民が増えた。また、R4年度には住民が必要な情報をタイムリーかつ容易に取得できるよう、サイト全体のデザイン・導線のリニューアルを行った。閲覧しやすい公式サイトの運営を行うよう、サイト内の情報整理を継続的に行う。

実績値が基準値より良くなっていれば「↑」、悪くなっていれば「↓」、変わらなければ「→」としています。

「成果指標(数値目標・KPI)」達成に向けて、現在の進捗状況を、成果(取り組んだこと)や指標の動き(グラフ)との関連性を分析し、記載しています。

(注) 進捗率の計算方法について
進捗率 = (実績値 - 基準値) / (目標値 - 基準値)

※数値が低い方が良くなる指標の場合
進捗率 = (基準値 - 実績値) / (基準値 - 目標値)

1 住民に開かれ自立するまちづくり

数値目標

1(1) 月に一回以上地域活動に参加する人の割合

K P I

政策(1) 協働の仕組みの構築

K1-1 協働によるまちづくりについて推進すべきと考える人の割合

K1-2 町公式サイトへの年間アクセス数

K1-3 町公式SNSのフォロワー数

K1-4 行政の透明度に関する満足度

政策(2) お互いを尊重するまちづくり

K2-1 人権学習懇談会の参加者数

K2-2 人権啓発・人権教育に関する重要度

K2-3 25～44歳女性の就業率

K2-4 町が設置する審議会等における女性委員の割合

政策(3) 健全で効率的な行財政運営

K3-1 電子申請が可能なサービスにおける電子申請利用率（個人からの申請に係るもの）

K3-2 人口に対するマイナンバーカード交付率

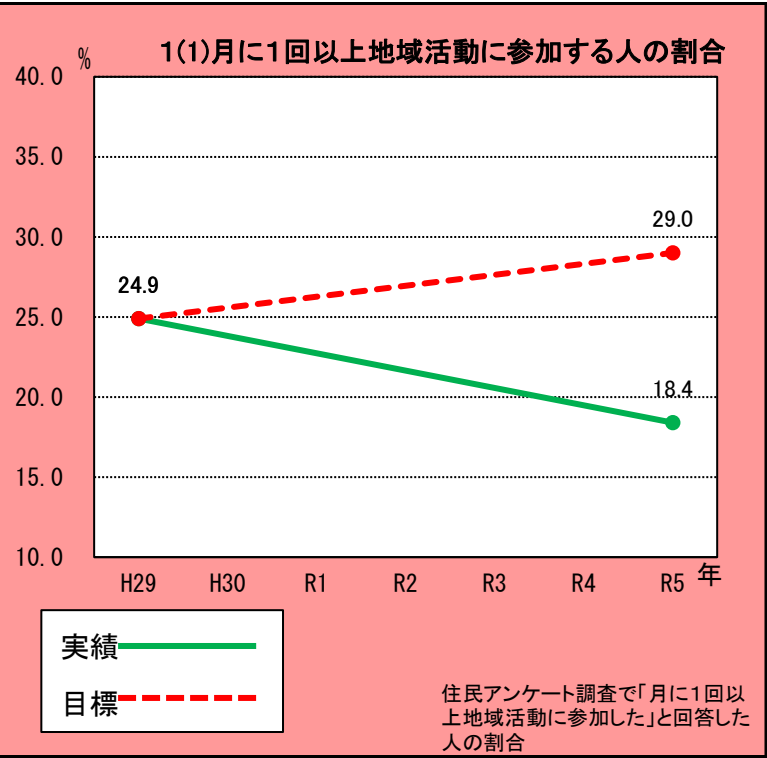
K3-3 行財政運営に関する満足度

K3-4 経常収支比率

K3-5 市町村間の広域連携によって進めた事業数（累計）

数値目標

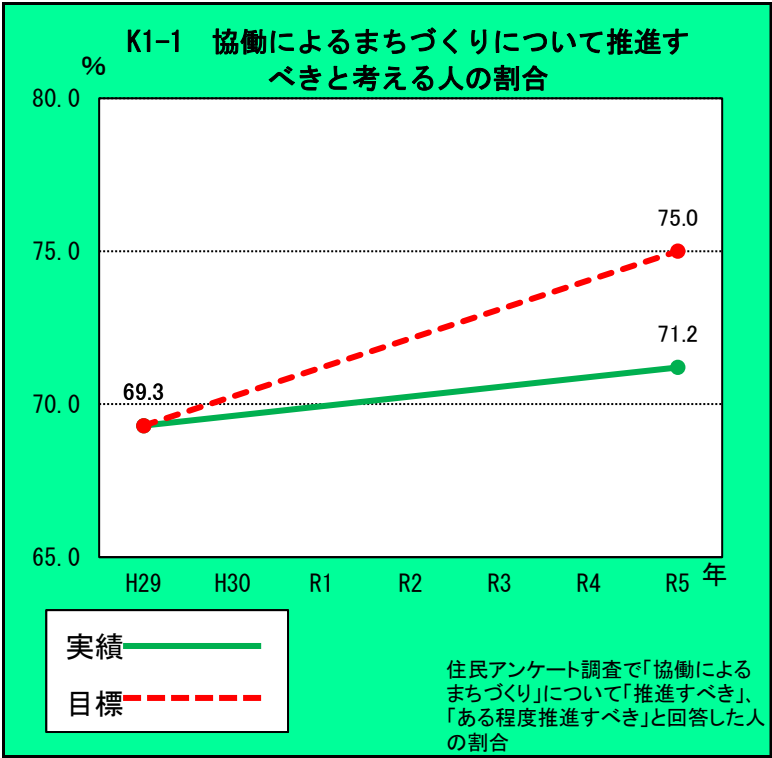
基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり	担当部署・指標管理責任者
基本的方向	協働による仕組みづくりや効率的な行政運営により、行政サービスの充実を図る	総務部 部長 幸田 芳和



数値目標	1(1)月に1回以上地域活動に参加する人の割合					
	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値	
	24.9	↓	18.4	-158.5%	29.0	33.0
進捗状況	H29年 (2017)	-6.5 %	R5年 (2023)	5 5 年目	R5年 (2023)	R10年 (2028)
	町民の協働意識を確立するため、町政運営の主体である町民・議会・行政の役割や、まちづくりに関する基本的な事項を定めた「王寺町まちづくり基本条例」をR3年4月より施行した。					
	R2年からコロナ禍の影響で地域活動が余儀なく停止されたことで参加者も減少したが、R4年度にはクリーンキャンペーンを再開、また、新たに開校した義務教育学校通学路の「見守りボランティア」にも多くの町民の皆様に参加いただいている。					
進捗状況	引き続き、自治会を中心とした地域課題解決のための組織「まちづくり協議会」の設立に向けた町民ワークショップなど地域との接点、交流機会を増やしながら地域活動への参加を促していく。					

目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
政策	(1) 協働の仕組みの構築
施策	(1) 参画・協働

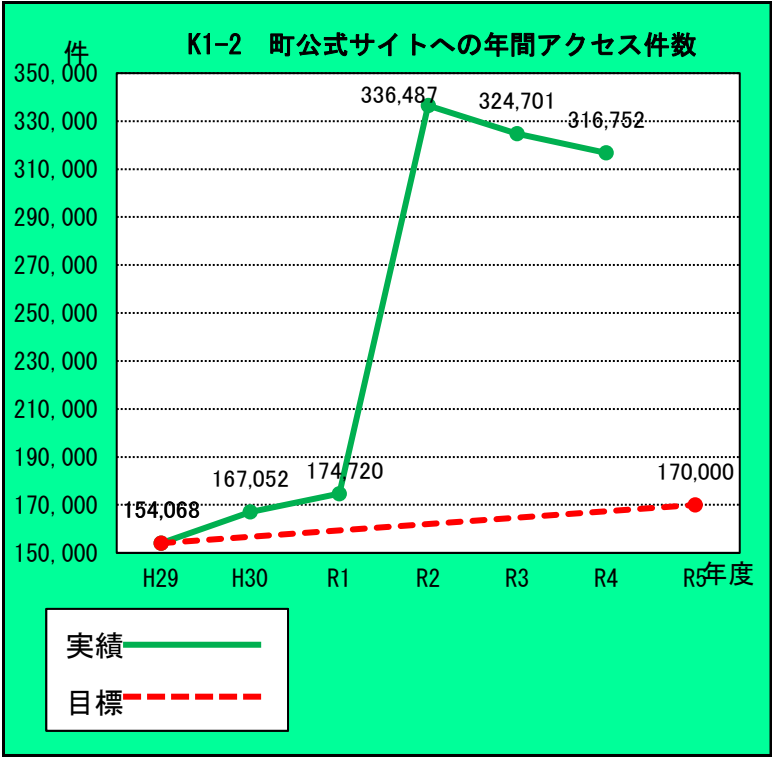
担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇



K1-1 協働によるまちづくりについて推進すべきと考える人の割合					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	69.3	↑	71.2	33.3%	75.0 80.0
	H29年度 (2017)	1.9 %	R5年度 (2023)	5年目	R5年 (2023) R10年 (2028)
進捗状況	王寺町民の協働意識を確立するため、町政運営の主体である町民・議会・行政の役割や、まちづくりに関する基本的な事項を定めた「王寺町まちづくり基本条例」をR3年4月に施行した。 現在、自治会を中心とした地域課題解決のための組織「まちづくり協議会」の設立を目指し、北、中央、南エリアの3地区に分けて4回のワークショップを開催し、新たな町民の参画を促している。町民ワークショップを重ねる中で、地域の課題が共有され地域の人々の交流を深めていくことと併せて、活動のコアとなるキーマンの発掘も進めていく。				

目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
政策	(1) 協働の仕組みの構築
施策	(2) 広報広聴・情報公開

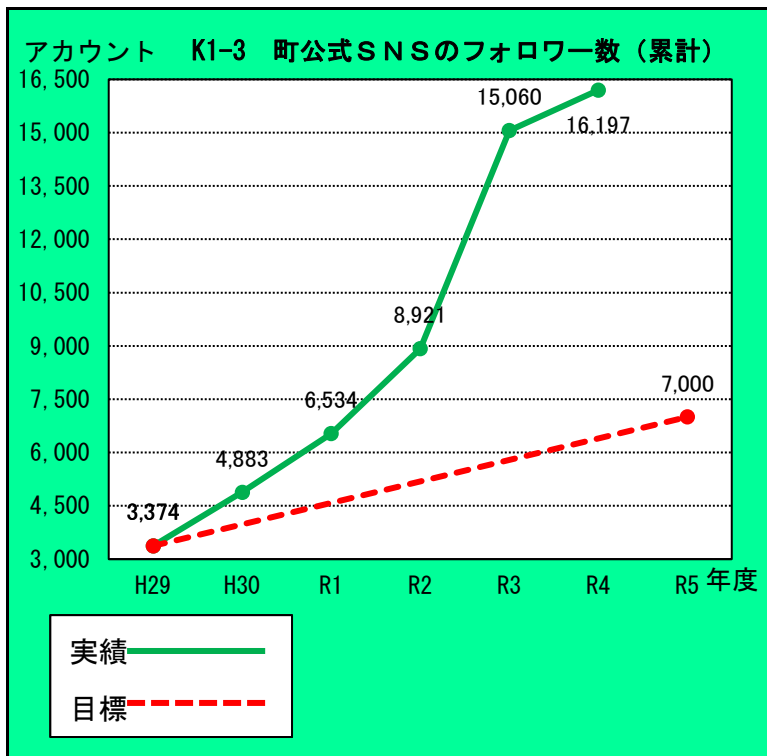
担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇



K1-2 町公式サイトへの年間アクセス件数					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	154,068	↑	316,752	1021.1%	170,000 185,000
	H29年度 (2017)	162,684 件	R4年度 (2022)	4年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	H28年度末の町公式サイトリニューアルを契機に、広報紙からQRコードを用いたの公式サイト誘導を行い、アクセス数は堅調に推移した。 R2年2月以降、コロナ禍によってその支援や予防対策、ワクチン接種等の行政が発信する情報への関心が高まったことを受け、視覚的に認知しやすいピクトグラムを用いた「新型コロナ」特設ページを開設。自ら情報を取得しようとする住民が増えた。 また、R4年度には住民が必要な情報をタイムリーかつ容易に取得できるよう、サイト全体のデザイン・導線のリニューアルを行った。閲覧しやすい公式サイトの運営を行うよう、サイト内の情報整理を継続的に行う。				

目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
政策	(1) 協働の仕組みの構築
施策	(2) 広報広聴・情報公開

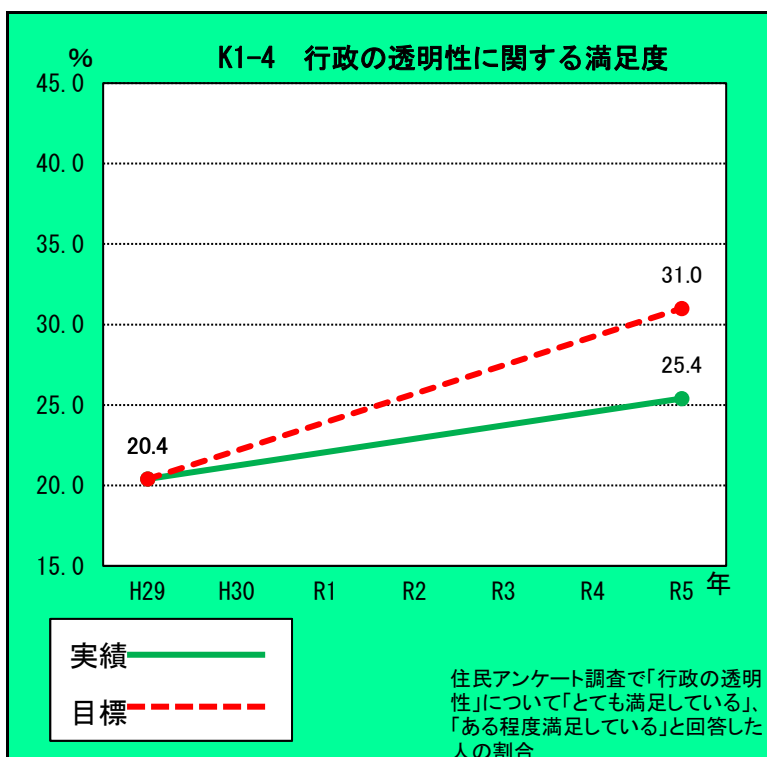
担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇



K1-3 町公式SNSのフォロワー数（累計）					
KPI	基準値	実績値	進捗率 (傾向)	目標値	
	3,374	16,197	353.6%	7,000	10,000
	H29年度 (2017)	R4年度 (2022)	4 5 年目	R5年度 (2023)	R10年度 (2028)
進捗状況	Facebook、LINE、Instagramの3種のSNSを運用しているが、コロナ情報をまとめてLINEで発信した影響もありLINE登録者が大幅に増えR3年度末にはR10年度の目標であったフォロワー数を上回ることとなった。 R4年7月にLINEの機能を拡張しゴミ収集日の通知など住民が必要な情報を選択できる機能を設けた。 今後も住民の利便性を高めるターゲット別のSNSによる発信を効果的に行い、さらなるフォロワー増を図る。 ○R4年度末時点のSNS別フォロワー数 ・Facebook 4,485アカウント ・LINE 10,620アカウント ・Instagram 1,092アカウント				

目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
政策	(1) 協働の仕組みの構築
施策	(2) 広報広聴・情報公開

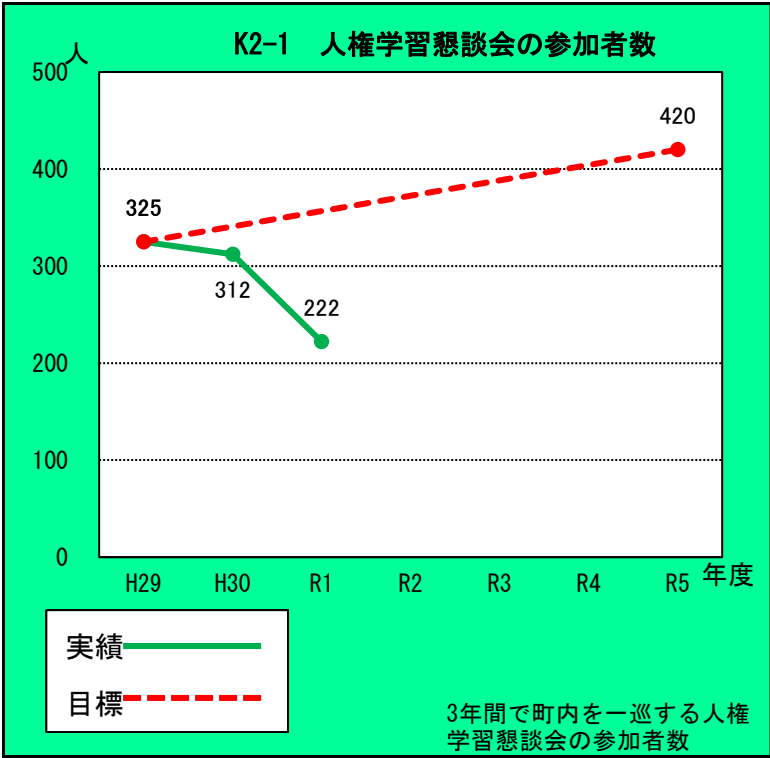
担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇



K1-4 行政の透明性に関する満足度					
KPI	基準値	実績値	進捗率 (傾向)	目標値	
	20.4	25.4	47.2%	31.0	40.0
	H29年 (2017)	R5年 (2023)	5 5 年目	R5年 (2023)	R10年 (2028)
進捗状況	行政の透明性の向上と、民間によるデータの二次利用に資するため、国（内閣官房）作成のガイドラインに沿って、町が保有する情報のオープンデータ化を進め、公式サイトに掲載している。 ○公開済のオープンデータ数 ・国推奨…13データ ・町独自…2データ 今後、広報紙や町公式サイト、SNSを活用し、必要な情報を届けるべきターゲットへ確実に発信し、行政への信頼向上を図る。				

目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
政策	(2) お互いを尊重するまちづくり
施策	(3) 人権

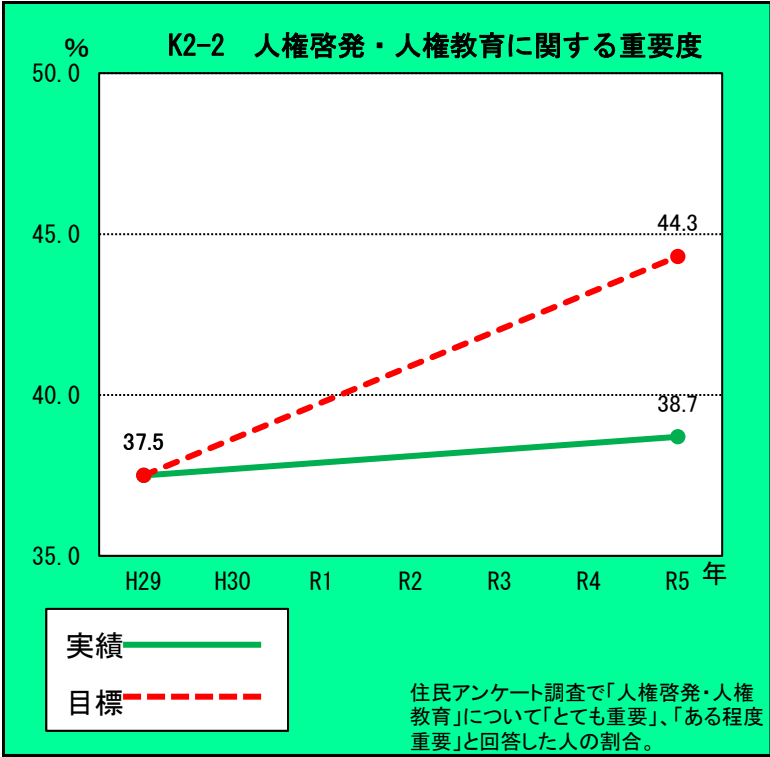
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 生涯学習課 課長 川中 孝茂



K2-1 人権学習懇談会の参加者数					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	325	↓	222	-108.4%	420
	H29年度 (2017)	-103 人	R1年度 (2019)	$\frac{1}{5}$ 年目	R5年度 (2023)
進捗状況	新型コロナウイルスの影響により、R2～R4年度は開催中止。 R3年度から代替事業として、「人権出前講座」を開催し、R3年度は、2団体35人、R4年度は、2団体100人の参加があった。 今後は、自治会や学校等と連携し、多くの住民が積極的に参加できるよう、内容等の見直しを検討していく。				

目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
政策	(2) お互いを尊重するまちづくり
施策	(3) 人権

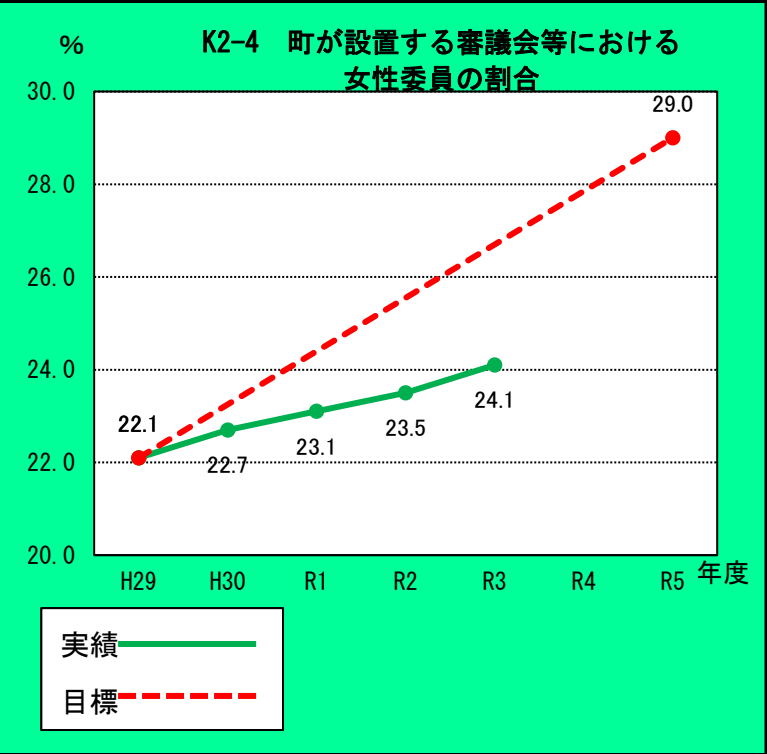
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 生涯学習課 課長 川中 孝茂



K2-2 人権啓発・人権教育に関する重要度					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	37.5	↑	38.7	17.6%	44.3
	H29年 (2017)	1.2 %	R5年 (2023)	$\frac{5}{5}$ 年目	R5年 (2023)
進捗状況	新型コロナウイルスの影響により、R4年度も毎月11日に実施している駅前啓発活動や、人権学習懇談会等を実施することができなかったが、今後は、啓発活動や広報等を通じて人権に関する重要度を高めていく。				

目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
政策	(2) お互いを尊重するまちづくり
施策	(4) 男女共同参画

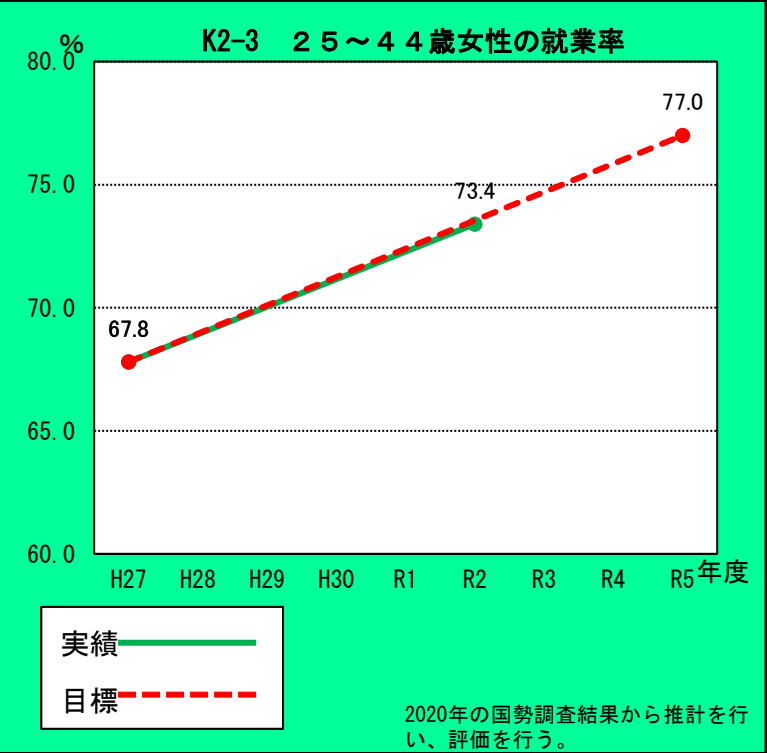
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 地域交流課 課長 片岡 篤



K2-4 町が設置する審議会等における女性委員の割合					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	22.1	↑	24.1	29.0%	29.0 35.0
	H29年度 (2017)	2.0 %	R3年度 (2021)	3/5 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	各課に働きかけを行い、審議会等の女性委員の割合増やす事の意義を文書で伝達している。 また、担当課長に多様性を認め合う社会の実現を目的にR5年3月策定の「男女共同参画計画書」を配布し、各担当課長がその意義を理解し、各委員の選定段階においての女性の登用を考え、多様性を認め合う社会の実現に取り組んでいく。				

目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
政策	(2) お互いを尊重するまちづくり
施策	(4) 男女共同参画

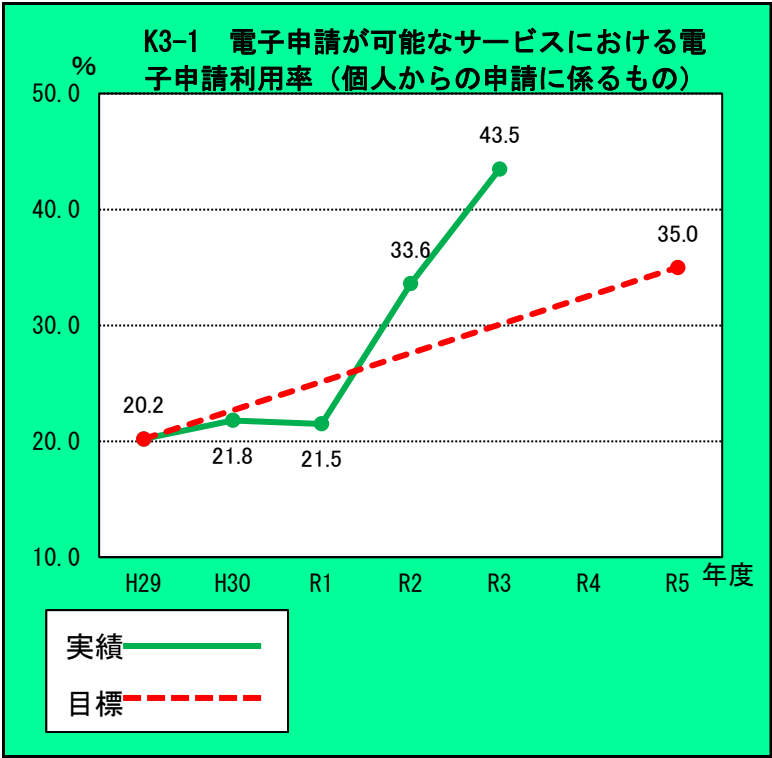
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 地域交流課 課長 片岡 篤



K2-3 25～44歳女性の就業率					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	67.8	↑	73.4	60.9%	77.0 80.0
	H29年度 (2017)	5.6 %	R2年度 (2020)	2/5 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	「まっち☆ジョブ王寺～ハローワーク」による「就職支援セミナー」「就職面接会」、奈良県事業の「女性の再就職準備相談窓口」町としてデジタル人材の育成事業（起業や再就職し易い環境づくり・男女賃金格差・就職に直結するデジタルスキルの習得促進）を実施。 また、テレワーク施設「0-terrace」を誘致し、プログラム教室など民間活力による女性の就業、起業支援の拠点づくりに取り組んだ。				

目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
政策	(3) 健全で効率的な行財政運営
施策	(5) 行政サービスの提供

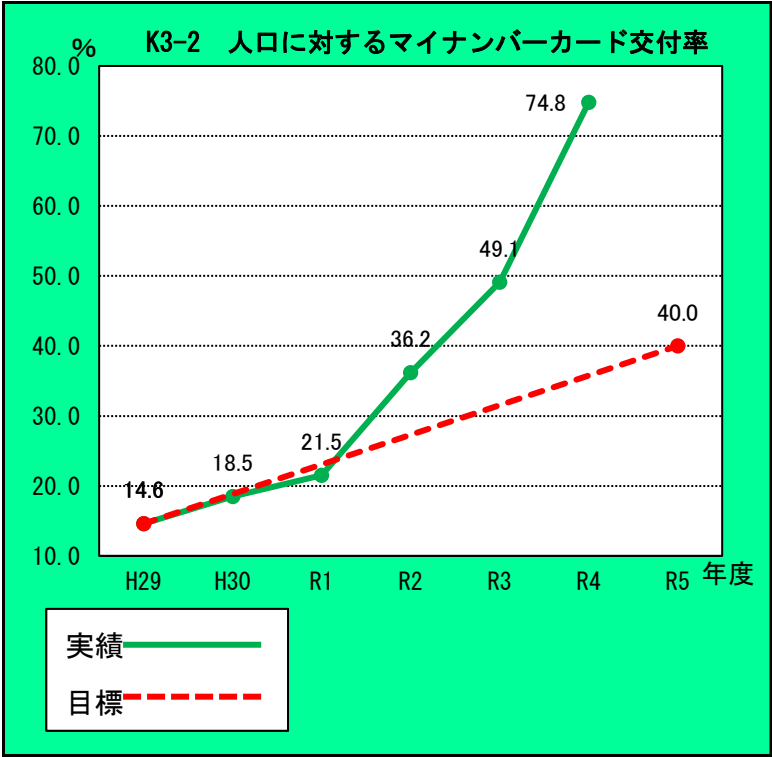
担当部署・指標管理責任者
総務部 DX推進室 課長 西口 浩美



K3-1 電子申請が可能なサービスにおける電子申請利用率（個人からの申請に係るもの）					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	20.2	↑	43.5	157.4%	35.0 50.0
	H29年度 (2017)	23.3 %	R3年度 (2021)	$\frac{3}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	文化施設や体育施設において、H29年に導入した「施設予約の電子申請システム」の利用率向上を目指し、「予約可能時間の拡大」や「施設の窓口にタブレットを設置して利用者への操作説明」をR2年度以降行ってきた。その結果、電子申請の利用率が大幅に上昇している。 また、R4年度に転入転出や子育て、介護関連といった新たな項目での電子申請環境を構築し、R5年度から受付を開始した。新たな取組については、広報紙での周知や通知文への電子申請案内同封など、幅広くPRを行っていくこととしている。				

目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
政策	(3) 健全で効率的な行財政運営
施策	(5) 行政サービスの提供

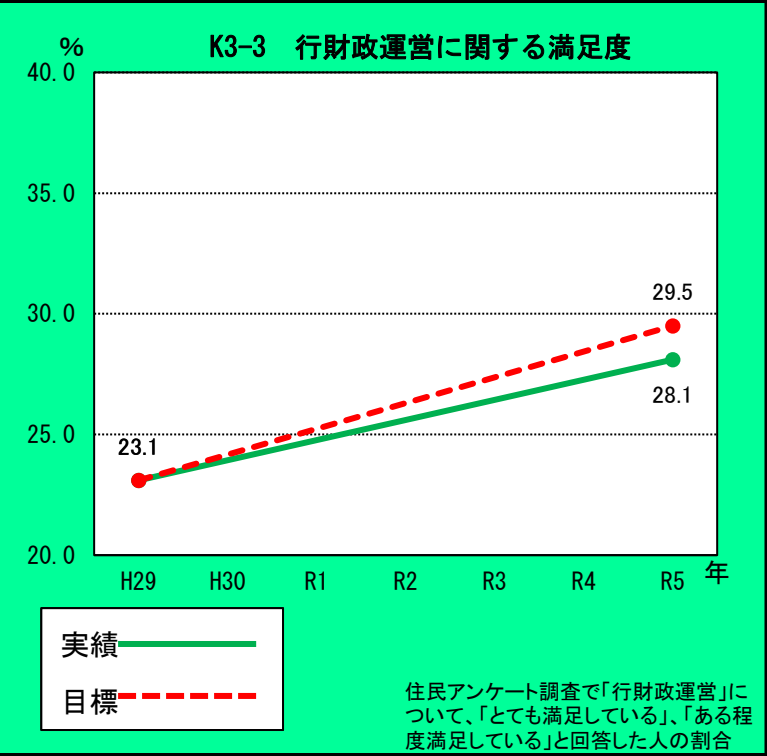
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 住民課 課長 西本 貴至



K3-2 人口に対するマイナンバーカード交付率					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	14.6	↑	74.8	237.0%	40.0 66.0
	H29年度 (2017)	60.2 %	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	マイナポイント第2弾(カードの新規取得者、健康保険証としての新規利用申込者、公金受取口座の新規登録者へのポイント付与)によりマイナンバーカードの取得者が増加し、交付率はR4年度末時点で74.8%と目標値を大きく超えた。 今後も月2回の窓口休日受付を当面継続するほか、住民票等のコンビニ交付サービスやR6年秋からのマイナンバーカードと健康保険証の一体化等に関する広報を行い、なお一層の交付率の上昇を目指す。 OR4年度交付件数(累計): 6,211件(18,097件)				

目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
政策	(3) 健全で効率的な行財政運営
施策	(6) 行政経営

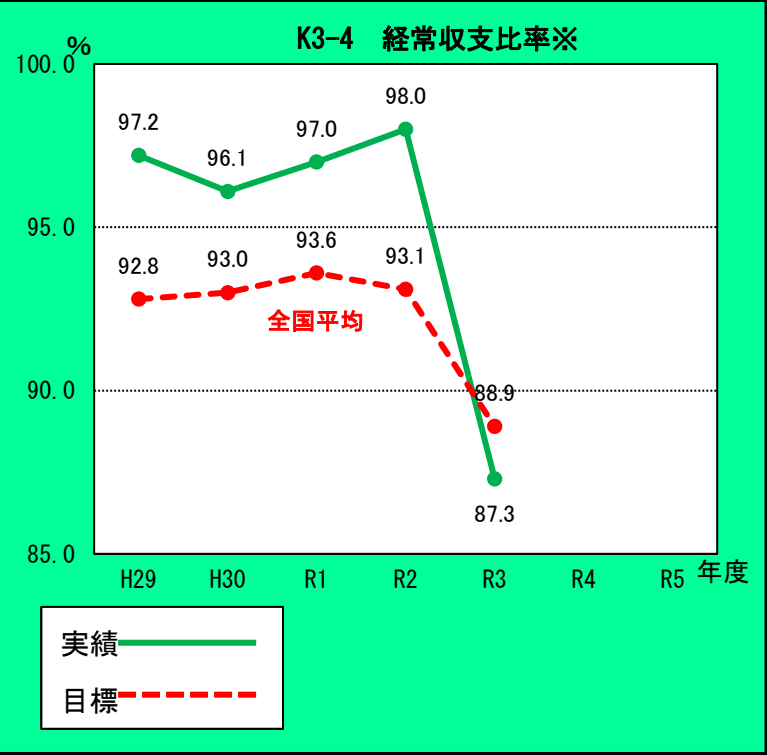
担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇



K3-3 行財政運営に関する満足度					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	23.1	↑	28.1	78.1%	29.5 35.0
	H29年 (2017)	5.0 %	R5年 (2023)	5年目	R5年 (2023) R10年 (2028)
進捗状況	自主財源の確保として、ふるさと納税を推進しており、R4年度の寄付額は61,358千円と、前年度比157% (R3年度39,014千円) の伸びとなった。引き続き、ふるさと納税を拡充するなど、多角的な財源の確保を図る。 組織体制の再編としてR5年4月から「DX推進室」を設けるとともに、国の地方創生人材支援制度を活用して専門的なデジタル知識・能力を有する「デジタル人材」の登用によりシステムの標準化やオンライン化だけでなく、町独自の事務効率化や住民サービス向上のためのデジタル化についても推進する。				

目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
政策	(3) 健全で効率的な行財政運営
施策	(6) 行政経営

担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇

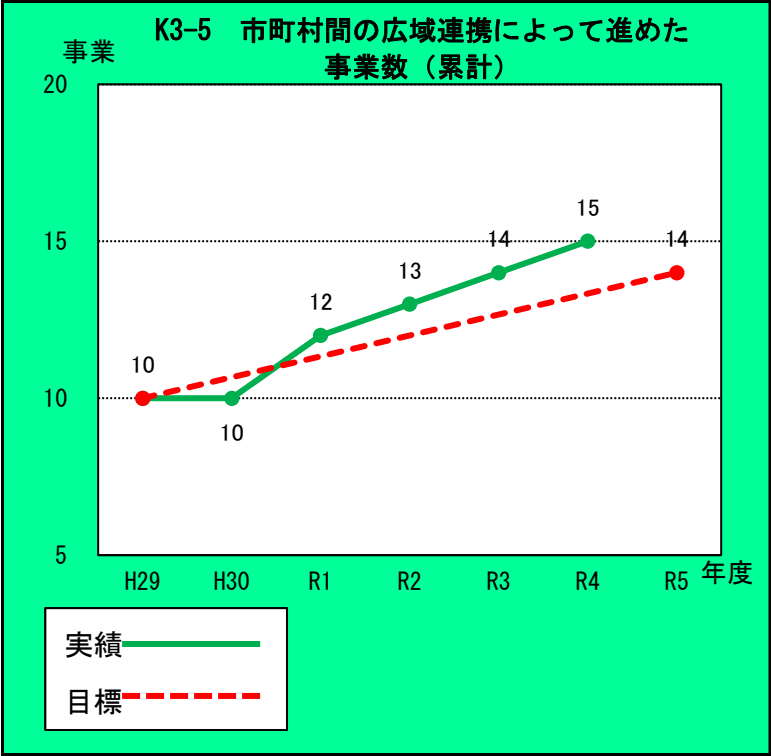


K3-4 経常収支比率※					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	88.9 全国平均	↑	87.3	101.8%	全国平均以下
	R3年度 (2021)	-1.6 %	R3年度 (2021)	3年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	R3年度の本町の経常収支比率は、国調人口増に伴う交付税の増及び臨時財政対策債の一時的な増により極端に改善している。 しかしながら、公債費や社会保障関連費等はR2年度よりも増加しており、引き続き、ふるさと納税等による税収確保とともに、スクラップ＆ビルドによる事業の見直しや業務の効率化により、経常経費の削減を図る。				

※は数値が低い方が良くなる指標です。

目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
政策	(3) 健全で効率的な行財政運営
施策	(7) 広域連携

担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇



K3-5 市町村間の広域連携によって進めた事業数（累計）					
K P I	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	10	↑	15	125.0%	14 18
	H29年度 (2017)	5 事業	R4年度 (2022)	4 年目 5	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進 捗 状 況	R1年度は、大阪府熊取町と「災害連携に係る協定」を締結したほか、西和5町と西和地域の病児保育室を設置する協定を締結した。(R2年1月に「いちごルーム」を開設)				
	R3年度は、聖徳太子ゆかりの大和郡山市、生駒郡の近隣6市町と2企業が連携して観光客誘致に取り組む「WEST NARA広域観光推進協議会」(地域DMO)が発足した。				
	また、R4年度には、中和・西和の7市町が連携し、公共施設相互利用の実証実験に向けた協定を締結した、R5年度の目標は達成している。 引き続き、行政課題に応じた広域連携を進め、R10年度の達成を目指す。				

2 快適で暮らしやすいまちづくり

数値目標

2(1) 人口の社会増（転入者数－転出者数）

K P I

政策(4) 都市基盤の充実

K4-1 「王寺町立地適正化計画」において王寺駅周辺地区域に立地誘導を図るとしている生活利便施設数

K4-1②町東部の市街化調整区域のうち、都市的な土地利用の割合

K4-2 外観調査等から特に問題となる可能性のある戸建て空き家の数

K4-3 町が実施する耐震改修補助利用件数（累計）

K4-4 管の直径 250mm 以上の基幹排水管路の耐震化率

K4-5 下水道水洗化率

政策(5) 交通ネットワークの整備

K5-1 都市計画道路の整備率

K5-2 生活道路の整備に関する満足度

K5-3 公共交通の整備に関する満足度

K5-4 関西国際空港からの1日あたり直通バスの本数

政策(6) 環境への配慮

K6-1 C C C 活動参加団体数

K6-2 クリーンキャンペーン1回当たりの産業廃棄物発生量

K6-3 一般家庭における1人1日当たりのごみ排出量

K6-4 ごみのリサイクル率

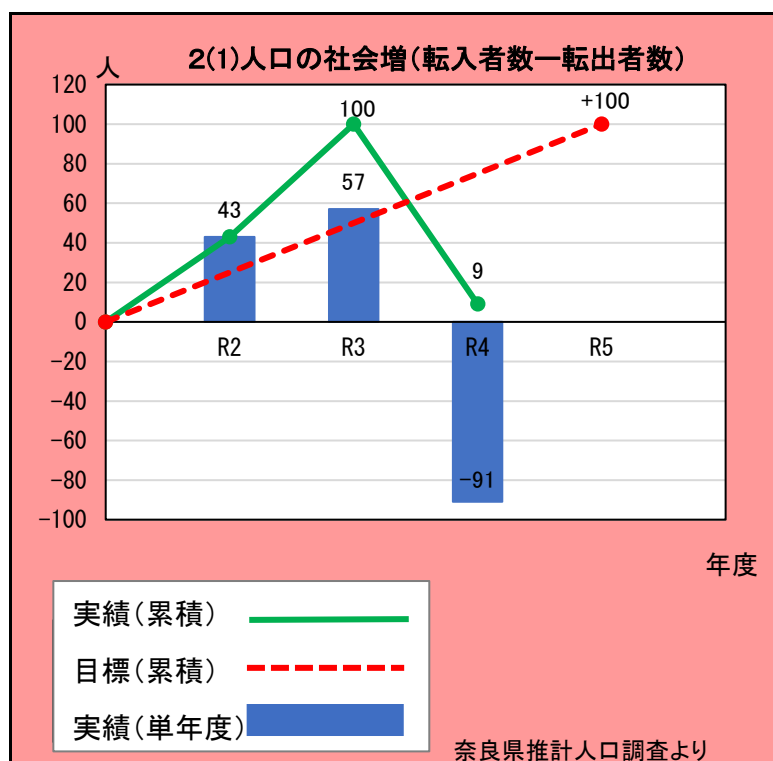
政策(7) 水と緑の保全と創出

K7-1 都市景観に関する満足度

K7-2 国道168号の無電柱化延長

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	都市基盤の整備、環境や景観への配慮により、快適に暮らし続けられる町をつくる

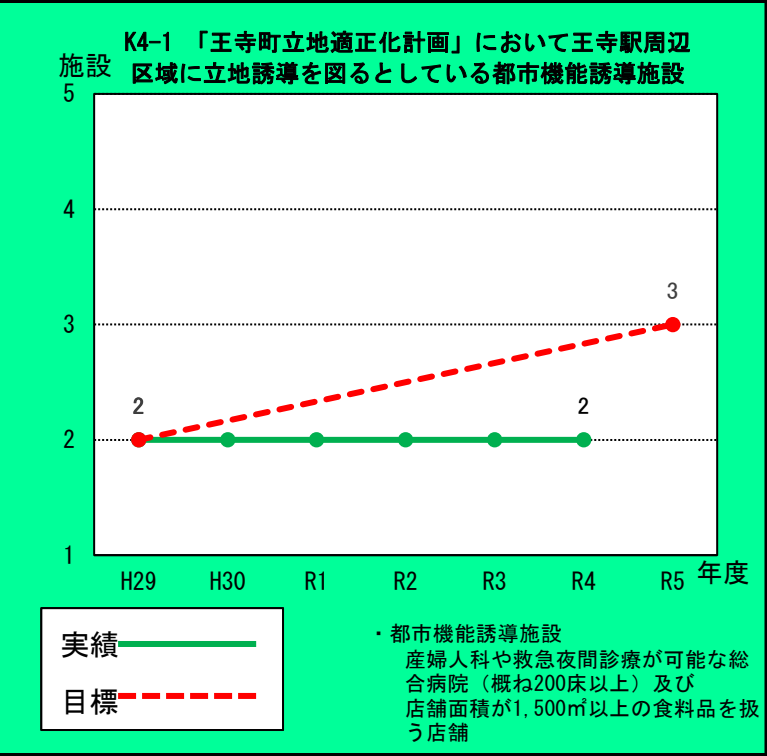
担当部署・指標管理責任者
王寺町理事 守田 景敬



2(1)人口の社会増(転入者数－転出者数)					
数値目標	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	0	↑	9	9.0%	100
進捗状況	H30年度(2018)	9人	R4年度(2022)	3/4年目	R5年度(2023)
都市基盤の整備について、王寺駅周辺への医療・福祉、商業、事業所(オフィス)等の都市機能の集積及び生活サービス機能の充実を図るため、有識者会議等で、将来のまちづくりについて協議を重ねており、R4年6月に「王寺駅周辺地区(駅北エリア)まちづくり基本計画」を策定した。 今年度は、王寺駅南エリアのまちづくり計画を定め、王寺町の中心拠点である王寺駅周辺について「西和地域の中核となる拠点機能の強化」をコンセプトに、1つの計画に取りまとめていく予定である。また、その計画を実現するため、民間活力による拠点施設の整備推進や、まちなかウォーカブルの推進、まちなみの誘導型の地区計画を定めることで、人中心の空間を創出し、良好な都市景観を形成していくことに繋がる。 引き続き、駅周辺の拠点機能を強化し、活力あふれる西和地域の拠点都市を目指す。					

目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
政策	(4) 都市基盤の充実
施策	(8) 土地利用

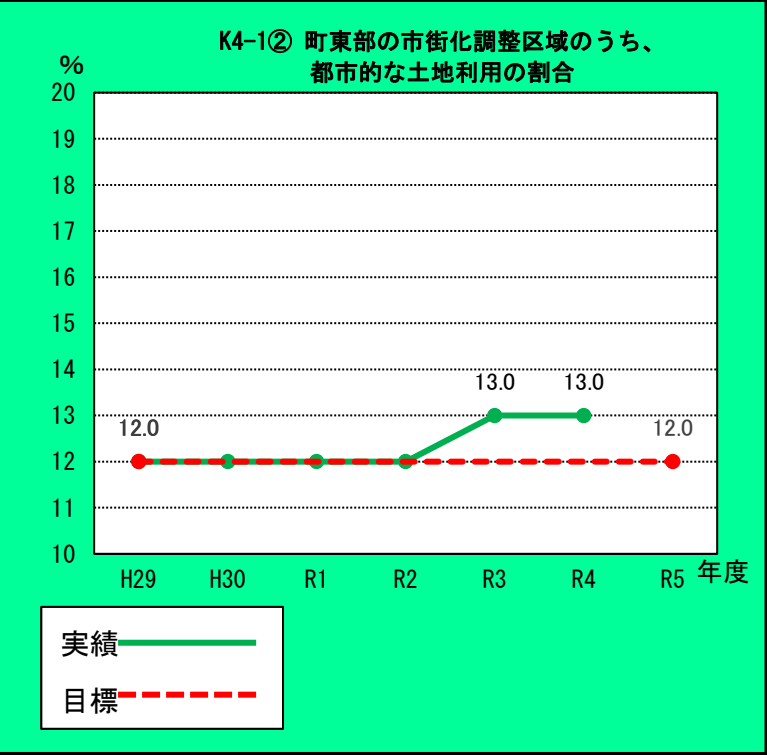
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



KPI	基準値	実績値	進捗率 (傾向)	目標値	
	2	→	2	0.0%	3 4
	H29年度 (2017)	0 施設	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	王寺町立地適正化計画では都市機能誘導施設については「総合病院(概ね200床以上)及び店舗面積が1,500㎡以上の食料品を扱う店舗」と定めている。 R4年度末において、王寺駅周辺の都市機能誘導区域には店舗面積が1,500㎡以上の食料品を扱う店舗が2店舗(西友王寺店、スーパーヤオヒコ王寺駅前店)存在する。 総合病院については駅周辺への西和医療センターの移転に向け、奈良県、地方独立行政法人奈良県立病院機構、王寺町、西日本旅客鉄道株式会社と「王寺駅周辺地区のまちづくりに関する連携協定」をR4年10月28日に締結し、王寺駅周辺地区のまちづくりに取り組んでいる。				

目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
政策	(4) 都市基盤の充実
施策	(8) 土地利用

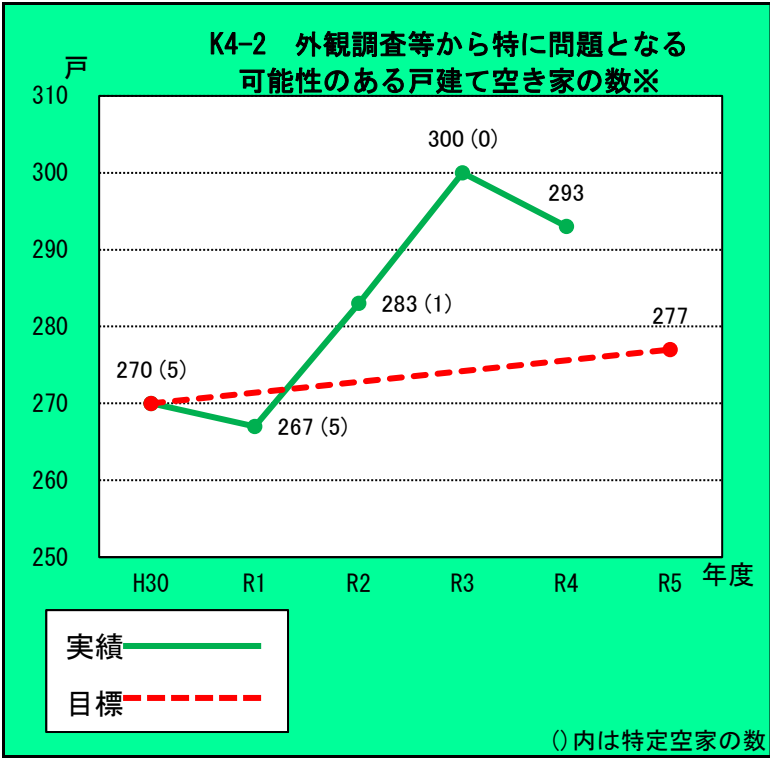
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 都市計画課 課長 西村 幸晃



KPI	基準値	実績値	進捗率 (傾向)	目標値	
	12.0	↗	13.0	—	12.0 51.0
	H29年度 (2017)	1.0 %	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	国道168号整備事業に伴う事業所移転として1件の開発があった。 今後も同様に公共事業に伴う移転開発の可能性もあり得るが、市街化区域への編入に関しても検討に向けた準備を行う。				

目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
政策	(4) 都市基盤の充実
施策	(9) 住宅環境

担当部署・指標管理責任者
地域整備部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史

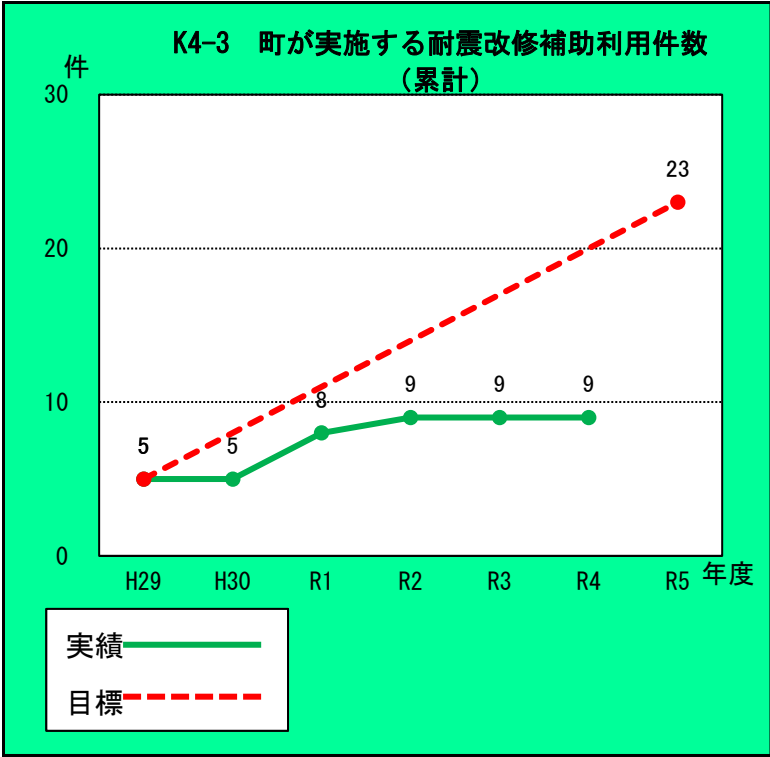


K4-2 外観調査等から特に問題となる可能性のある戸建て空き家の数※									
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値				
	270	↓	293	—	277	338			
	H29年度 (2017)	23 戸	R4年度 (2022)	<table><tr><td>4</td><td rowspan="2">年目</td></tr><tr><td>5</td></tr></table>	4	年目	5	R5年度 (2023)	R10年度 (2028)
	4	年目							
5									
進捗状況	管理不全空家等の所有者等に対して、法に基づき意見書の通知により行政指導を行っている。その結果、概ね半数の所有者等に改善措置を講じていただいた。 また、固定資産税の納税通知書に空き家対策制度を記載したリーフレットを同封し、補助金を活用した空き家の除却を促進した結果、R4年度には7件の空き家が除却された。 R5年度は、「空家等対策の推進に係る特別措置法」が改正され、管理不全となっている空家等に対して、固定資産税の住宅用地特例の解除が可能となるなど、大きく制度が変更される。このことから、空家等対策協議委員の意見も踏まえ、更なる空き家対策に取り組んでいく。								

※は数値が低い方が良くなる指標です。

目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
政策	(4) 都市基盤の充実
施策	(9) 住宅環境

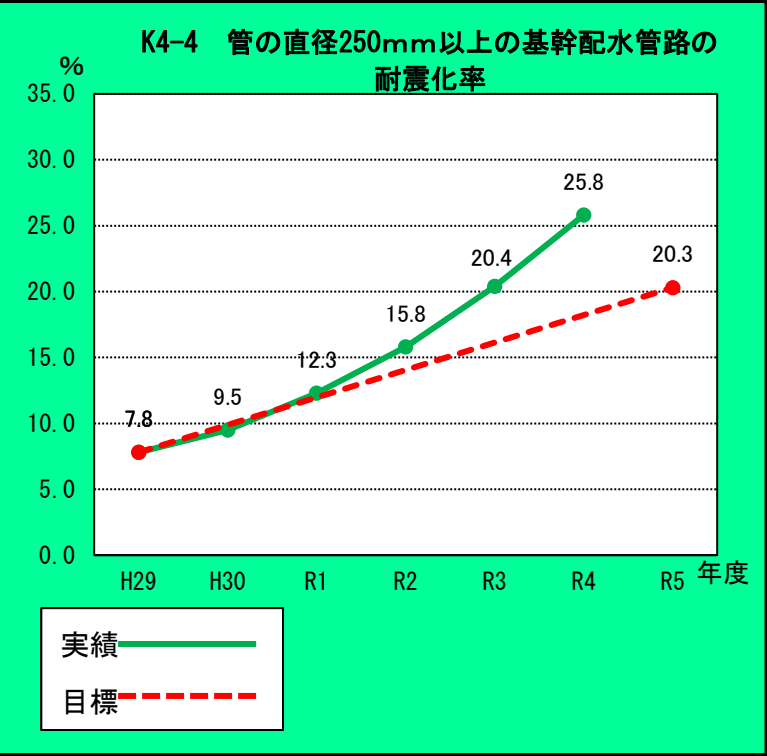
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



K4-3 町が実施する耐震改修補助利用件数 (累計)					
KPI	基準値	実績値	進捗率 (傾向)	目標値	
	5	9	22.2%	23	38
	H29年度 (2017)	R4年度 (2022)	4/5 年目	R5年度 (2023)	R10年度 (2028)
進捗状況	町内にある不動産所有者へは耐震化の重要性和耐震改修の補助制度を記載したリーフレットを固定資産税の納税通知書へ同封し啓発を続けている。さらに、耐震フォーラムの開催により、住宅の耐震化の重要性について参加者に周知を行っている。 なお、R4年度耐震フォーラムに6組の参加があり、内1組が耐震診断を実施された。さらに、過去に耐震診断を実施した方に対して、診断実施後の耐震化への動向についてヒアリングを行い、耐震改修の実施を促した。 また、耐震性が不十分と考えられる民間建築物の所有者に対しては、R4年度に創設した「特殊建築物等耐震診断補助事業」の案内を送付し、耐震診断の実施を促した。 R5年度も引き続き、耐震改修促進計画に掲げる耐震化率の目標達成に向け、耐震化の促進を図る。				

目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
政策	(4) 都市基盤の充実
施策	(10) 上下水道

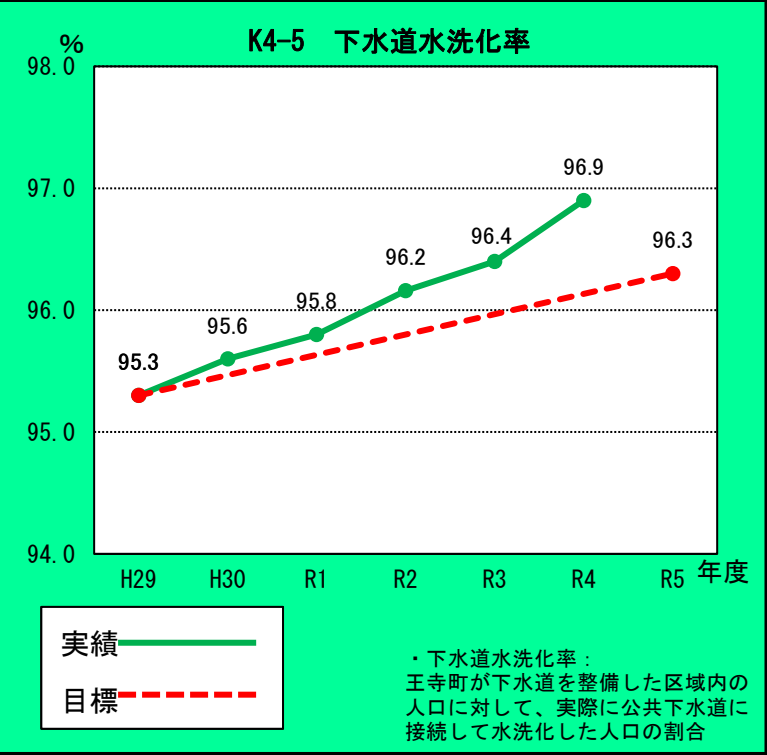
担当部署・指標管理責任者
水道部 上下水道課 課長 木下 秀紀



K4-4 管の直径250mm以上の基幹配水管路の耐震化率					
K P I	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	7.8	↑	25.8	144.0%	20.3 30.8
	H29年度 (2017)	18.0 %	R4年度 (2022)	4 5 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進 捗 状 況	県内水道事業の統合を前に、留保資金を活用しながら水道配水管の耐用年数である40年を経過している老朽管のうち、管径250mm以上の基幹管路を中心に更新ペースを上げて耐震管への布設替えを実施している。				
	○更新実績（管径250mm以上） H30年度 工事延長 L=260m R1年度 工事延長 L=410m R2年度 工事延長 L=510m R3年度 工事延長 L=665m R4年度 工事延長 L=795m				
	※管径250mm以上総延長 L=14,643m				

目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
政策	(4) 都市基盤の充実
施策	(10) 上下水道

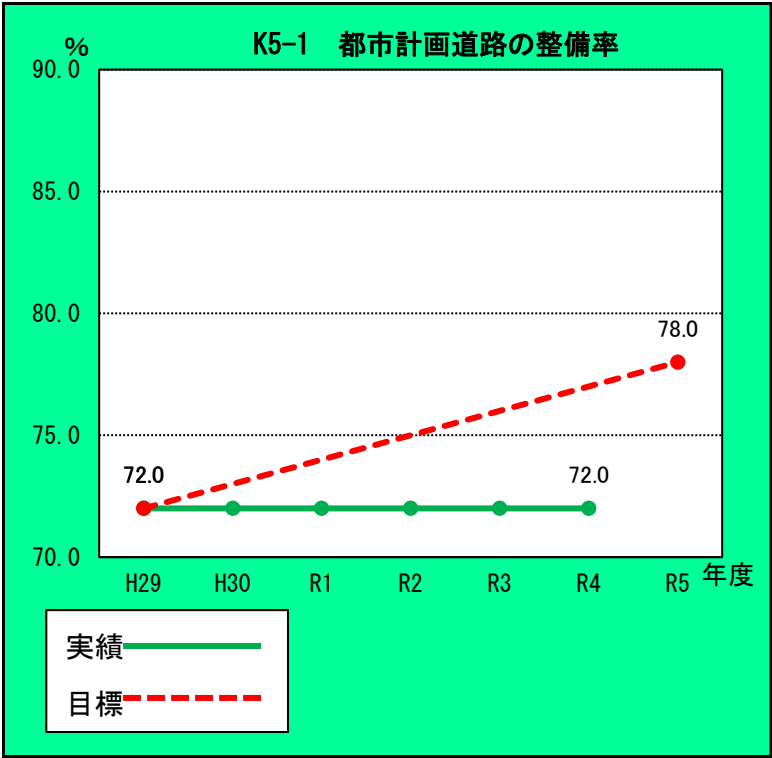
担当部署・指標管理責任者
水道部 上下水道課 課長 木下 秀紀



K4-5 下水道水洗化率					
K P I	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	95.3	↑	96.9	160.0%	96.3 97.1
	H29年度 (2017)	1.6 %	R4年度 (2022)	4 5 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進 捗 状 況	町公式サイトを通じた水洗化に関する啓発のほか、公共下水道への未接続者に対する個別訪問を継続的に実施しており、R4年度末時点での下水道水洗化率は96.87%となりR5年度の目標値を上回った。今後も公共下水道への接続啓発を行い、R10年度の目標値である97.1%の早期達成を目指す。				

目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
政策	(5) 交通ネットワークの整備
施策	(11) 道路

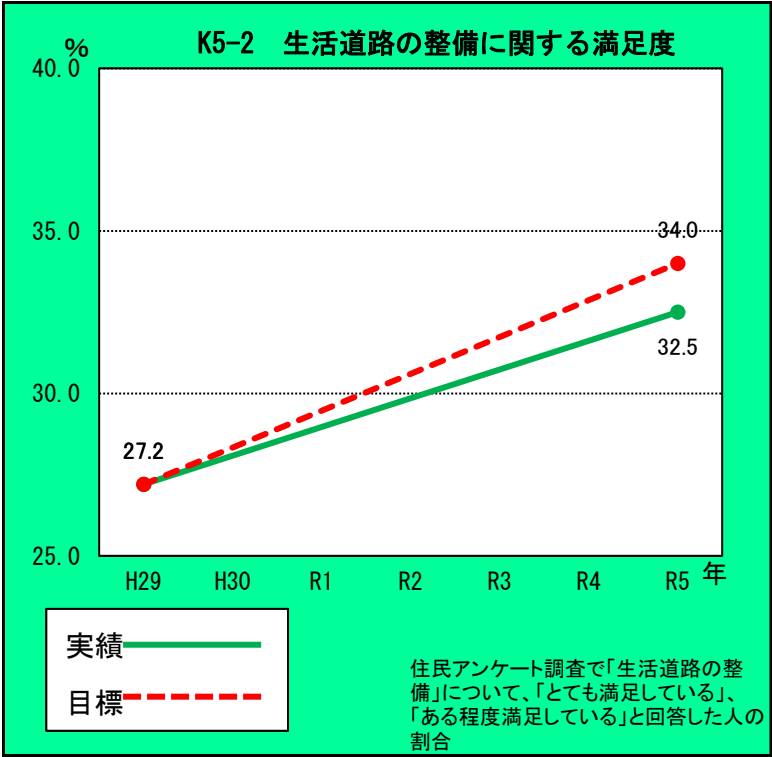
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 都市計画課 課長 西村 幸晃



K5-1 都市計画道路の整備率					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	72.0	→	72.0	0.0%	78.0 82.0
	H29年度 (2017)	0.0 %	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	○国道168号（奈良西幹線）整備事業 R5年度に畠田四丁目交差点の暫定整備を実施し、桜井田原本王寺線への左折レーン、桜井田原本王寺線からの右折レーン、歩道を設置する。引き続き畠田四丁目交差点以南の用地取得に向け対応を行う。 ○元町畠田線整備事業 R4年度に1件の地権者と契約済み(残り3件)。R5年度に残りの地権者契約に向け筆界特定申請を行う。 ○畠田駅前線整備事業 R3年度以前に9件、R4年度に2件の用地を取得済み(残り11件)。R5年度は大型店舗1件の用地取得を予定。				

目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
政策	(5) 交通ネットワークの整備
施策	(11) 道路

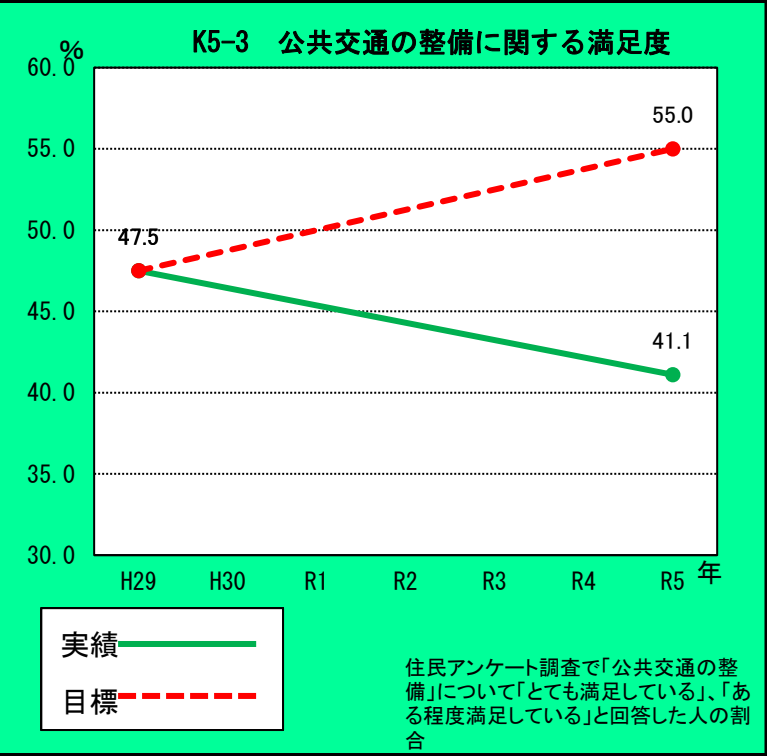
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 都市計画課 課長 西村 幸晃



K5-2 生活道路の整備に関する満足度					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	27.2	↗	32.5	77.9%	34.0 40.0
	H29年 (2017)	5.3 %	R5年 (2023)	$\frac{5}{5}$ 年目	R5年 (2023) R10年 (2028)
進捗状況	○畠田駅前線整備事業 R1年度：用地取得（2件） 不動産鑑定 建物・営業補償調査 詳細設計業務発注 R2年度：用地取得（6件） R3年度：大型店舗2棟の建物補償調査 用地取得（1件） R4年度：用地取得（2件） R5年度：大型店舗の用地取得（1件）				

目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
政策	(5) 交通ネットワークの整備
施策	(12) 公共交通

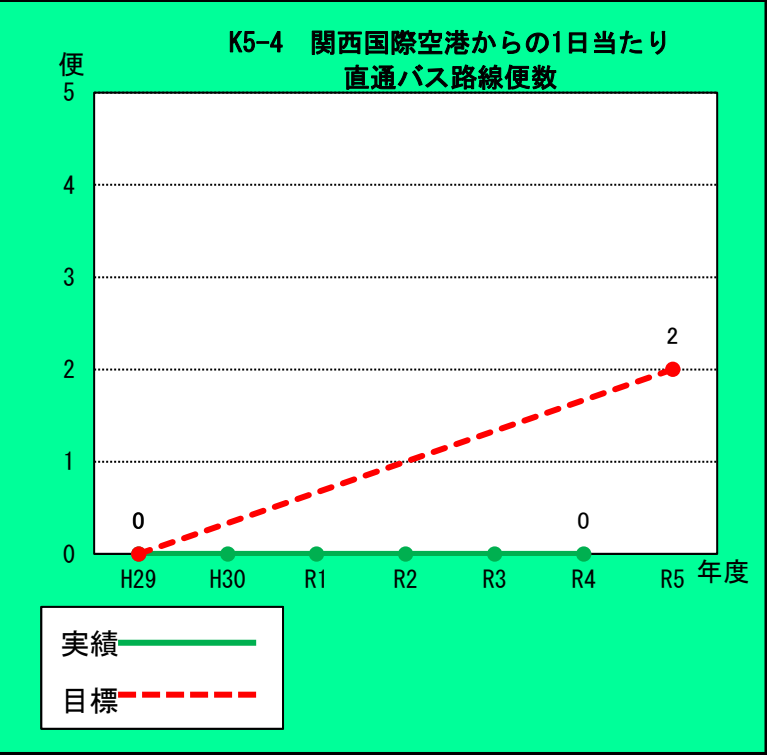
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



K5-3 公共交通の整備に関する満足度					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	47.5	↓	41.1	-85.3%	55.0 60.0
	H29年 (2017)	-6.4 %	R5年 (2023)	5 5 年目	R5年 (2023) R10年 (2028)
進捗状況	待合環境改善・向上のため、R3年3月には、国道168号沿いの駅方面への2つのバス停(白瓜バス停、王寺本町四丁目バス停)に上屋を整備し供用開始。R5年3月には、国道168号沿いの駅方面へのバス停(王寺本町二丁目バス停)にベンチを設置。 また、今後の国道168号の拡幅にむけ計画段階から、バス停上屋の設置について考慮していただけるよう、道路管理者である高田土木事務所と協議を行っている。 畠田駅前線整備事業の進捗に併せ、新しくできる駅前広場へ路線バスとタクシーの乗り入れについて、各交通事業者に対し協議等により、ターミナル化の実現のための働きかけを行う。				

目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
政策	(5) 交通ネットワークの整備
施策	(12) 公共交通

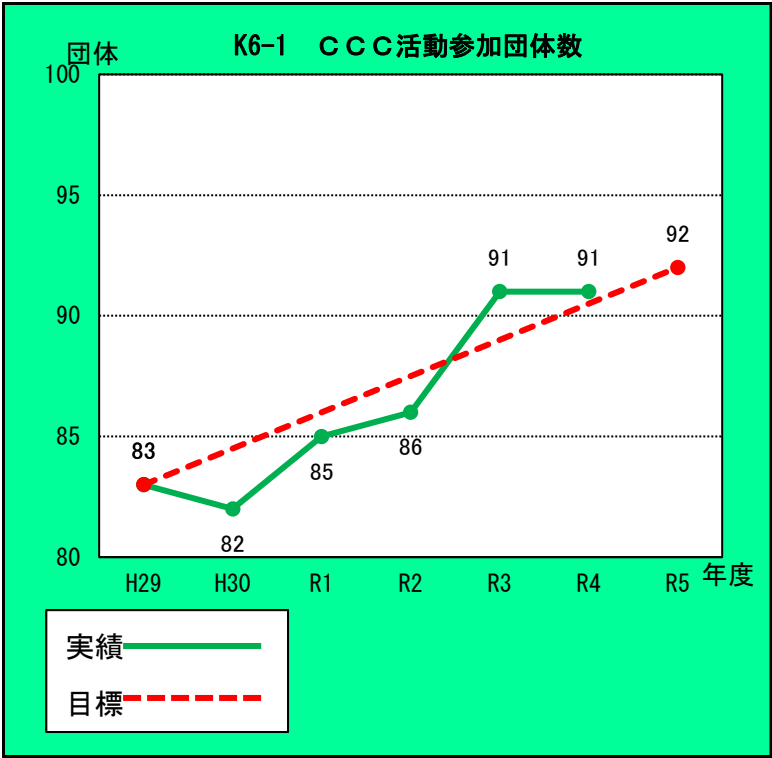
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



K5-4 関西国際空港からの1日当たり直通バス路線便数					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	0	→	0	0.0%	2 5
	H29年度 (2017)	0 便	R4年度 (2022)	4 5 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	バス事業者の賛同が得られないため現実味が乏しい。事業者からは、鉄道が並行して路線化しているところに、定時制で劣勢になるバスによる運航はあり得ない。と言われている。目標達成は不可能に近い。				

目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
政策	(6) 環境への配慮
施策	(13) 環境保全

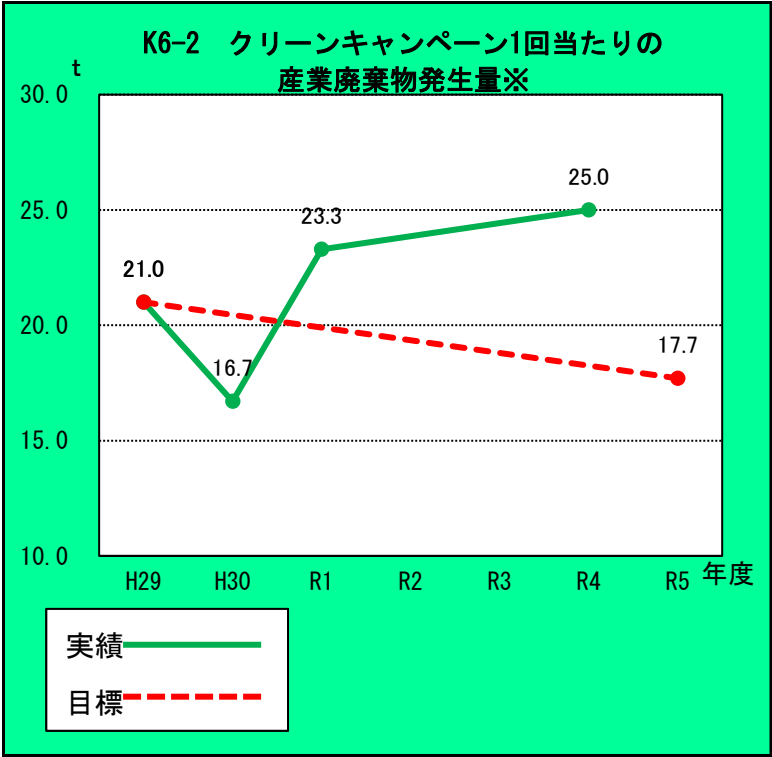
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 住民課 課長 西本 貴至



K6-1 C C C活動参加団体数					
K P I	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	83	↑	91	88.9%	92 100
	H29年度 (2017)	8 団体	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	R4年度の団体数は前年度から横ばいとなっている。 R5年5月から新型コロナウイルス感染症が5類へと移行したことを受けて活動しやすい状況となったことから、C C C活動の目的、補助制度及び活動状況等の広報を積極的に行い、町内の団体や企業からの新規参加を促す。 ○C C C活動延べ人数 ・R4年度 21,875人 (R3年度 18,872人)				

目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
政策	(6) 環境への配慮
施策	(13) 環境保全

担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 住民課 課長 西本 貴至

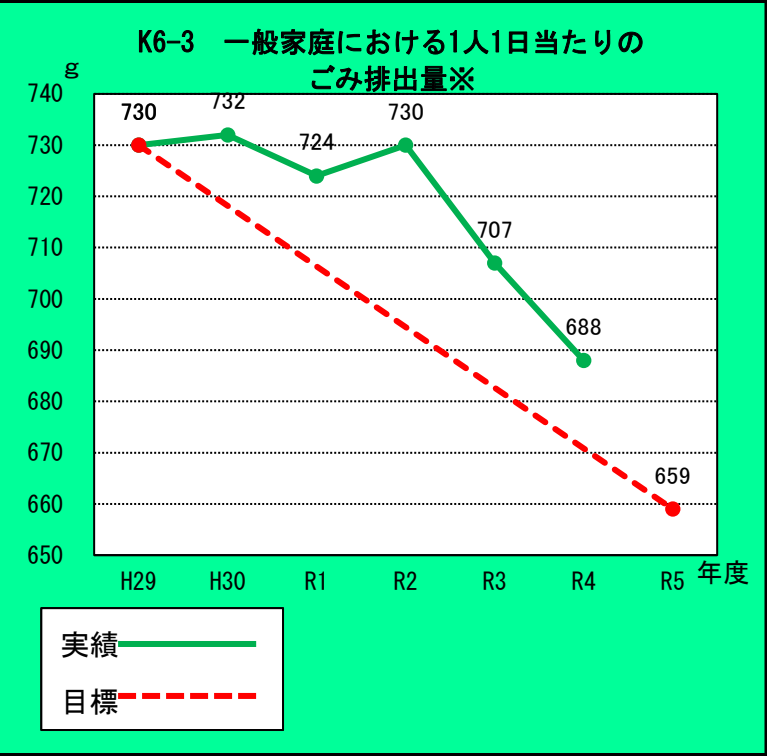


K6-2 クリーンキャンペーン1回当たりの産業廃棄物発生量※					
K P I	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	21.0	↓	25.0	-121.2%	17.7 15.0
	H29年度 (2017)	4.0 t	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	R2・3年度はコロナ禍のためクリーンキャンペーンの開催を見送っていたが、R4年度は5月と3月の2回開催することができた。 3年ぶりの開催となったことから、散乱ごみの量が例年よりも多く、産業廃棄物として処理したごみの量もR1年度(年3回開催)に比べて多くなった。 ○R4年度クリーンキャンペーン ・実施回数 2回 ・産業廃棄物発生量 50 t				

※は数値が低い方が良くなる指標です。

目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
政策	(6) 環境への配慮
施策	(14) 循環型社会

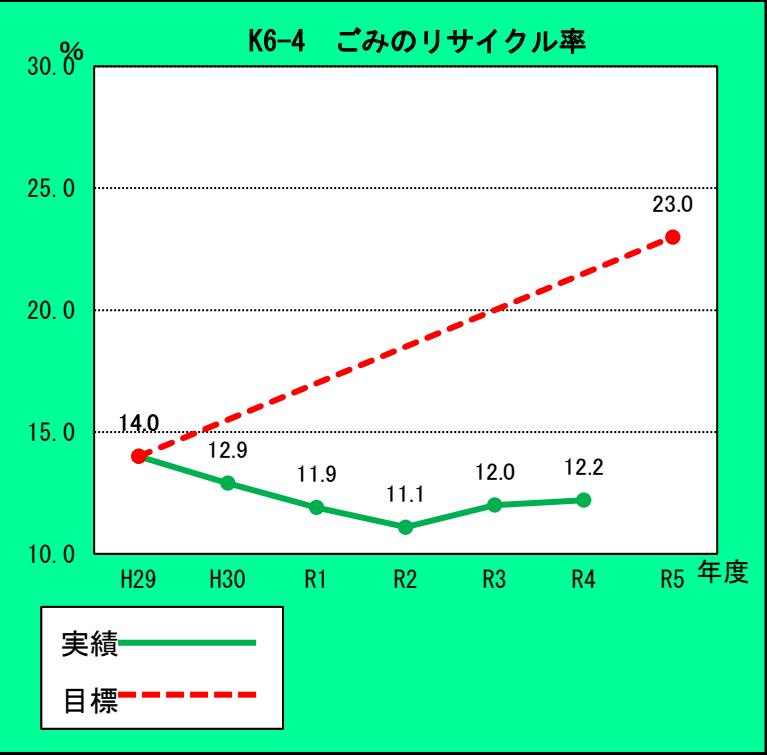
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 住民課 課長 西本 貴至



K6-3 一般家庭における1人1日当たりの ごみ排出量※					
K P I	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	730	↑	688	59.2%	659 611
	H29年度 (2017)	-42 g	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進 捗 状 況	R4年度の一般家庭ごみ1人1日あたりの排出量は688gと前年度より減少した。 王寺町ではR3.11月より「ごみ減量化プロジェクト」を開始。その取組として、雑紙回収袋を配布したほか、R4.4月には町内4カ所に資源ごみ回収ステーションを設置した。その結果、家庭から出る可燃ごみ1人1日当たりの排出量がプロジェクト開始前より40g減少している (R4年度末時点)。今後も、プロジェクトの目標でもある「可燃ごみ1人1日当たりマイナス100g」の達成に向けての取組を進める。				
	OR4年度家庭系ごみの総量 ・ 6,031,514kg/年 (対前年度▲3.5%)				
※は数値が低い方が良くなる指標です。					

目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
政策	(6) 環境への配慮
施策	(14) 循環型社会

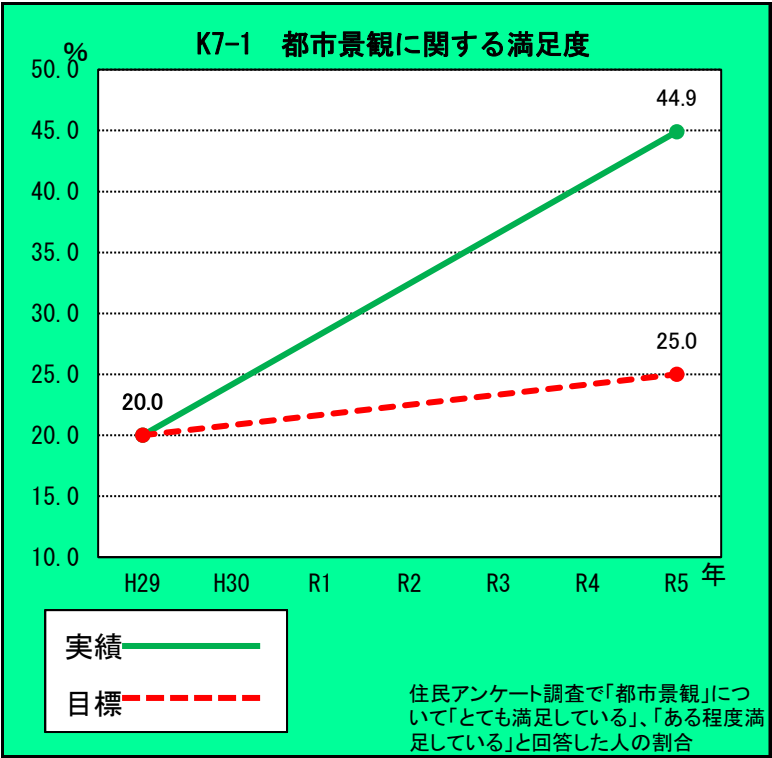
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 住民課 課長 西本 貴至



K6-4 ごみのリサイクル率					
K P I	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	14.0	↓	12.2	-20.0%	23.0 30.0
	H29年度 (2017)	-1.8 %	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	R4年度のリサイクル率は12.2%と前年度より増加した。王寺町ではR3年11月より「ごみ減量化プロジェクト」を開始。その取組として、雑紙回収袋を配布したほか、R4年4月には町内4カ所に資源ごみ回収ステーションを設置。その結果、雑誌を含む雑紙の回収量が201,955kgと前年度より37,826kg増(+23%)となった。 なお、インターネット普及もあって新聞紙の回収量は320,766gと前年度より35,999g減少(△10%)していた。 今後もリサイクル率向上のための取組を進める。 OR4年度実績 ・ 資源ごみ 1,013,344kg (対前年度-1.0%) ・ 資源化率 12.1% (対前年度+0.1%)				

目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
政策	(7) 水と緑の保全と創出
施策	(15) 都市景観

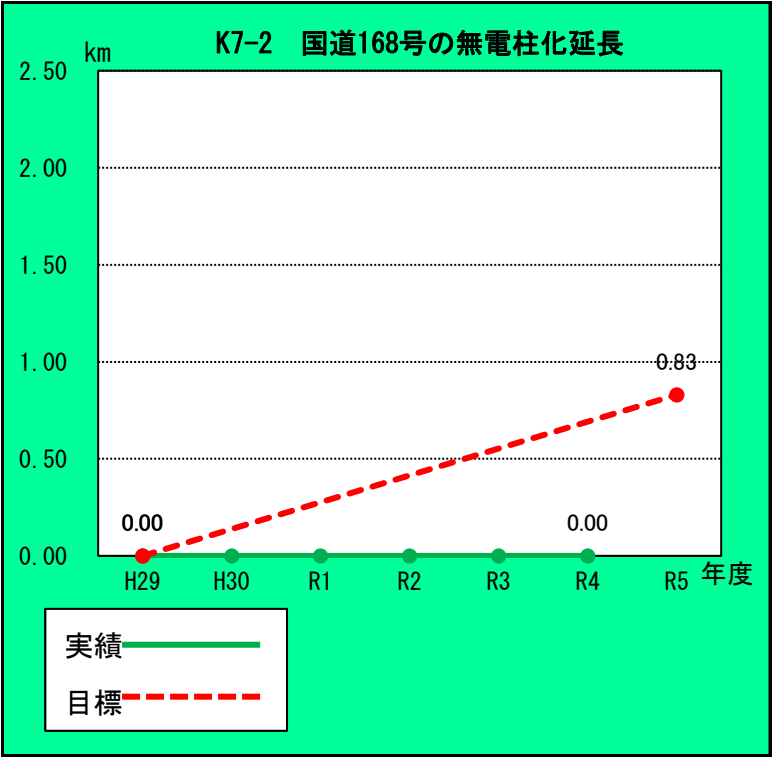
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 都市計画課 課長 西村 幸晃



K7-1 都市景観に関する満足度					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	20.0	↑	44.9	498.0%	25.0 30.0
	H29年 (2017)	24.9 %	R5年 (2023)	5 5 年目	R5年 (2023) R10年 (2028)
進捗状況	○景観条例の制定検討 近畿地方都市美協議会(※)の研修会に引き続き参加する。また、県景観・自然環境課からの情報提供を受け、検討を進める。 ※近畿地方都市美協議会…近畿2府5県(京都府、大阪府、福井県、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県)における市町村が相互に交流を深め、個性豊かな魅力ある都市景観の創造を図るため設けられた団体。H3年に設立。				

目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
政策	(7) 水と緑の保全と創出
施策	(15) 都市景観

担当部署・指標管理責任者
地域整備部 都市計画課 課長 西村 幸晃



K7-2 国道168号の無電柱化延長					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	0.0	→	0.00	0.0%	0.83 2.29
	H29年度 (2017)	0.00 km	R4年度 (2022)	4 5 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	○国道168号(奈良西幹線)整備事業 本町一丁目交差点以南640m(4車線化事業済み区間)の無電柱化については、R3年度に予備設計を実施。 上記区間より南(4車線化事業中区間)の無電柱化については、畠田四丁目交差点の南までの用地取得ができれば、共同溝の設計と着工を予定。				

3 安全で安心して暮らせるまちづくり

数値目標

3(1) 防災訓練を実施している自主防災組織の数

3(2) 防災士資格者数

K P I

政策(8) 地域防災の充実

K8-1 「王寺町安全・安心メール」及び「LINE 公式アカウント」登録者数

K8-2 「個別計画」を作成した団体数（累計）

K8-3 王寺町消防団の定員(130 人)に対する充足率

K8-4 救命講習会の年間受講者数

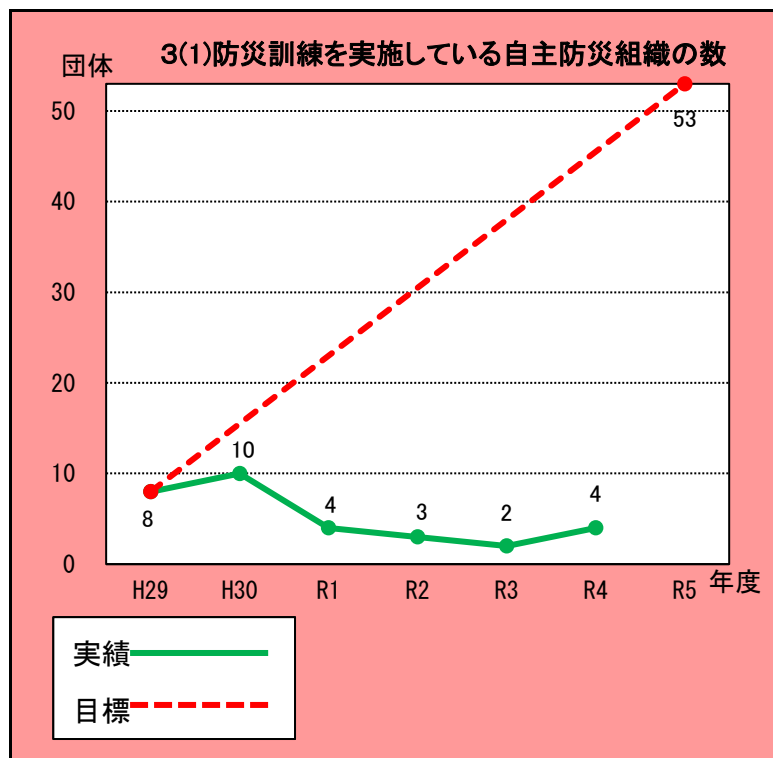
政策(9) 日常生活の安全確保

K9-1 刑法犯年間認知件数（延べ）

K9-2 町内で発生した交通事故のうち高齢者が関係した事故の割合

基本目標	3 安全で安心して暮らせるまちづくり
基本的方向	住民が安心して暮らし続けられる安全な町をつくる

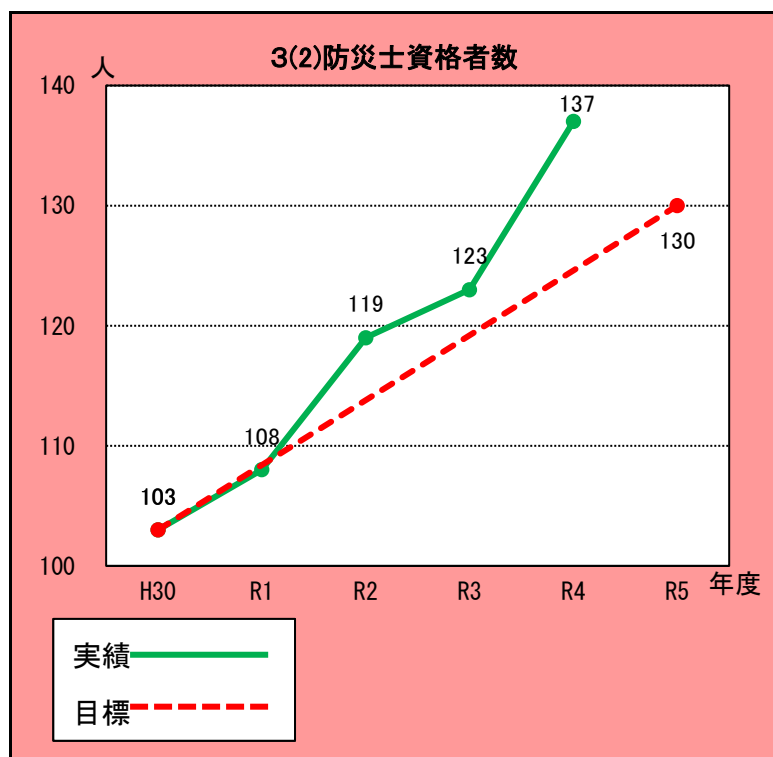
担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



数値目標	3(1)防災訓練を実施している自主防災組織の数					
	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値	
	8	↓	4	-8.9%	53	53
進捗状況	H29年度 (2017)	-4 団体	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023)	R10年度 (2028)
	防災訓練の実施については、R2年度より引き続き、コロナ禍により開催を控えている団体が多い状況が続いている。 今後、防災訓練の実施を促すとともに「避難行動要支援者名簿」や「個別避難計画」を活用した実行性のある避難訓練の実施についても、防災士ネットワークや消防団など他の関係機関と連携して啓発を行い、自主防災組織の活動の活性化を図っていく。					

基本目標	3 安全で安心して暮らせるまちづくり
基本的方向	住民が安心して暮らし続けられる安全な町をつくる

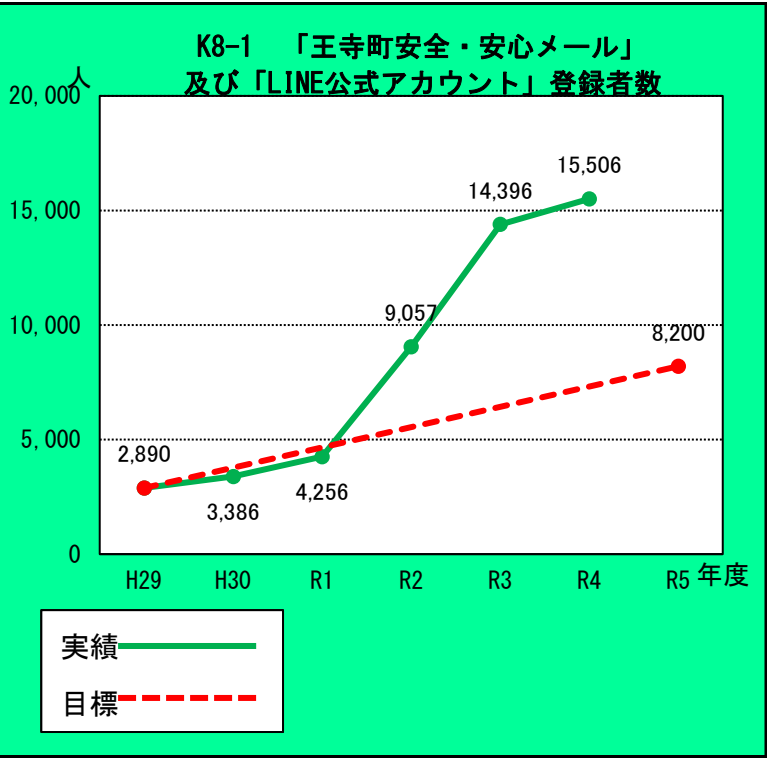
担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



数値目標	3(2)防災士資格者数					
	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値	
	103	↑	137	125.9%	130	150
進捗状況	H30年度 (2018)	34 人	R4年度 (2022)	$\frac{3}{4}$ 年目	R5年度 (2023)	R10年度 (2028)
	「王寺町防災士ネットワーク」の活動として、R4年度に、役員会を7回開催し、王寺町防災訓練や町民ワークショップにおいてHUG訓練を実施した。 部会(広報部会・訓練部会・支援部会)においては、研修会を15回実施し、地区防災計画の策定に向け各自主防災会において説明会を実施した。 今後も、これらの活動をさらに成熟させ、地域において活動の見える化を進めるとともに広報紙により防災士ネットワークの活動内容を広く住民に知ってもらうことで、防災士及び王寺町防災士ネットワーク会員の増員を目指す。					

目標	3 安全で安心に暮らせるまちづくり
政策	(8) 地域防災の充実
施策	(16) 防災体制

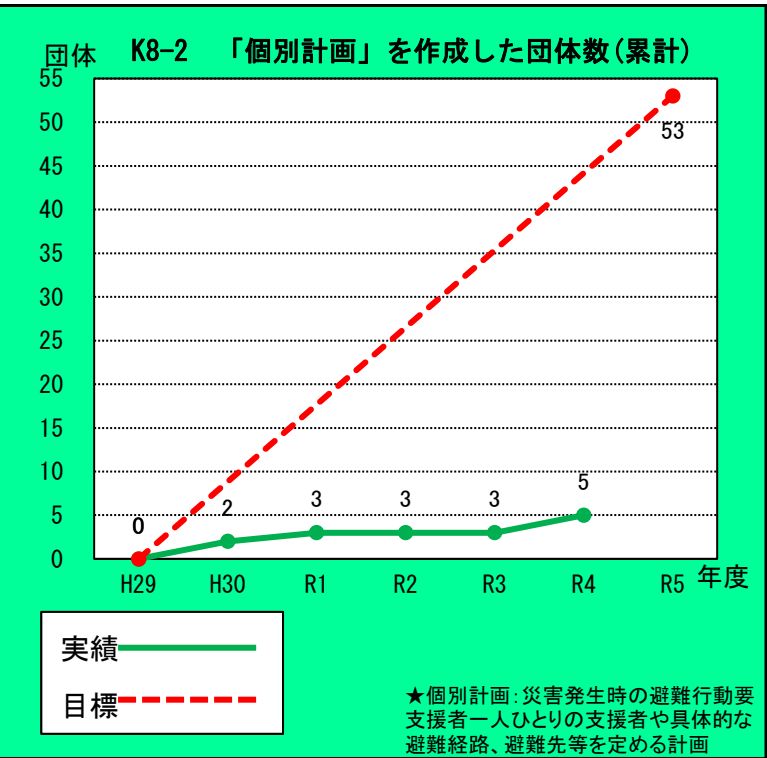
担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



K8-1 「王寺町安全・安心メール」及び「LINE公式アカウント」登録者数					
KPI	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	2,890	↑	15,506	237.6%	8,200
	H29年度(2017)	12,616人	R4年度(2022)	4/5年目	R5年度(2023)
					R10年度(2028)
進捗状況	コロナ禍により防災訓練や各種イベントの開催ができない状況にあっても、ハザードマップや避難誘導標識、広報紙等で登録の啓発を行い、登録者数の増加に繋げることができている。 今後も窓口に来庁される方等への呼びかけを行い、更なる登録者の増加を目指す。				
	○R5年5月末時点登録者数 安全安心メール 5,046人 LINE 10,712人 合計 15,758人				

目標	3 安全で安心に暮らせるまちづくり
政策	(8) 地域防災の充実
施策	(17) 避難行動支援

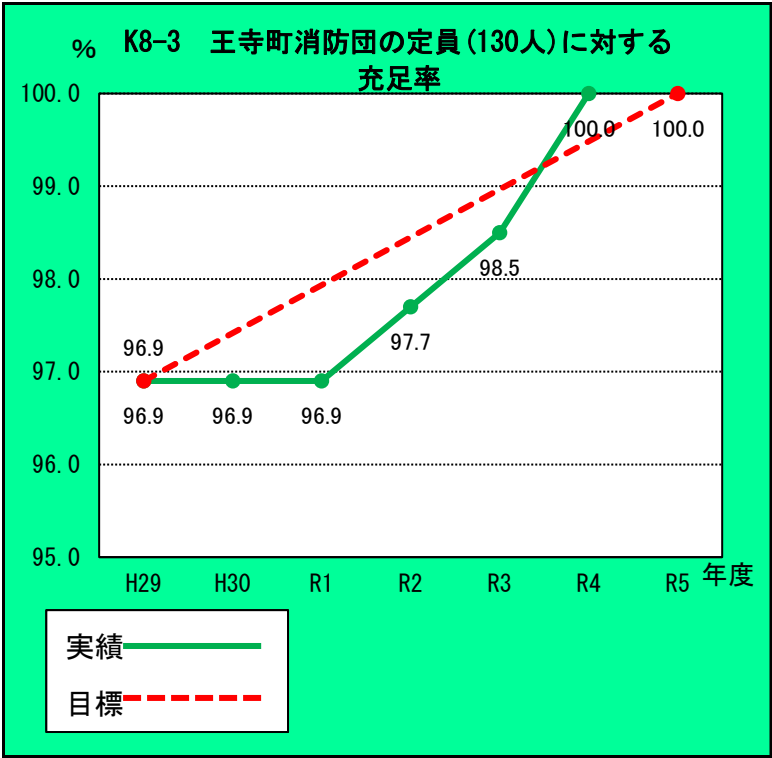
担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



K8-2 「個別計画」を作成した団体数(累計)					
KPI	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	0	↑	5	9.4%	53
	H29年度(2017)	5団体	R4年度(2022)	4/5年目	R5年度(2023)
					R10年度(2028)
進捗状況	計画の作成は、避難行動要支援者本人の同意が必要なおうえ、個人情報の取扱いへの不安や既に独自の名簿で運用しているという理由から、平常時の名簿提供を希望する自治会数が伸びていないのが現状である。 引き続き、自治会や自主防災会に対し個別に説明を行うとともに計画の作成を依頼し、また、町内における先進的な事例を広報紙で紹介することにより、町内の自治会や自主防災会への普及啓発につなげ、個別避難計画の作成件数の上昇を目指す。				
	○R5年5月末時点 5団体 124人分				

目標	3 安全で安心して暮らせるまちづくり
政策	(8) 地域防災の充実
施策	(18) 消防・救急体制

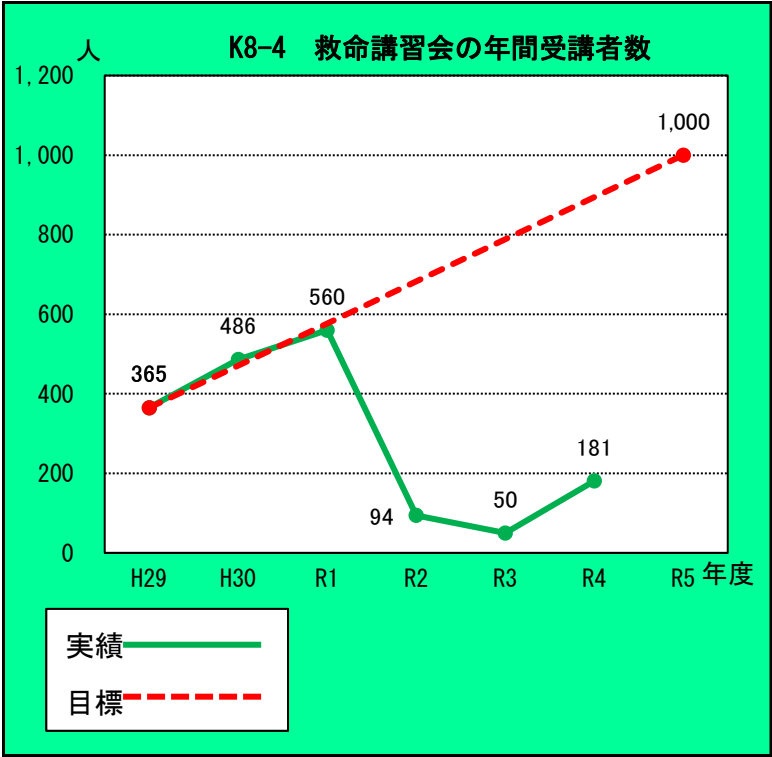
担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



K8-3 王寺町消防団の定員(130人)に対する充足率						
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値	
	96.9		100.0	100.0%	100.0	100.0
	H29年度 (2017)	3.1 %	R4年度 (2022)	4	年目	R5年度 (2023)
				5		
進捗状況	消防団員による呼びかけにより、R2年4月に女性消防団に2名が入団し、女性消防団員が定員数の10名を満たすことができた。今後も引き続き消防団員の確保に向けて、自治会、商工会、町内企業等に対し、協力を依頼していく。					
	○消防団員の団員数 H31年4月 126人 R2年4月 127人 R3年4月 128人 R4年4月 130人 R5年4月 128人					

目標	3 安全で安心して暮らせるまちづくり
政策	(8) 地域防災の充実
施策	(18) 消防・救急体制

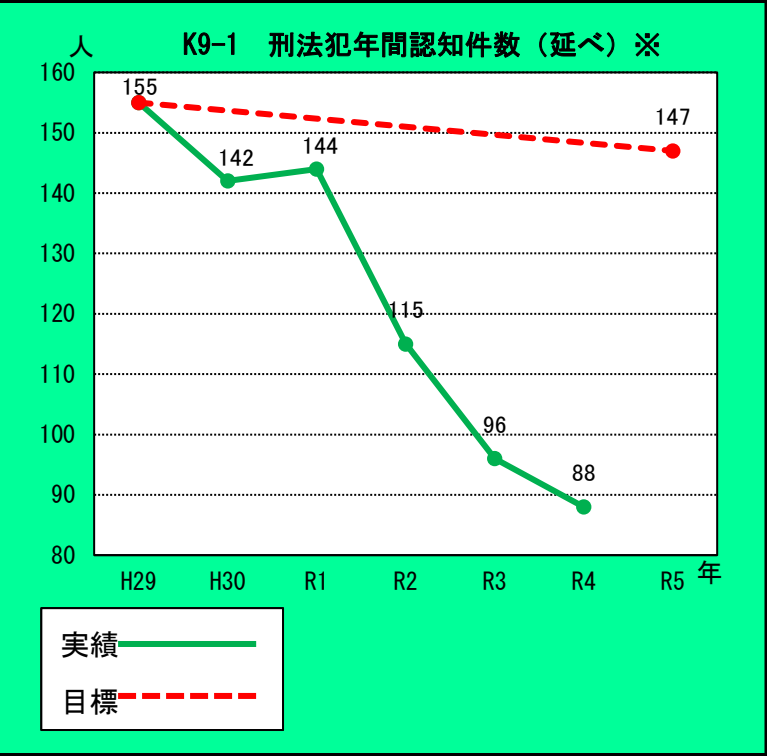
担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



K8-4 救命講習会の年間受講者数					
KPI	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	365		181	-29.0%	1,000
	H29年度(2017)	-184人	R4年度(2022)	4/5年目	R5年度(2023)
					R10年度(2028)
進捗状況	救命講習については、コロナ禍のため、奈良県広域消防組合が応急手当普及啓発活動に係る全ての講習等について中止や制限を行ったことから、開催回数が減り、参加人数が大幅に目標値を下回る結果となった。 今後、西和消防署と協働して、講習受講の啓発を行っていく。 ○R3年度 救命講習開催数 13回				

目標	3 安全で安心して暮らせるまちづくり
政策	(9) 日常生活の安全確保
施策	(19) 防犯・交通安全

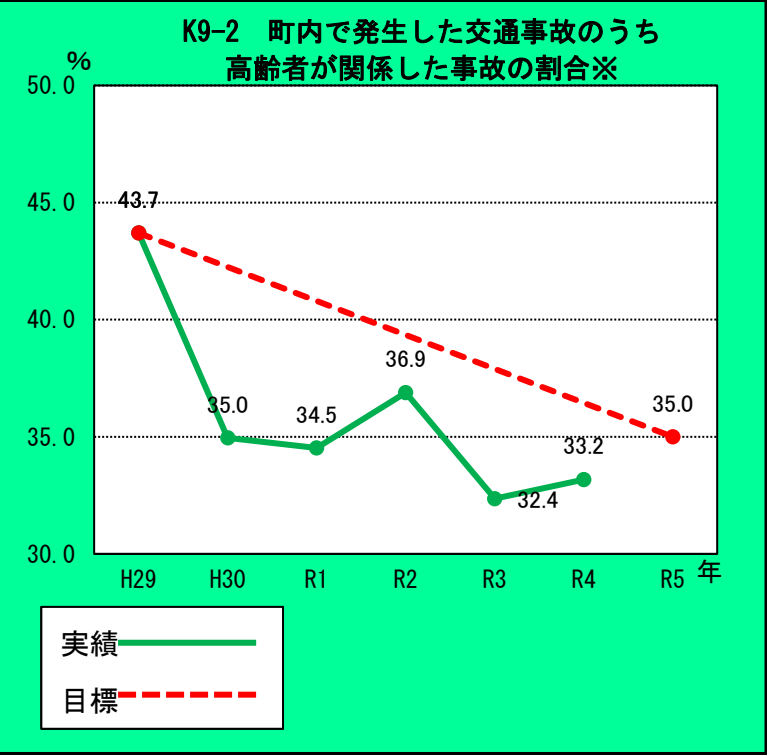
担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



K9-1 刑法犯年間認知件数（延べ）※					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	155	↗	88	837.5%	147 114
	H29年 (2017)	-67 人	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年 (2023) R10年 (2028)
進捗状況	刑法犯年間認知件数について、減少の主な要因は「傷害・暴行」の減少である。				
	引き続き警察と連携を強化し、防犯啓発活動を実施するとともに、犯罪抑止に効果的な防犯カメラの設置を推進する。				
	○防犯カメラ設置補助				
	R3年度 東御幸自治会（2箇所）				
	南駅前自治会（1箇所）				
	R4年度 実績なし				
※は数値が低い方が良くなる指標です。					

目標	3 安全で安心して暮らせるまちづくり
政策	(9) 日常生活の安全確保
施策	(19) 防犯・交通安全

担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



K9-2 町内で発生した交通事故のうち 高齢者が関係した事故の割合※					
K P I	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	43.7	↗	33.2	121.0%	35.0 30.0
	H29年 (2017)	-10.5 %	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年 (2023) R10年 (2028)
進 捗 状 況	R4年度は前年度よりは増加しているものの、 目標値を下回っている。				
	今後も、高齢者の交通事故件数を減少させる ため、引き続き警察と連携し、交通安全団体による 反射材クツ配布等といった啓発活動や、 主要幹線道路のカーブミラー清掃等を行う。				
※は数値が低い方が良くなる指標です。					

4 健やかに暮らせるまちづくり

数値目標

4(1) 健康寿命（65歳の平均自立期間）の県内市町村における順位〔男性〕

4(2) 健康寿命（65歳の平均自立期間）の県内市町村における順位〔女性〕

K P I

政策(10) 高齢者支援の充実

K10-1 65歳以上の介護保険認定者における「日常生活自立度Ⅱ」以上の認知症の人の割合

K10-2 各種介護予防教室の年間受講者数（延べ）

K10-3 65歳以上（介護保険第1号被保険者）の要支援・要介護認定者の割合

政策(11) 障害者支援の充実

K11-1 福祉施設における就労から一般就労の年間移行者数

K11-2 手話奉仕員登録者数

政策(12) 健康づくりの推進

K12-1 1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上1年以上継続して実施している人の割合（男性）

K12-2 1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上1年以上継続して実施している人の割合（女性）

K12-3 がん検診の受診率（胃）

K12-4 がん検診の受診率（肺）

K12-5 がん検診の受診率（大腸）

K12-6 がん検診の受診率（子宮）

K12-7 がん検診の受診率（乳）

政策(13) 地域で支え合うまちづくり

K13-1 サロンの箇所数

K13-2 手話奉仕員・介護ボランティア登録者数

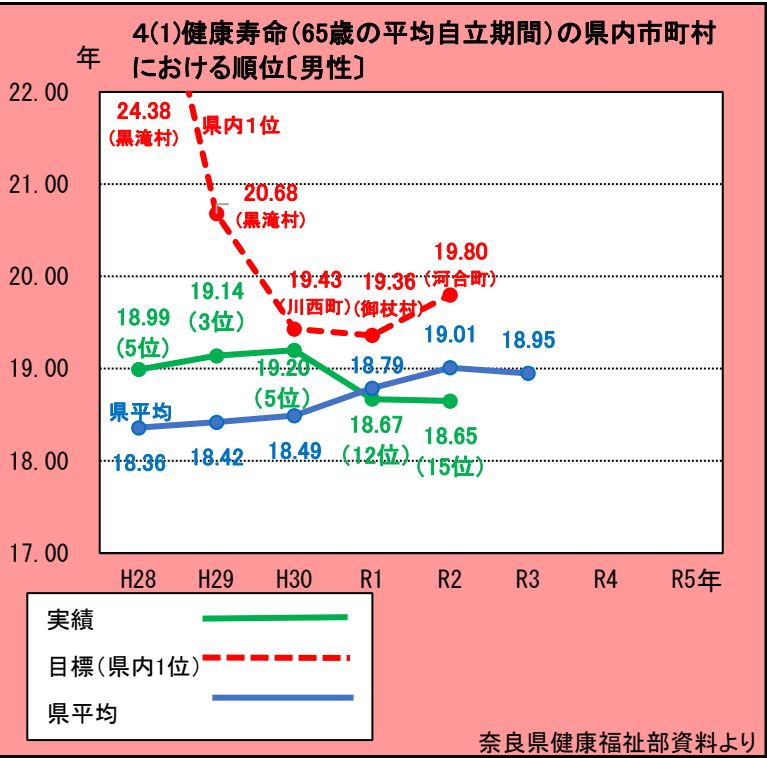
K13-3 国民健康保険被保険者の年間1人当たり医療費

K13-4 国民健康保険被保険者の特定健康診査受診率

数値目標

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	健康寿命奈良県一を目標に、高齢者、障害者を含む誰もが健やかに暮らせる町をつくる

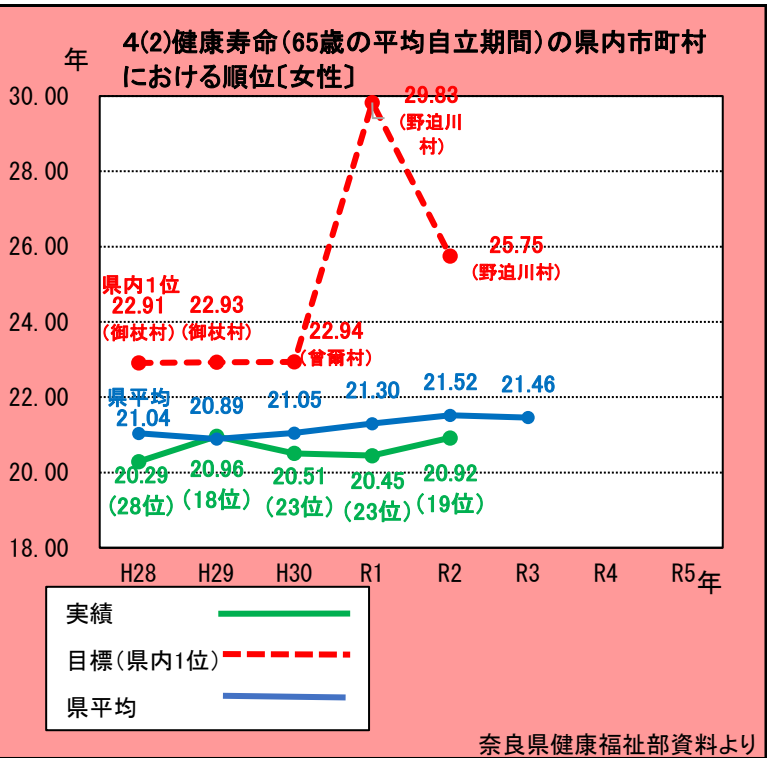
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 部長 増田 淳子



4(1)健康寿命(65歳の平均自立期間)の県内市町村における順位〔男性〕						
数値目標	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値	
	18.99 (5位)	↓	18.65 (15位)	—	県内1位	県内1位
	H28年度 (2016)	-0.34 年	R2年度 (2020)	$\frac{2}{5}$ 年目	R5年度 (2023)	R10年度 (2028)
進捗状況	前年より順位を下げ15位となった。コロナ禍で、外出の機会が減って運動量が落ち、生活が不活発な状態が長期化したことが影響しているものとする。(R2年度：R1～R3年の3か年平均値で算出)					
	R5年度は、町直営の健康ステーションの運営を開始し、引き続きおでかけ健康法や活動量計を利用した「歩く健康法」を推進する。今後は健康ステーションや健康サロン等で、自宅や日常生活で簡単に取り組むことができる運動を紹介するなど支援していく。					

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	健康寿命奈良県一を目標に、高齢者、障害者を含む誰もが健やかに暮らせる町をつくる

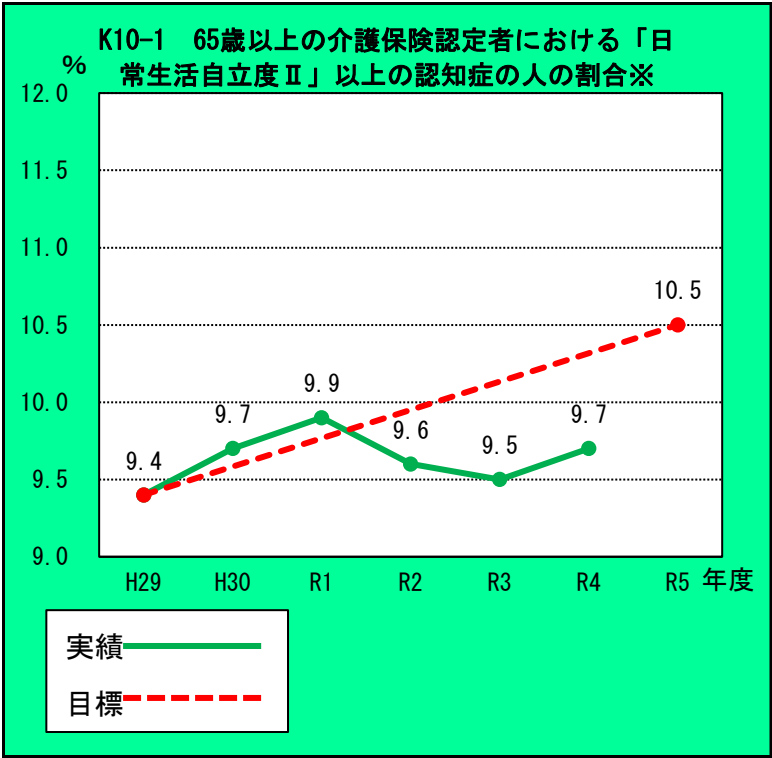
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 部長 増田 淳子



数値目標	4(2)健康寿命(65歳の平均自立期間)の県内市町村における順位〔女性〕						
基準値	20.29 (28位)	実績値	20.92 (19位)	進捗率(傾向)	—	目標値	県内1位
H28年度(2016)	0.22 年	R2年度(2020)	2/5 年目	R5年度(2023)	R10年度(2028)		
進捗状況	前年より順位を上げて19位となったものの、県内の順位は低い状況が続いている。コロナ禍で、外出機会が減って運動量が落ち、生活が不活発な状態が長期化したことが大きな改善に繋がらない要因とする。(R2年度：R1～R3年の3か年平均値で算出) R5年度は、町直営の健康ステーションの運営を開始し、引き続きおでかけ健康法や活動量計を利用した「歩く健康法」を推進する。今後は健康ステーションや健康サロン等で、自宅や日常生活で簡単に取り組むことができる運動を紹介するなど支援していく。						

目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
政策	(10) 高齢者支援の充実
施策	(20) 高齢者福祉

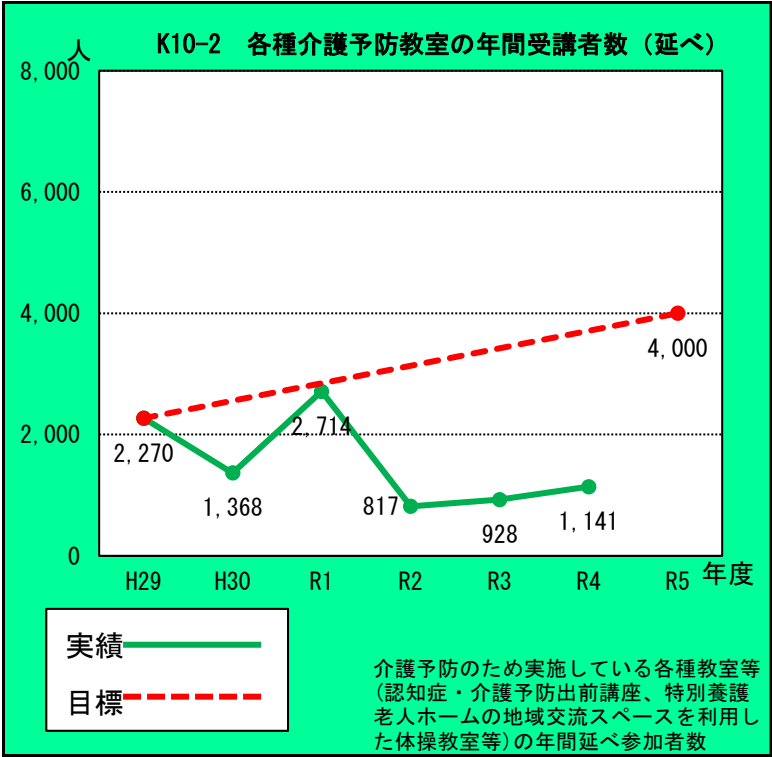
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 福祉介護課 課長 鬼頭 祐子



K10-1 65歳以上の介護保険認定者における「日常生活自立度Ⅱ」以上の認知症の人の割合※					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	9.4	↓	9.7	108.2%	10.5 12.0
	H29年度 (2013)	0.3 %	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	65歳以上の介護保険認定者における「日常生活自立度Ⅱ」以上の認知症の人の割合は、前年度より0.2ポイント増加したが、目標値をクリアした。 認知症の予防、理解促進のため「認知症予防啓発講座」「認知症サポーター養成講座」を開催するとともに、「認知症なんでも相談窓口」を開設して相談支援体制の充実を図っている。 なお、認知症の人が行方不明になった場合に早期発見・対応するため、スマートフォンで読みこめば緊急連絡先が表示される「QRコードシール」の配布も行っている。				

目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
政策	(10) 高齢者支援の充実
施策	(21) 介護保険

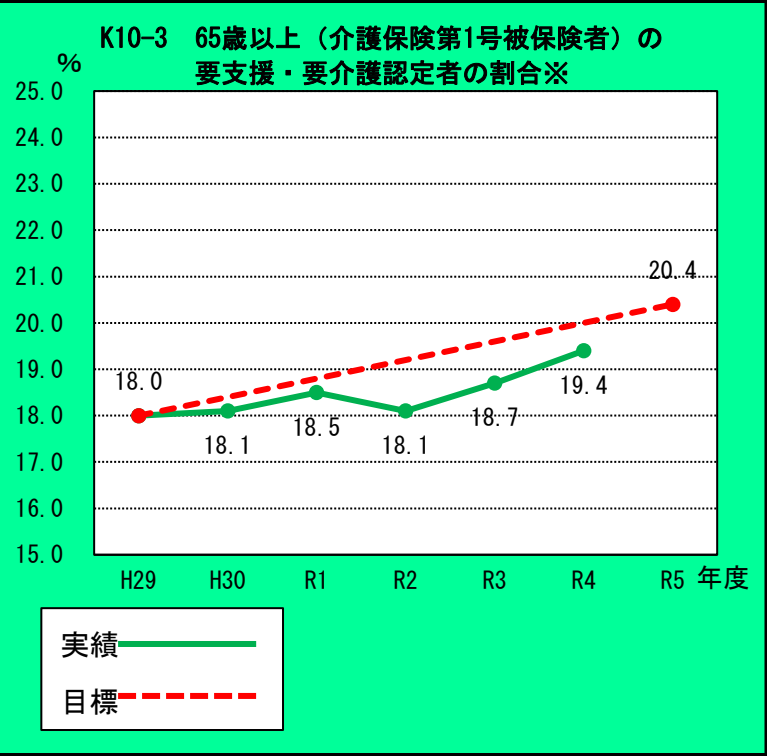
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 福祉介護課 課長 鬼頭 祐子



K10-2 各種介護予防教室の年間受講者数（延べ）					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	2,270	↓	1,141	-65.3%	4,000 7,000
	H29年度 (2017)	-1,129 人	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	コロナ禍のため、介護予防教室における参加人数を制限したことや出前講座の依頼件数が減少したことから目標値を下回る結果となった。 また、介護予防教室の新拠点としてR2年4月に開設した介護付き有料老人ホーム（だるま苑）での開催を検討していたが、R4年度も入所者の感染症拡大防止を優先したことから開催を見送った。 新型コロナウイルスの5類移行を受けて、今後は介護予防教室の参加人数の制限を解除するほか、新拠点での教室開催に向けて準備していく。				

目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
政策	(10) 高齢者支援の充実
施策	(21) 介護保険

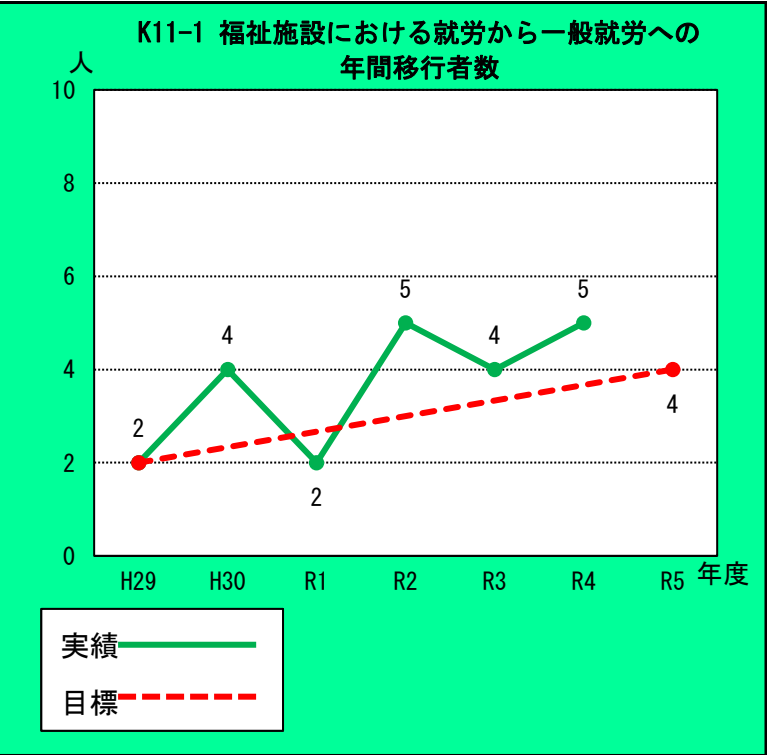
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 福祉介護課 課長 鬼頭 祐子



K10-3 65歳以上（介護保険第1号被保険者）の 要支援・要介護認定者の割合※					
K P I	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	18.0	↓	19.4	105.2%	20.4 21.6
	H29年度 (2013)	1.4 %	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進 捗 状 況	要支援・要介護認定者の割合は、前年度より 0.7ポイント増加したが、目標値はクリアしてい る。				
	R4年度において介護予防教室等の客観的評価 (効果測定)を研究機関に委託しており、その結 果を踏まえたうえで、より効果的な取組を第9 期介護保険事業計画(計画期間:R6年度～R8年度) に反映する予定。				
※は数値が低い方が良くなる指標です。					

目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
政策	(11) 障害者支援の充実
施策	(22) 障害者福祉

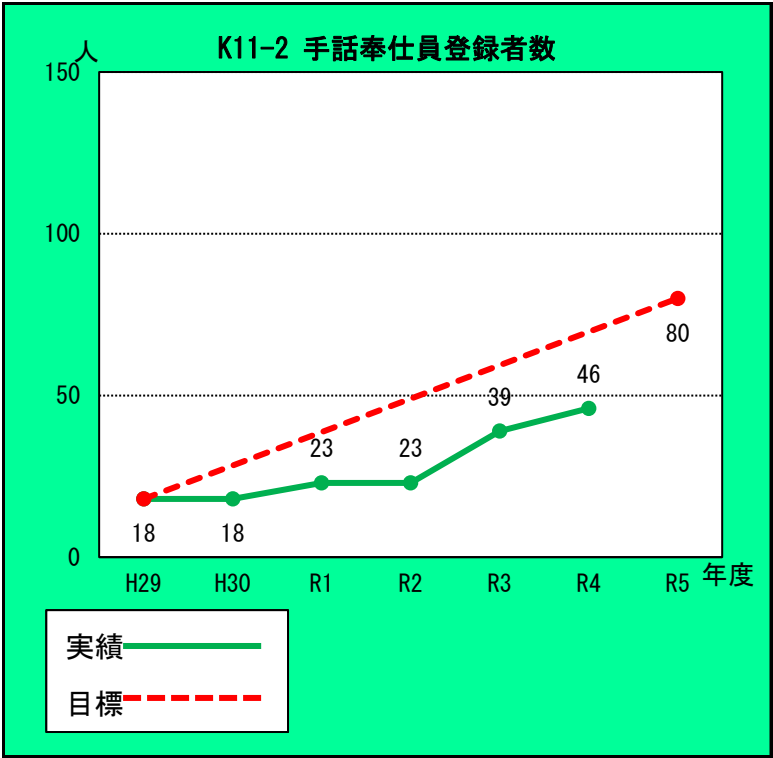
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 福祉介護課 課長 鬼頭 祐子



K11-1 福祉施設における就労から一般就労への年間移行者数					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	2	↑	5	150.0%	4 5
	H29年度 (2017)	3 人	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	福祉施設からの一般就労移行者数は、R4年度で5人と目標値を上回り、移行者数は年々確実に伸びつつある。 R5年度以降も、窓口や電話等で障害者本人の意向や適正を汲み取り、それぞれに応じた障害者支援事業所へと接続することで、一般就労への移行、就労定着のための支援を行っていく。 また、より適切な障害者支援事業所に繋いでいけるよう、事業所やハローワークとも連絡をとりあいながら進めていく。				

目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
政策	(11) 障害者支援の充実
施策	(22) 障害者福祉

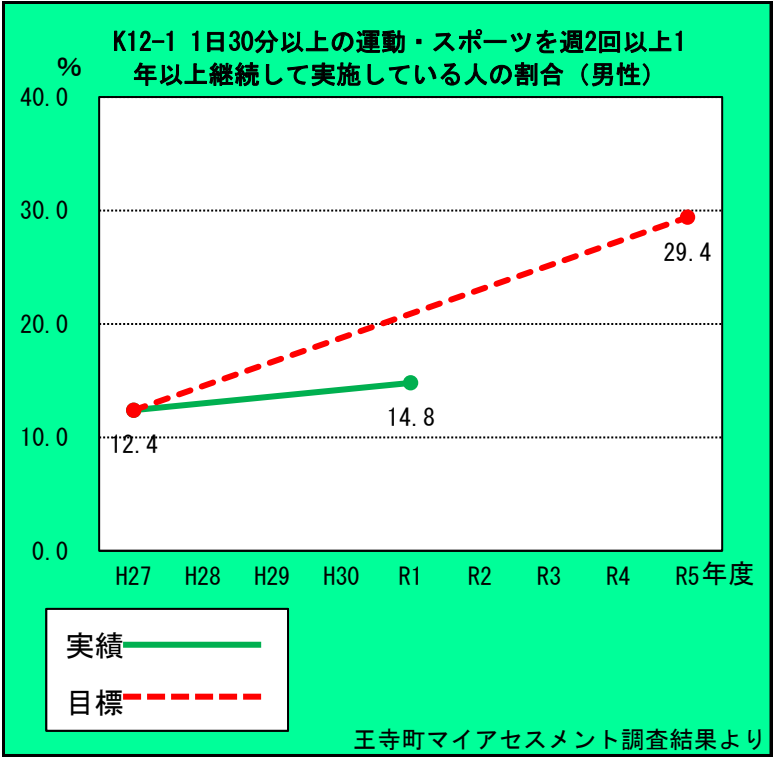
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 福祉介護課 課長 鬼頭 祐子



KPI	K11-2 手話奉仕員登録者数					
	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値	
	18	↑	46	45.2%	80	120
進捗状況	H29年度 (2017)	28人	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023)	R10年度 (2028)
	○手話奉仕員養成講座の実施 R4年度に基礎編(土曜日)を開講し、現役世代も含めた登録者の増加を行った。 R5年度は入門編を開講し登録者の増加を図る。					
	○手話奉仕員養成講座受講者数 ・H29年度(入門編)17名 ・H30年度(基礎編)15名 ・R1年度(入門編)8名 ・R2年度(基礎編)休講 ・R3年度(入門編)11名／(基礎編)5名 ・R4年度(基礎編)7名 ※入門編修了者が基礎編を受講できる					

目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
政策	(12) 健康づくりの推進
施策	(23) 健康づくり

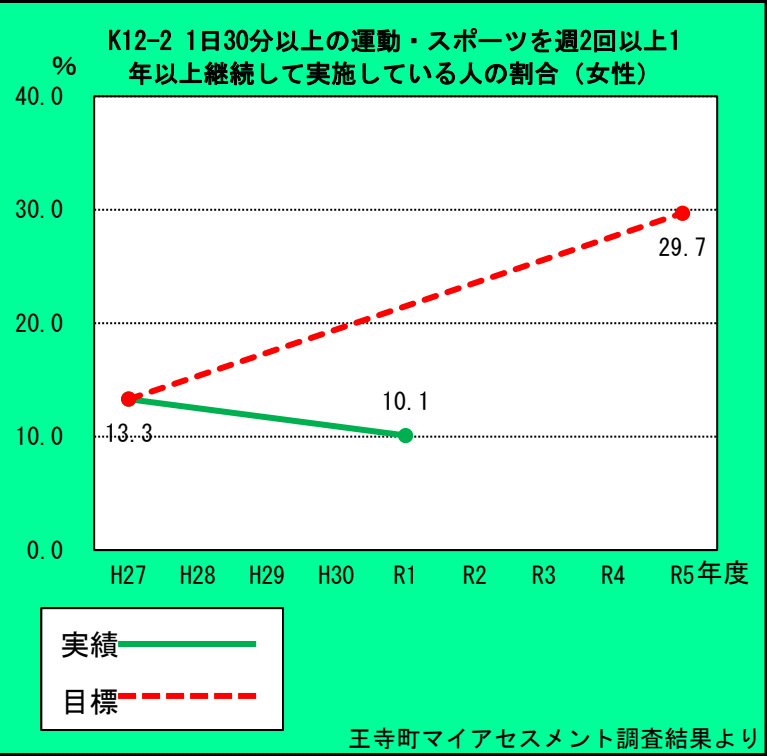
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 南口 伸之



KPI	K12-1 1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上1年以上継続して実施している人の割合(男性)					
	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値	
	12.4	↑	14.8	14.1%	29.4	40.0
進捗状況	H27年度 (2015)	2.4%	R2年度 (2020)	$\frac{2}{5}$ 年目	R5年度 (2023)	R10年度 (2028)
	運動習慣のある男性の割合は増加傾向にある。中でも20～24歳・30～34歳・55～59歳が高く、経済的又は時間的に余裕のある世代が高い。活動量計の販売やウォーキングロードの整備など歩く健康づくり施策も功を奏したと考えられる。					
	歩く健康づくりの一つとしてウォーキングアプリの導入を検討してきたが、行政のデジタル化の一環として、庁内各部署連携でWGを立ち上げ、自治体マイナポイントとデジタル地域通貨を研究しウォーキングアプリその他健康ポイントを含めたアプリの導入を検討した。 引き続きDX推進室その他関連部署と連携して奈良スーパーアプリ等利用可能なツールの運用情報等を研究する。					

目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
政策	(12) 健康づくりの推進
施策	(23) 健康づくり

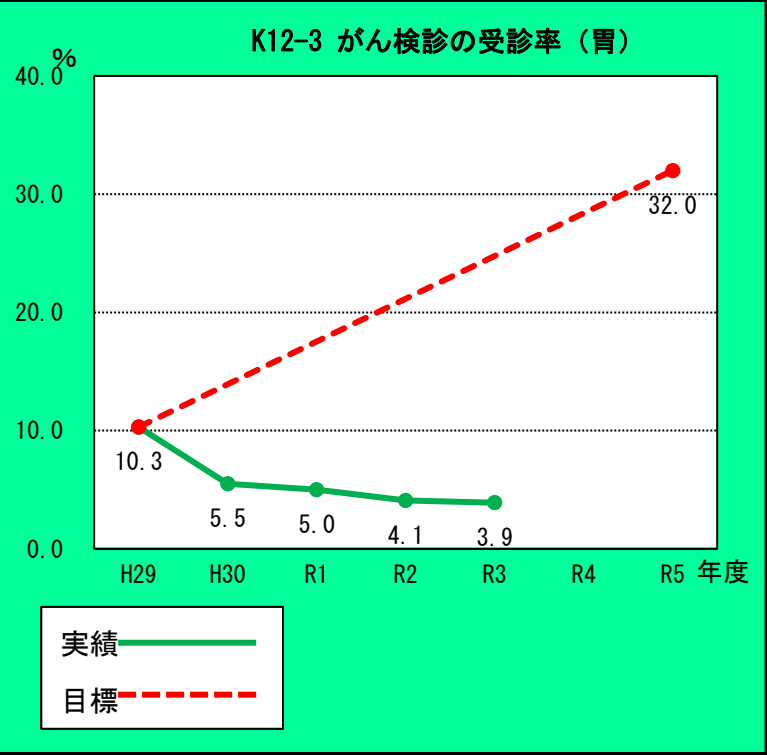
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 南口 伸之



K12-2 1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上1年以上継続して実施している人の割合（女性）					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	13.3	↓	10.1	-19.5%	29.7 40.0
	H29年度 (2017)	-3.2 %	R2年度 (2020)	$\frac{2}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	運動習慣のある女性の割合は、男性より低く、減少傾向にある。女性の社会進出に伴い、育児と仕事の両立で、時間的に余裕がないことが考えられる。歩く健康づくりの一つとしてウォーキングアプリの導入を検討してきたが、行政のデジタル化の一環として、庁内各部署連携でWGを立ち上げ、自治体マイナポイントとデジタル地域通貨を研究しウォーキングアプリその他健康ポイントを含めたアプリの導入を検討した。 引き続きDX推進室その他関連部署と連携して奈良スーパーアプリ等利用可能なツールの運用情報等を研究する。				

目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
政策	(12) 健康づくりの推進
施策	(23) 健康づくり

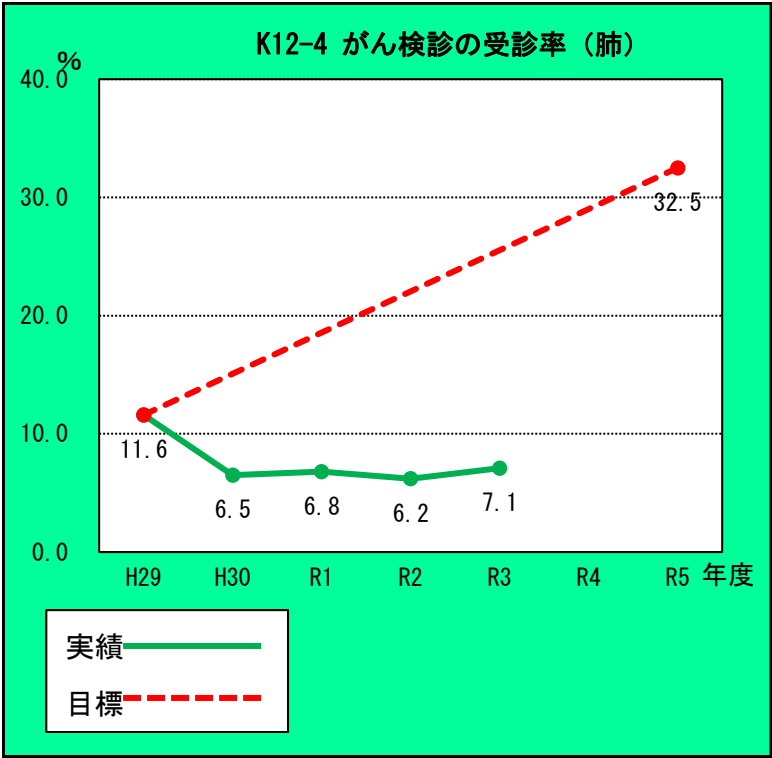
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 南口 伸之



K12-3 がん検診の受診率（胃）					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	10.3	↓	3.9	-29.5%	32.0 50.0
	H29年度 (2017)	-6.4 %	R3年度 (2021)	$\frac{3}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	受診者数は減少傾向（H29 741人→R3 563人）にある。その理由として、胃がん検診はバリウム又は胃カメラを選択できるが、どちらにしても身体的負担が大きいことやコロナ禍での受診控えが考えられる。また、胃カメラを受けると次年度はバリウムも胃カメラも受けることができないことも理由と考える。 今後も、コールリコール事業等で受診勧奨を継続する。 ※H30年度から国の対象者数（母数）の考え方が変更されたため、H29年度（受診率）とH30年度以降（受診率）の単純比較はできない状況にある。				

目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
政策	(12) 健康づくりの推進
施策	(23) 健康づくり

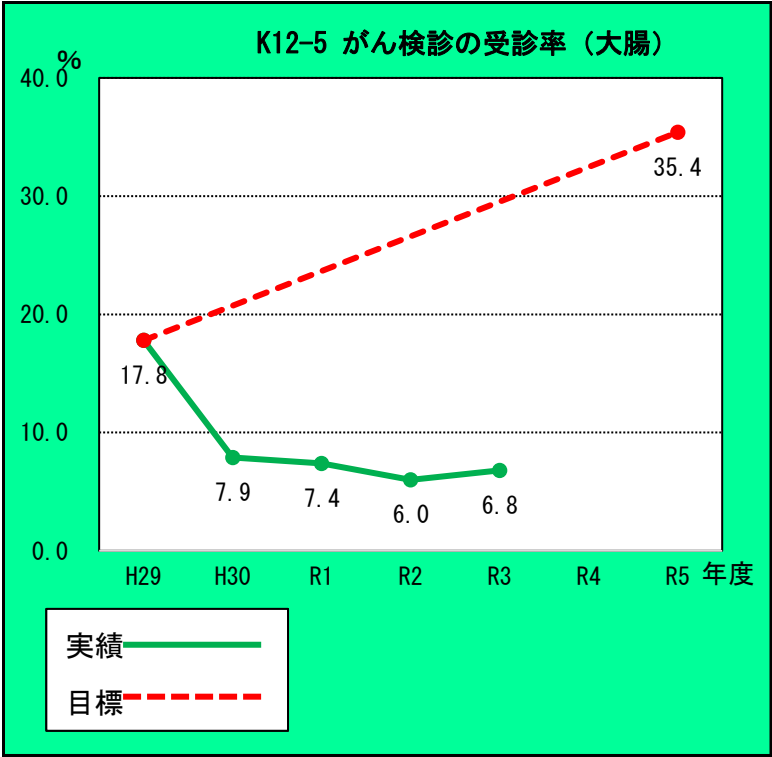
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 南口 伸之



K12-4 がん検診の受診率（肺）					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	11.6	↓	7.1	-21.5%	32.5 50.0
	H29年度 (2017)	-4.5 %	R3年度 (2021)	$\frac{3}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	受診者数は微増(H29 838人→R3 1,019人)となっており、その理由として、H30年度から肺がん健診のコールリコール事業を実施していることが一因と考える。王寺町の死因第1位は悪性新生物で、中でも「気管、気管支及び肺」が最も多いため対象としている。(出典：第4次王寺町健康増進計画及び食育推進計画) 今後も生活習慣病予防に関する普及啓発や受診勧奨を継続する。 ※H30年度から国の対象者数(母数)の考え方が変更されたため、H29年度(受診率)とH30年度以降(受診率)の単純比較はできない状況にある。				

目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
政策	(12) 健康づくりの推進
施策	(23) 健康づくり

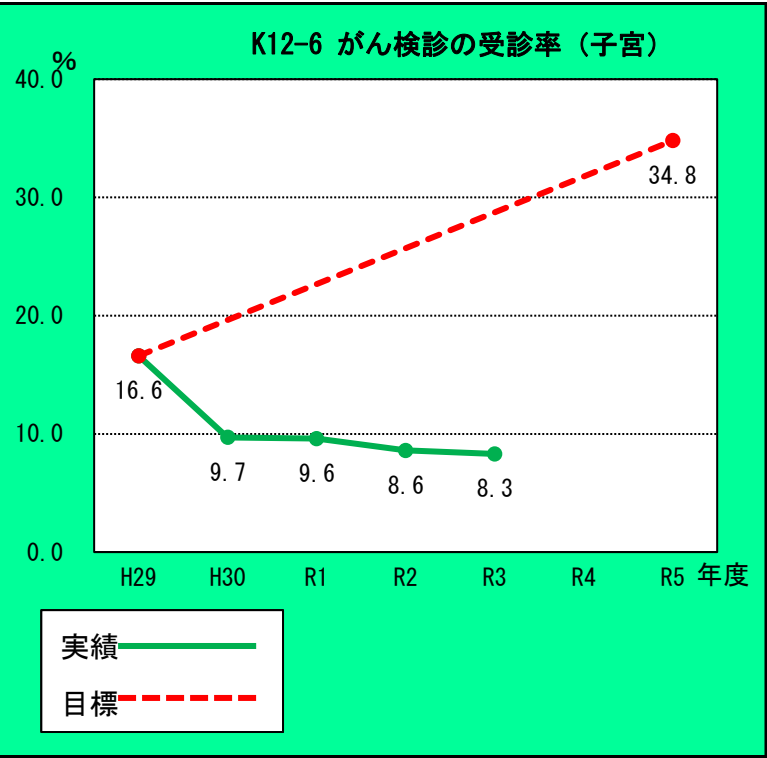
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 南口 伸之



K12-5 がん検診の受診率（大腸）					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	17.8	↓	6.8	-62.5%	35.4 50.0
	H29年度 (2017)	-11.0 %	R3年度 (2021)	$\frac{3}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	受診者数は減少傾向(H29 1,287人→R3 985人)となっている。その理由として、H29年度は大腸がん検診のコールリコール事業を実施したが、H30年度からは肺がん検診に変更したことやコロナ禍での受診控えが考えられる。 今後も生活習慣病予防に関する普及啓発や受診勧奨を継続する。 ※H30年度から国の対象者数(母数)の考え方が変更されたため、H29年度(受診率)とH30年度以降(受診率)の単純比較はできない状況にある。				

目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
政策	(12) 健康づくりの推進
施策	(23) 健康づくり

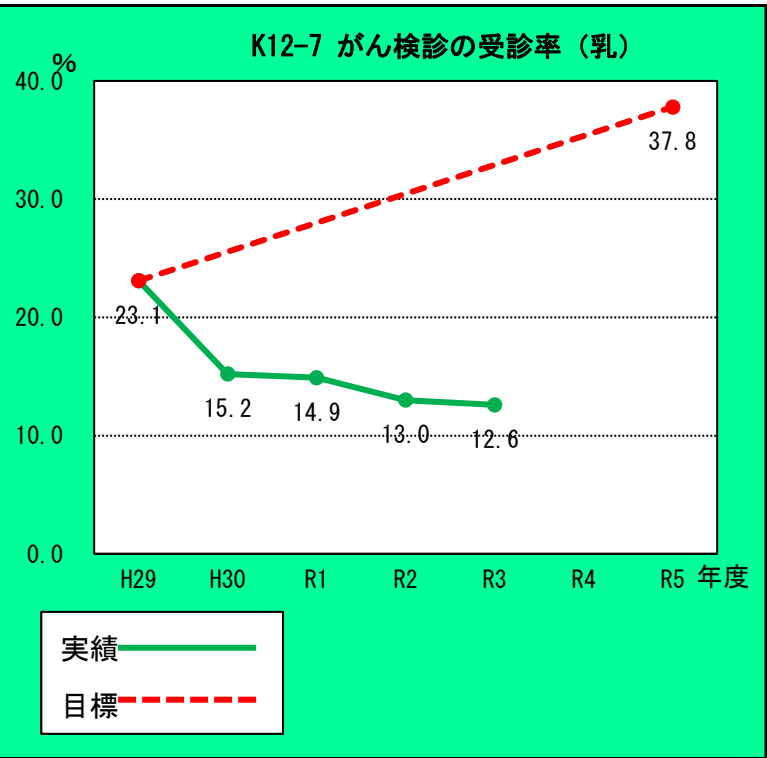
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 南口 伸之



K12-6 がん検診の受診率（子宮）					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	16.6	↓	8.3	-45.6%	34.8 50.0
	H29年度 (2017)	-8.3 %	R3年度 (2021)	$\frac{3}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	受診者数は減少傾向（H29 947人→R3 877人）となっている。その理由として、コロナ禍での受診控えが考えられる。今後も受診勧奨を継続する。 ※H30年度から国の対象者数（母数）の考え方が変更されたため、H29年度（受診率）とH30年度以降（受診率）の単純比較はできない状況にある。				

目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
政策	(12) 健康づくりの推進
施策	(23) 健康づくり

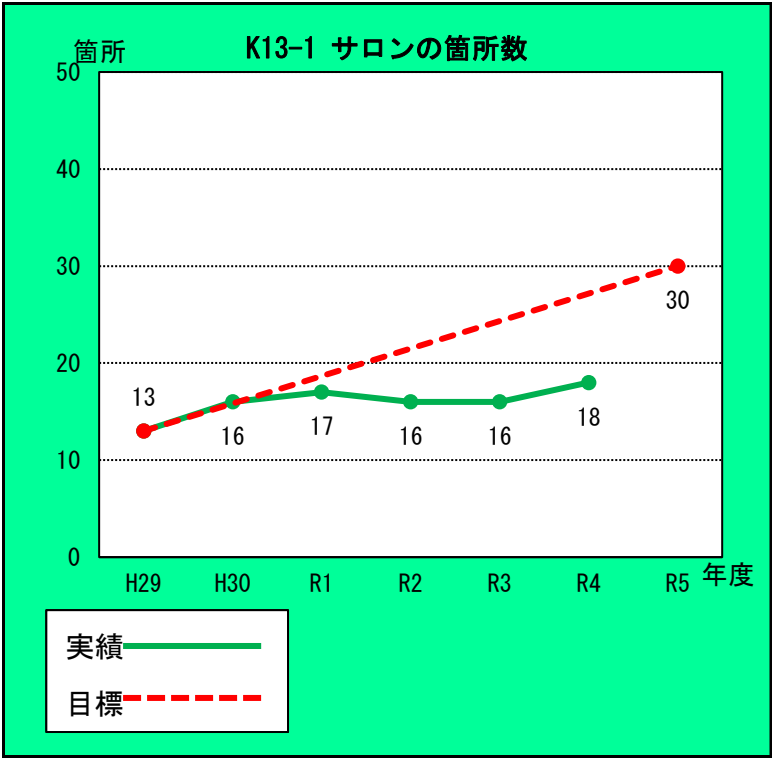
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 南口 伸之



K12-7 がん検診の受診率（乳）					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	23.1	↓	12.6	-71.4%	37.8 50.0
	H29年度 (2017)	-10.5 %	R3年度 (2021)	$\frac{3}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	受診者数は減少傾向（H29 1,075人→R3 988人）となっている。その理由として、コロナ禍での受診控えが考えられる。今後も受診勧奨を継続する。 ※H30年度から国の対象者数（母数）の考え方が変更されたため、H29年度（受診率）とH30年度以降（受診率）の単純比較はできない状況にある。				

目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
政策	(13) 地域で支え合うまちづくり
施策	(24) 地域福祉

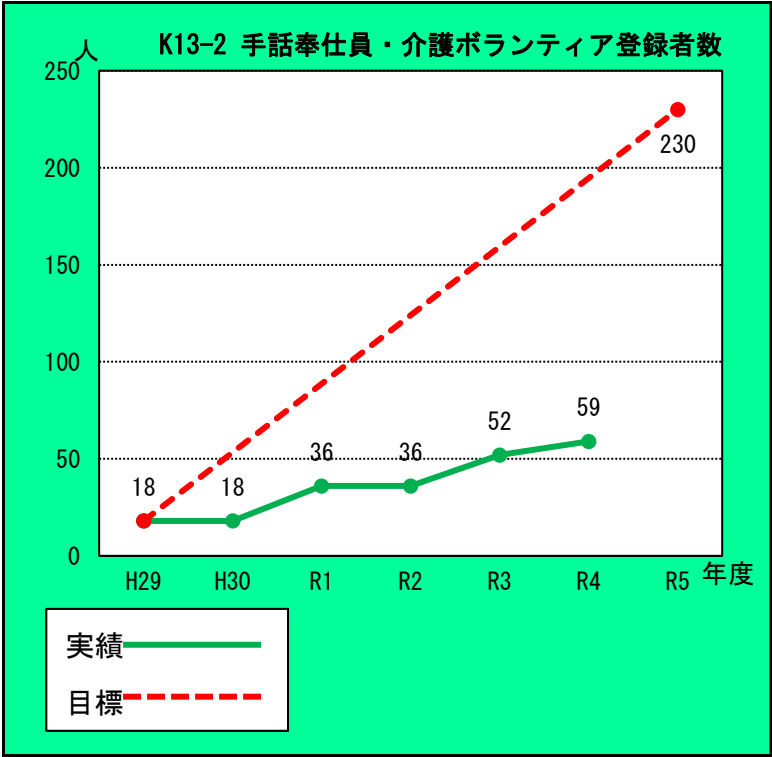
担当部署・指標管理責任者
社会福祉協議会 部長 柏本 由樹



K13-1 サロンの箇所数					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	13	↑	18	29.4%	30 50
	H29年度 (2017)	5 箇所	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	R4年度において、新規開設したサロンは2箇所であった。コロナ禍において、活動自粛していたサロンが複数あったが、代表者意見交換会による情報共有を実施したことをきっかけに、感染対策をとりながらの活動を再開されたサロンが多くあった。 今後、より一層サロン活動を活発化させていくために、目的や補助制度を各種団体へ周知を行っていく。また、自治会単位のみではなく地区単位での開催の促進、担い手の育成支援を実施し目標が達成できるよう取り組む。 ○参考：サロン活動参加者数(延べ) H29年度 5,818人 H30年度 5,550人 R1年度 5,482人 R2年度 1,056人※ R3年度 495人※ R4年度 2,624人 ※新型コロナウイルス感染拡大に伴い、 R2年度8箇所(半年間)、R3年度5箇所の開催				

目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
政策	(13) 地域で支え合うまちづくり
施策	(24) 地域福祉

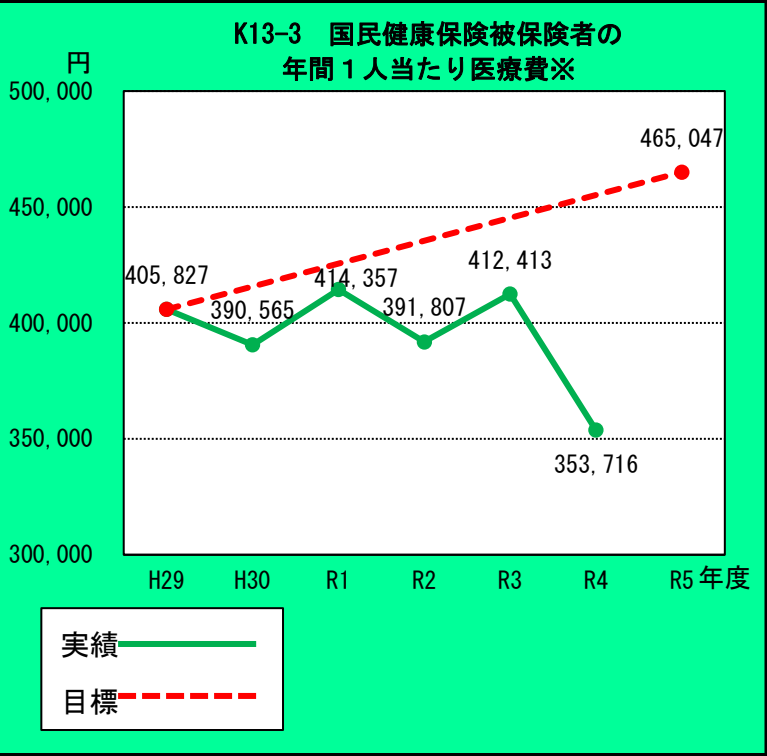
担当部署・指標管理責任者
社会福祉協議会 部長 柏本 由樹



K13-2 手話奉仕員・介護ボランティア登録者数					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	18	↑	59	19.3%	230 420
	H29年度 (2017)	41 人	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	○手話奉仕員養成講座の実施 ・R4年度に基礎編(土曜日)を開講し、現役世代も含めた登録者の増加を行った。 ・R5年度は入門編を開講し登録者の増加を図る。 ・実績 H29年度(入門編)17名 H30年度(基礎編)15名 R元年度(入門編)8名 R2年度(基礎編)休講 R3年度(入門編)11名／(基礎編)5名 R4年度(基礎編)7名 ※入門編修了者が基礎編を受講できる ○介護(生活支援ボランティア)養成講座の実施 ・R2,3,4年度はコロナ禍により休講。 ・R5年度に養成講座を実施する。また卒業生に対してフォローアップ講座を実施し登録者の拡大を行う。 ・実績 R1年度 13名				

目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
政策	(13) 地域で支え合うまちづくり
施策	(25) 国民健康保険

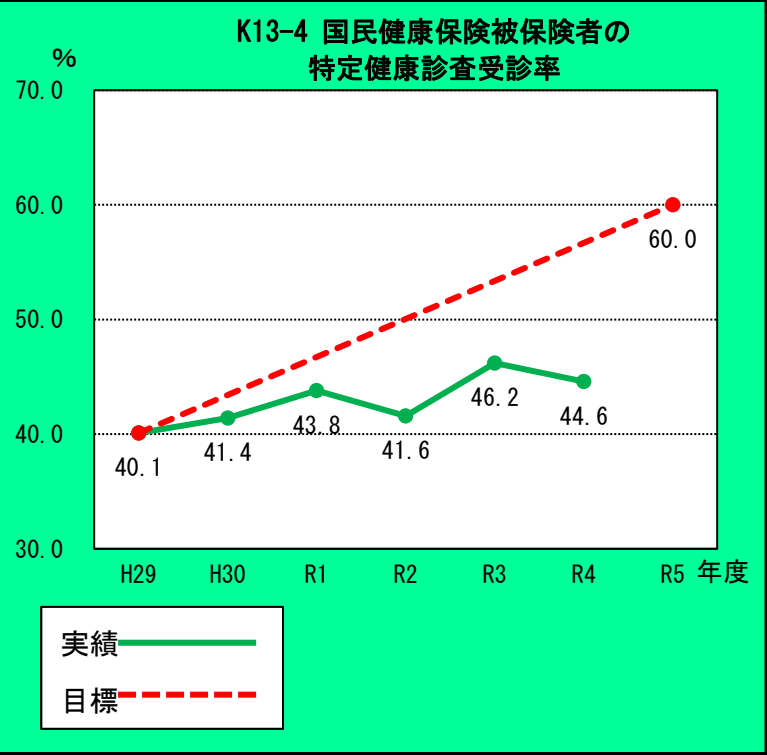
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 国保健康推進課 課長 成田 光大



K13-3 国民健康保険被保険者の 年間1人当たり医療費※					
K P I	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	405,827	↑	353,716	131.5%	465,047 519,215
	H29年度 (2017)	-52,111 円	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進 捗 状 況	H30年度に策定した第2期データヘルス計画に基づく保健事業や人間ドック費用助成を実施し、生活習慣病予防及び重症化予防による被保険者の健康寿命の延伸を図っている。また、国保事務支援センター実施の重複・多剤投薬対策やジェネリック医薬品使用促進等の共同事業に積極的に参加し、医療費適正化に取り組んでいる。 R4年度の1人当たり医療費の減少は、70～74歳の1人当たり医療費が507,752円と前年度より124,770円減少したことが大きく、引き続き健康寿命延伸、医療費適正化のための事業を実施していく。				
	※は数値が低い方が良くなる指標です。				

目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
政策	(13) 地域で支え合うまちづくり
施策	(25) 国民健康保険

担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 国保健康推進課 課長 成田 光大



K13-4 国民健康保険被保険者の特定健康診査受診率					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	40.1	↑	44.6	22.6%	60.0 70.0
	H29年度 (2017)	4.5 %	R4年度 (2022)	4/5 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	特定健康診査受診率向上のため、未受診者に対し電話や文書による受診勧奨を行っている。 また、H30年度からは特定健診受診者や職域等の健診結果提出者に雪丸グッズ等のプレゼントを開始、R3年度には受診率の低い年齢層への勧奨回数を増やすなど、受診率向上のための取組を行っている。 R4年4月末時点の受診率(暫定値)は44.6%(前年度同時期より0.7ポイント増)で、11月頃公表の最終結果では、前年度最終結果の46.2%相当もしくはそれを超える受診率になると予想している。 目標値にできるだけ近づくよう、引き続き未受診者への対策を実施していく。				

5 人を育みみんなが学べるまちづくり

数値目標

5(1)合計特殊出生率

K P I

政策(14) 子ども・子育て支援の充実

- K14-1 保育園入所待機児童数
- K14-2 保育サービスに関する満足度
- K14-3 すくすく広場の年間利用者数(延べ)
- K14-4 子育てをする上で気軽に相談できる人や場所の有無について「いない」「ない」と答えた保護者の割合(就学前児童を持つ親)
- K14-5 子育てをする上で気軽に相談できる人や場所の有無について「いない」「ない」と答えた保護者の割合(小学生児童を持つ親)
- K14-6 王寺町で子育てをしたいと思う親の割合(4か月児の親)
- K14-7 王寺町で子育てをしたいと思う親の割合(3歳6か月児の親)
- K14-8 夜10時までに寝る生活リズムを持つ1歳6か月児の割合

政策(15) 学校教育の充実

- K15-1 「子どもをこの幼稚園に通わせてよかった」と思う保護者の割合
- K15-2 「子どもは幼稚園で自分らしさを出し、思っていることが言える」と思う保護者の割合
- K15-3 全国学力・学習状況調査(中3) 平均正答率【国語】
- K15-4 全国学力・学習状況調査(中3) 平均正答率【数学】
- K15-5 全国学力・学習状況調査(中3) 平均正答率【英語】

- K15-6 「規範意識」を問う設問で、「当てはまる」「どちらか」として当てはまる」と回答した生徒の割合
- K15-7 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査(中2)」における平均点【男子】
- K15-8 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査(中2)」における平均点【女子】

政策(16) 生涯学習の充実

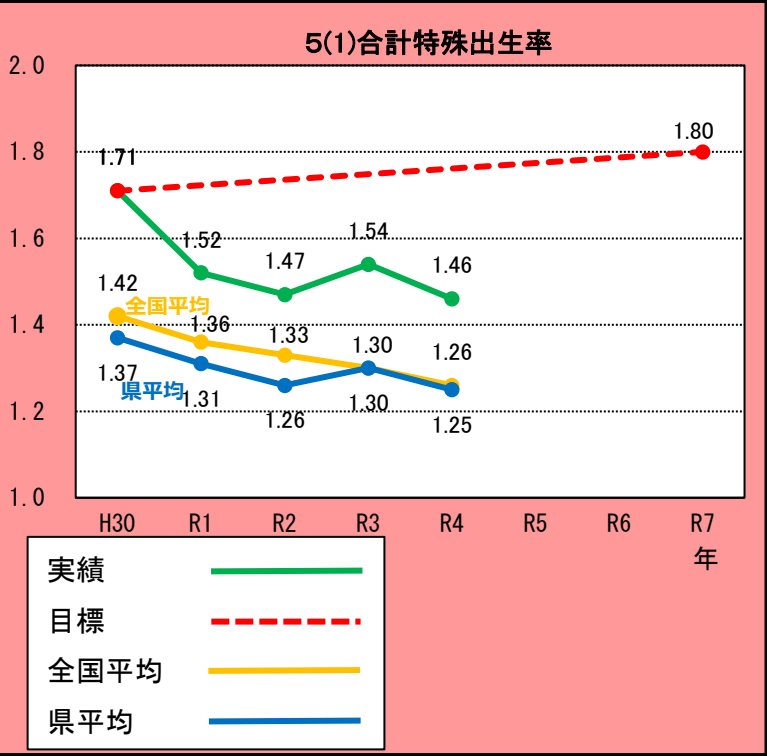
- K16-1 生涯学習施設の利用者数
- K16-2 図書館利用者1人当たりの貸出冊数
- K16-3 青少年リーダー(中高生)の登録者数
- K16-4 地域の行事に参加している小学生の割合
- K16-5 地域の行事に参加している中学生の割合

政策(17) 歴史文化・スポーツ活動の振興

- K17-1 国・県・町指定文化財及び国登録文化財の件数
- K17-2 観光協会やボランティアガイドによる文化財の年間観光案内人数
- K17-3 町主催の文化事業の来場者数
- K17-4 ムジークフェストなら in 王寺への来場者数
- K17-5 「総合型地域倶楽部王寺やわらぎトラスト」の年間参加者数
- K17-6 町内体育施設の年間利用者数

数値目標

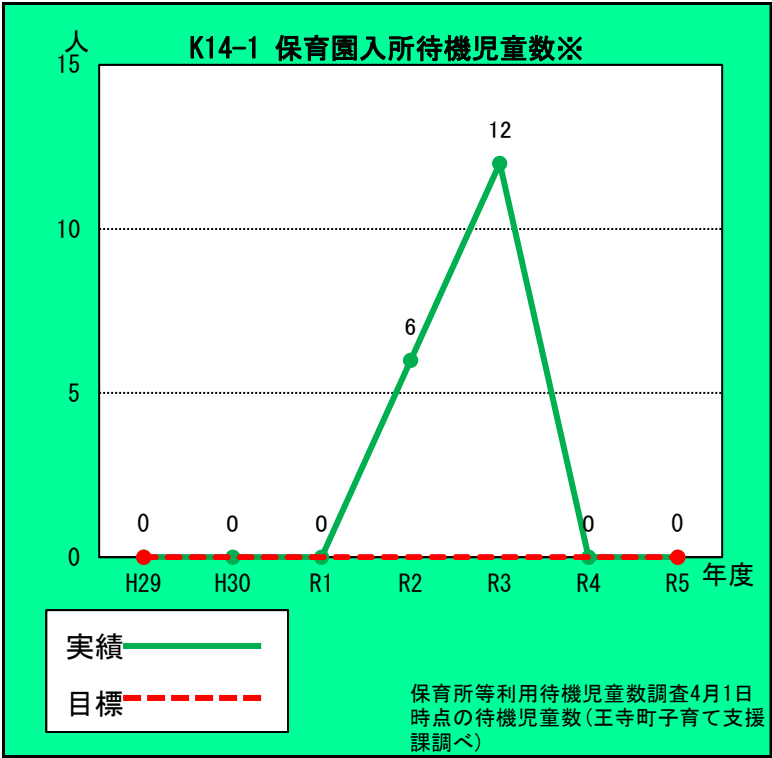
基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり	担当部署・指標管理責任者
基本的方向	すべての住民が生涯学び続けることができ、地域の歴史文化に親しめる町をつくる	健康子育て支援部 部長 増田 淳子



5(1)合計特殊出生率					
数値目標	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	1.71	↓	1.46	-277.8%	1.80
	H30年度(2018)	0.25ポイント	R4年度(2022)	3/4年目	R7年度(2025)
進捗状況	一旦は増加に転じたが1.46(町試算)に減少する見込みである。全国的にも出生率は減少傾向が続いており、コロナ禍や、未婚化や晩婚の影響と考える。				
	子どもを産むことは個人の選択ではあるが、王寺町で子どもを産み育てたいと当町を選んでもらえる魅力的なまちづくりを推進していくことが引き続き重要である。このことから、子ども医療費助成の対象者の拡大や、ファミリー・サポート・センター事業ではきょうだいの同時利用を可能とするなど子育てがしやすい環境づくりに取り組んでいる。				
	今後も、国のこども・子育て支援加速化プラン等を視野に入れて全庁的な取り組みを推進することで、若い世代が増え、出生率も向上すると認識している。				

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(14)子ども・子育て支援の充実
施策	(26)保育環境

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 子育て支援課 課長 芳川 典生



KPI

K14-1 保育園入所待機児童数※					
基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値	
0		→	0	100.0%	0
H29年度 (2017)		0 人	R5年度 (2023)	5 5 年目	R5年度 (2023)
					R10年度 (2028)

進捗状況

R5年度も待機児童数は0となった。引き続き、待機児童を出さないよう町内の私立保育所等と園児の受入等について連携する。

また、今後は国のこども・子育て政策の強化（加速化プラン）や女性の就業率の増加による保育ニーズの増加に対応するため、民間による認定こども園等を整備していく。

※R4年度から国の待機児童の考え方が変更され、年度初め(4月1日時点)に入所できない場合であっても、年度内に入所できれば待機児童数に含めないこととされた。

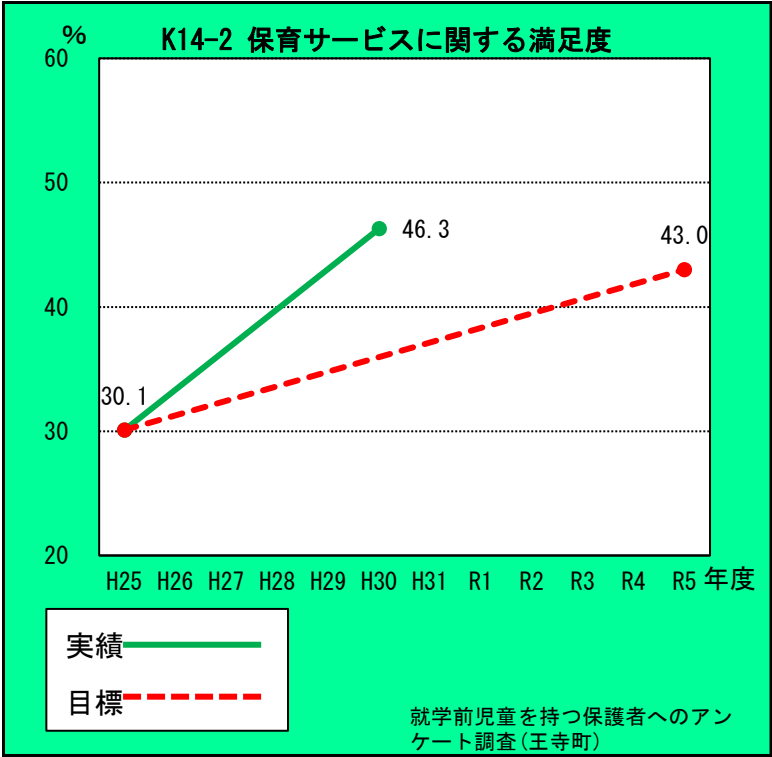
○参考：待機児童の状況

- ・R3年度 12人→7月までに入所

※は数値が低い方が良くなる指標です。

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(14)子ども・子育て支援の充実
施策	(26)保育環境

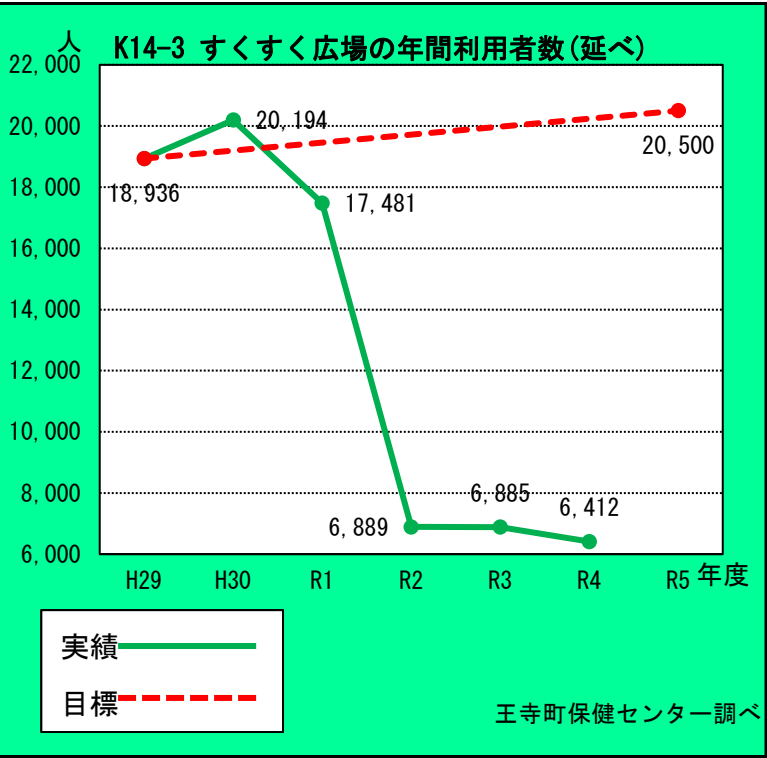
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 子育て支援課 課長 芳川 典生



K14-2 保育サービスに関する満足度					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	30.1	↗	46.3	125.6%	43
	H25年度 (2013)	16.2%	H30年度 (2018)	0/5年目	R5年度 (2023)
					R10年度 (2028)
進捗状況	H30年度時点の満足度は46.3%で、目標値を上回ることができた。保護者の経済的支援として、在園第2子目の保育料減免を継続して実施していることから保護者の満足度に繋がっていると認識している。 西和地域の5町が共同で西和地域病児保育室(いちごルーム)をR2年1月から開所し、子育てと仕事を両立させることができる環境整備を行った。 R3年4月には、民間による小規模保育園を整備した。また、国のこども・子育て政策の強化(加速化プラン)や女性の就業率の増加による保育ニーズの増加に対応し、待機児童が発生しないよう民間による認定こども園等を整備していく。 引き続き、満足度が高まるよう、子どもが安心して過ごせる学童保育の充実も含めて、町内の私立保育所等とも連携しながら取り組む。				

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(14)子ども・子育て支援の充実
施策	(27)子育て支援

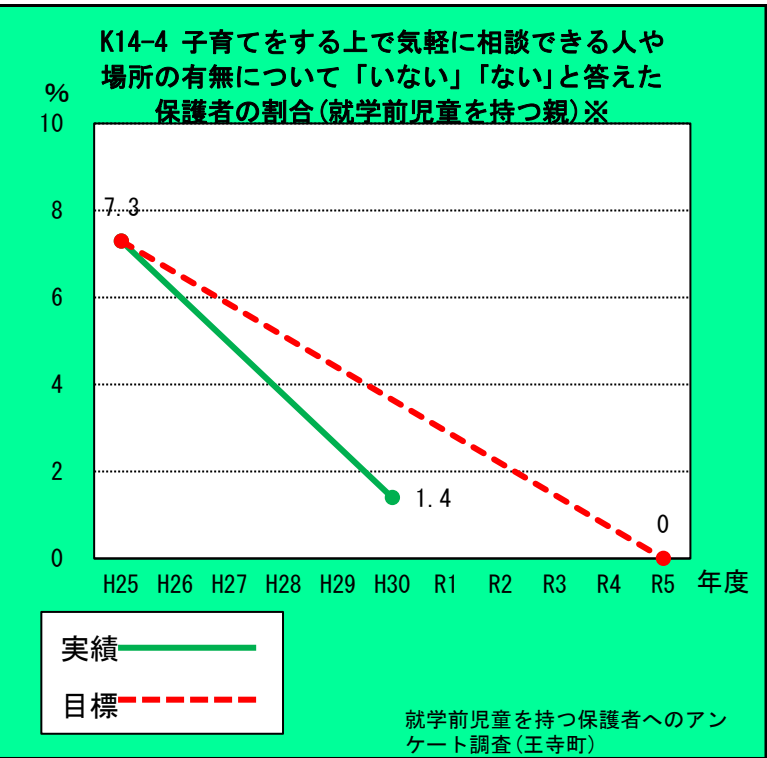
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 南口 伸之



K14-3 すくすく広場の年間利用者数(延べ)					
K P I	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	18,936	↓	6,412	-800.8%	20,500
	H29年度 (2017)	-12,524 人	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023)
進捗状況	コロナ禍により、中止又は定員を設けて実施しているため利用者は減少した。利用者は楽しんで参加されており、今まで通り子育て相談等を実施しているが、以前のように気軽に利用していただけないことから、気になる親子には保健師等から積極的に電話や訪問をして対応している。 今後は状況を見て定員数拡大や予約制の廃止を検討していく。				
	○コロナ禍による子育て広場中止状況 ・R2. 2. 27～R2. 6. 13の間 ・R4. 1. 20～R4. 5. 22の間 ・R4. 7. 23～9. 19の間 ※R2年6月から密を避けるため予約制で実施				

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(14)子ども・子育て支援の充実
施策	(27)子育て支援

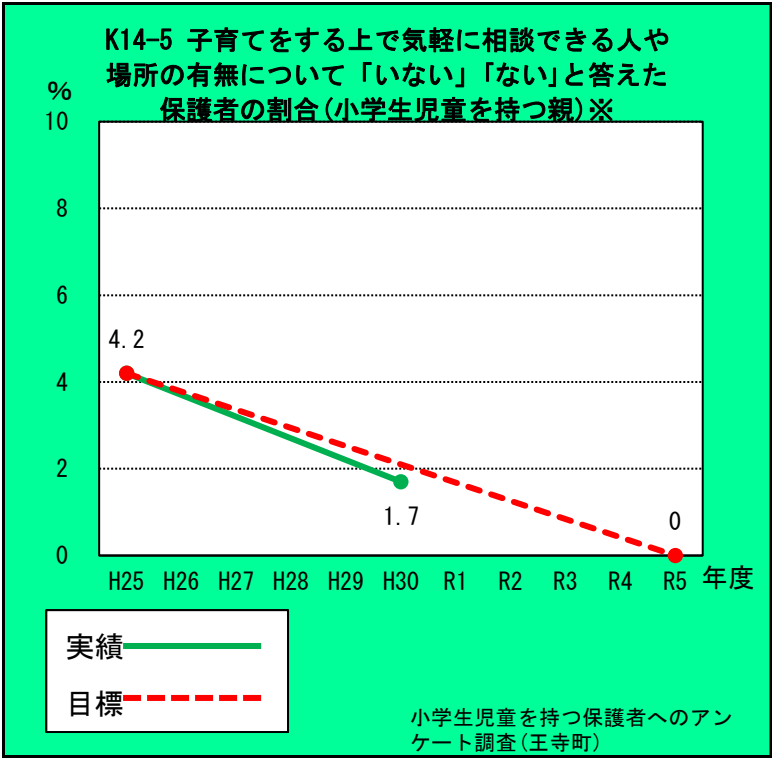
担当部署・指標管理責任者
健康・子育て支援部 子育て支援課 課長 芳川 典生



K14-4 子育てをする上で気軽に相談できる人や場所の有無について「いない」「ない」と答えた保護者の割合(就学前児童を持つ親)※					
K P I	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	7.3	↑	1.4	80.8%	0
	H25年度 (2013)	-5.9 %	H30年度 (2018)	$\frac{0}{5}$ 年目	R5年度 (2023)
進捗状況	H30年度時点の割合は1.4%であり、目標値に近づけることができた。 保健センターで実施している子育て広場(すくすく広場等)は、気軽に親子が参加でき、同時に子育て相談等も実施している。また、すくすく子育て支援センターでは、妊娠期から子育て期の様々な悩みについて相談できる窓口を設け、保護者の悩みに対応し、安心して妊娠・出産・子育てができるよう支援している。 R4年10月から、子ども家庭総合支援拠点を設置し、すべての子どもとその家庭及び妊産婦を対象とし、必要な支援に係る業務を行っている。子育ての悩みを持つ親が、身近な場所で気軽に相談できる窓口(場所)について町広報誌等を通じて情報提供を行う。				
	※は数値が低い方が良くなる指標です。				

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(14) 子ども・子育て支援の充実
施策	(27) 子育て支援

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 子育て支援課 課長 芳川 典生

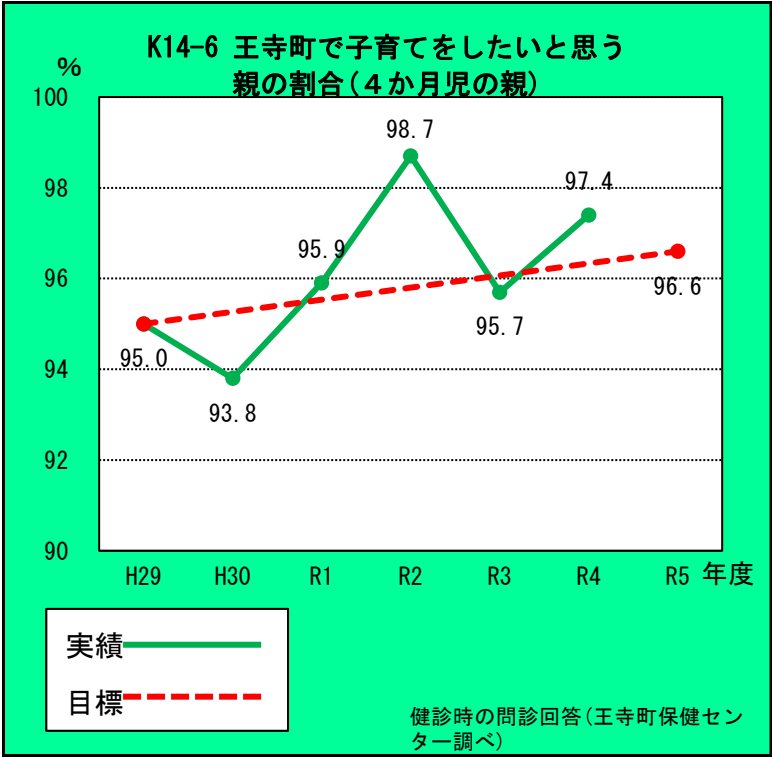


KPI	K14-5 子育てをする上で気軽に相談できる人や場所の有無について「いない」「ない」と答えた保護者の割合(小学生児童を持つ親)※					
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値	
	4.2	↑	1.7	59.5%	0	0
進捗状況	H25年度(2013)	-2.5%	H30年度(2018)	0/5年目	R5年度(2023)	R10年度(2028)
	H30年度時点での割合は1.7%であり、目標値に近づけることができた。					
	子ども家庭総合支援拠点等において、気軽に相談できる窓口を設けて不安や悩みを抱える保護者に対応している。					

※は数値が低い方が良くなる指標です。

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(14) 子ども・子育て支援の充実
施策	(28) 母子保健

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 南口 伸之

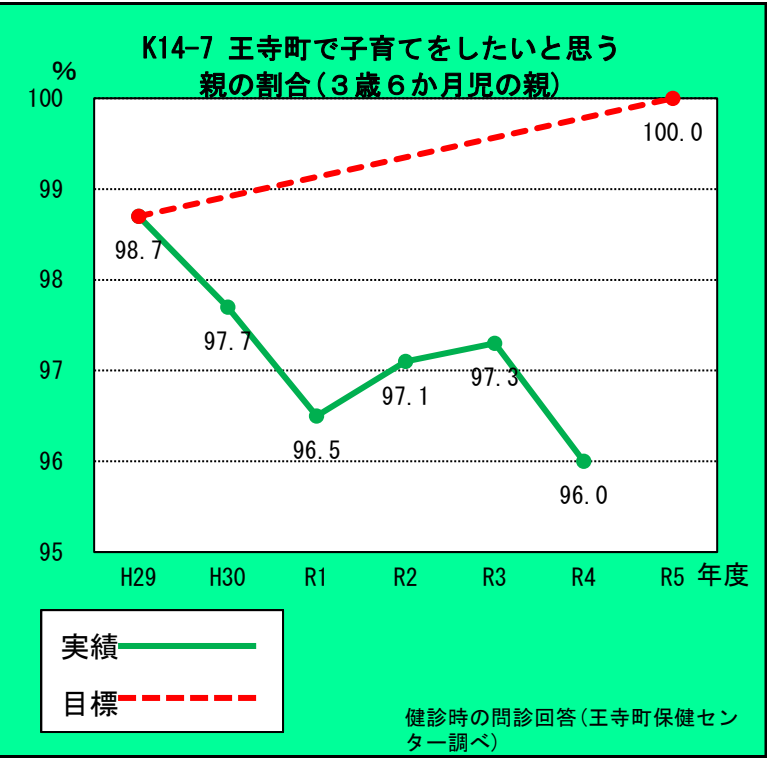


KPI	K14-6 王寺町で子育てをしたいと思う親の割合(4か月児の親)					
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値	
	95.0	↑	97.4	150.0%	96.6	98.0
進捗状況	H29年度(2017)	2.4%	R4年度(2024)	4/5年目	R5年度(2023)	R10年度(2028)
	王寺町で子育てをしたいと思う親の割合は高く、横ばい又は増加傾向にある。					
	保健センターで実施している事業(任意接種費用助成[おたふくかぜ・子どもインフルエンザ]、不育治療費助成等)だけでなく、在園第2子目の保育料減免や町立幼稚園の預かり保育の実施等、子育て施策を推進してきた結果と考える。					

今後も現状値が維持できるよう、親の困り事やニーズの把握に努め、必要な子育て支援策を提案していきたい。

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(14) 子ども・子育て支援の充実
施策	(28) 母子保健

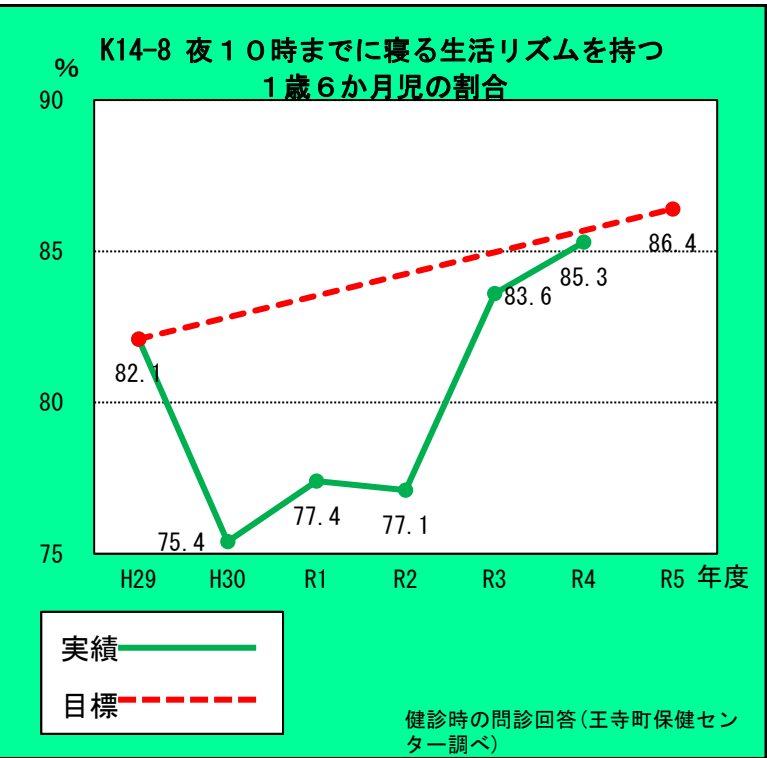
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 南口 伸之



K14-7 王寺町で子育てをしたいと思う親の割合（3歳6か月児の親）					
KPI	基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
	98.7	↓	96.0	-207.7%	100
	H29年度（2017）	-2.7%	R4年度（2022）	4/5 年目	R5年度（2023）
					R10年度（2028）
進捗状況	王寺町で子育てをしたいと思う親の割合は非常に高く、H29年度より減少したもののかなり高い水準となっている。 保健センターで実施している事業だけでなく、町全体で実施している子育て施策を推進してきた結果と考える。 子どもが成長するに伴い子育ての悩み等も多様化していくため、親の困り事やニーズの把握に努め、必要な子育て支援策を提案していきたい。				

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(14) 子ども・子育て支援の充実
施策	(28) 母子保健

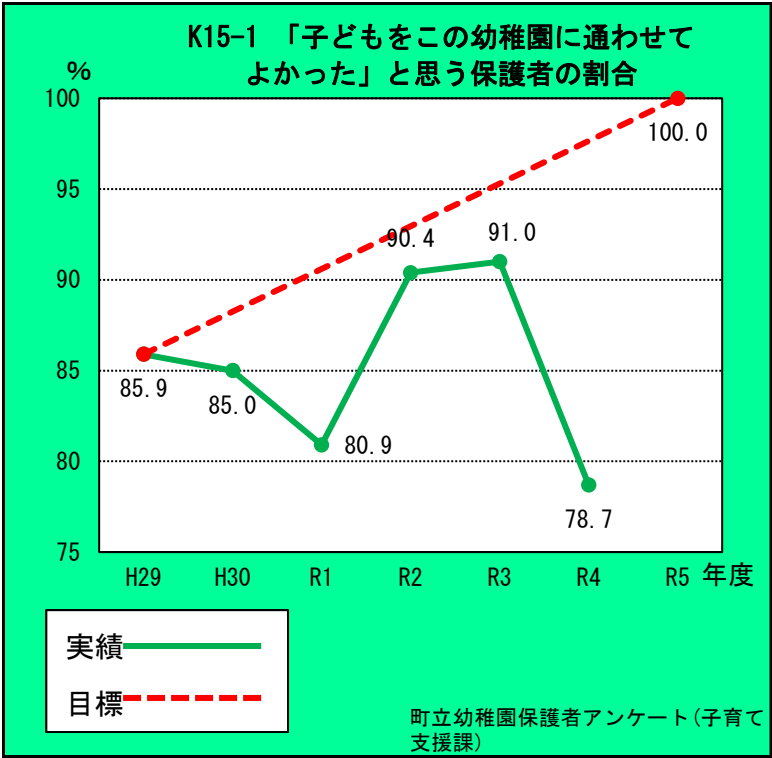
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 南口 伸之



K14-8 夜10時までに寝る生活リズムを持つ1歳6か月児の割合					
KPI	基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
	82.1	↑	85.3	74.4%	86.4
	H29年度（2017）	3.2%	R4年度（2022）	4/5 年目	R5年度（2023）
					R10年度（2028）
進捗状況	夜10時までに寝る生活リズムを持つ子どもの割合は、一時期は大きく減少したものの増加傾向にある。減少した背景には、働く母親の増加により時間に余裕がなく、親自身も就寝時間が遅いことが考えられる。 しかし、機会があるごとに生活リズムを整えることの大切さを保護者に啓発し、その結果として増加傾向に転じたと考えられる。 今後も、子どもの成長には規則正しい生活リズムが大切であることに加え、幼児期の生活リズムは親が形成していくものであることを含めて啓発を続けていきたい。				

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(15) 学校教育の充実
施策	(29) 就学前教育

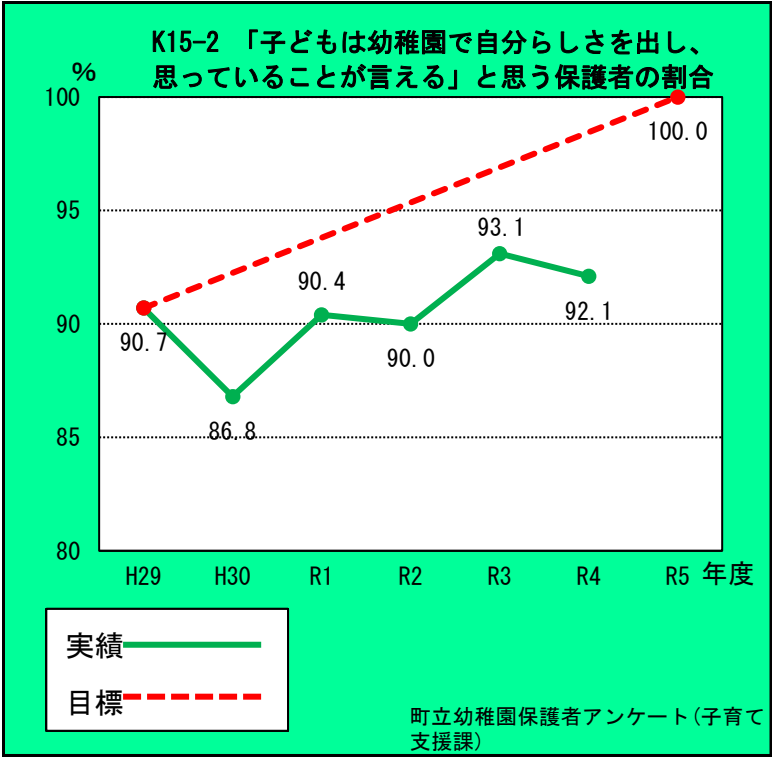
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 子育て支援課 課長 芳川 典生



K15-1 「子どもをこの幼稚園に通わせてよかった」と思う保護者の割合					
KPI	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	85.9	↑	78.7	-51.1%	100
	H29年度(2017)	-7.2%	R4年度(2022)	4/5 年目	R5年度(2023)
					R10年度(2028)
進捗状況	昨年度に比べ、大幅な下落となった。その原因としては町立幼稚園の2園化の影響が大きいと考えられる。引き続き、保護者に対し、園生活の様子や楽しさを詳しく伝えることで、信頼関係を築いていく。 R4年度からは給食を開始し、園児が自ら進んで食べようとする気持ちを育てるよう食育の推進に取り組んでいる。 R5年度は、未就園児やその保護者に町立幼稚園の魅力を感じてもらう事業(体験保育、園庭開放、登降園管理システムの導入等)を実施し、就園率の向上を図る。 また、幼稚園と義務教育学校との円滑な接続を図ること、預かり保育の実施日数を増やすこと等、今後も保護者の期待に応えることができるよう取り組んでいく。				

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(15) 学校教育の充実
施策	(29) 就学前教育

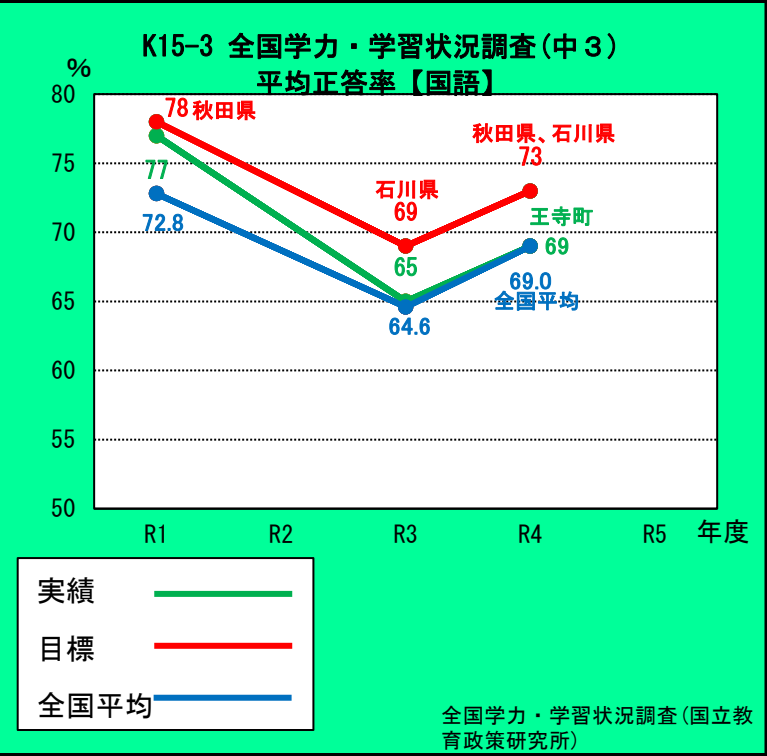
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 子育て支援課 課長 芳川 典生



K15-2 「子どもは幼稚園で自分らしさを出し、思っていることが言える」と思う保護者の割合					
KPI	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	90.7	↑	92.1	15.1%	100
	H29年度(2017)	1.4%	R4年度(2022)	4/5 年目	R5年度(2023)
					R10年度(2028)
進捗状況	R4年度は92.1%で昨年度と比較し、1.0ポイントの下落となっているが、基準値からは上昇傾向にある。 各幼稚園では、個人懇談等の機会を通じて子どもたちの家庭や幼稚園での活動状況を保護者と確認・共有している。 引き続き保護者との信頼関係を築き、R3年度に作成した町立幼稚園の新たな教育目標「学びの芽ばえ」に示した『心身ともに健やかで豊かな感性をもち主体的に活動できる子ども』を育成していく。				

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(15) 学校教育の充実
施策	(30) 学校教育

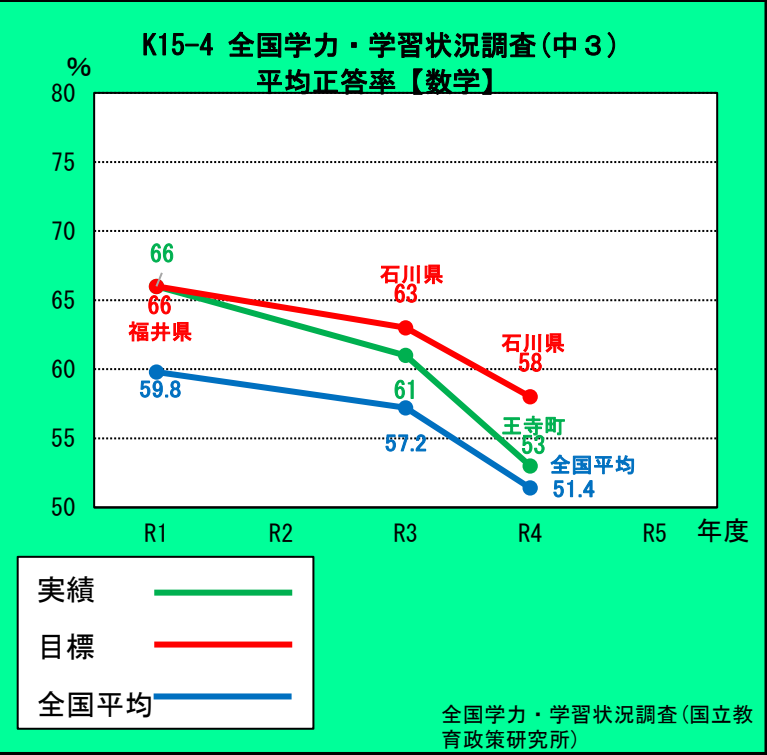
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



K15-3 全国学力・学習状況調査(中3) 平均正答率【国語】					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	69.0	→	69	0.0%	73
	R4年度 全国平均	0.0 %	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R4年度 秋田県他
進捗状況	蔵書を計画的に購入するなど司書教諭を中心に学校図書館の充実を図った。また、朝の読書活動の継続的な実施等により生徒の読解力向上に努めた。 本町のR4年度の平均正答率は全国平均と同等で、目標値である全国1位の秋田県・石川県の数値に比べ4ポイント差である。 ※R1年度から、国語に関する調査が、知識・活用を一体的に問う調査に変更されたため、R1年度からの実績を掲載。 ※R2年度については、コロナ禍により全国学力・学習状況調査が実施されなかった。 ※R5年度調査結果は、R5年7月末公表予定。				

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(15) 学校教育の充実
施策	(30) 学校教育

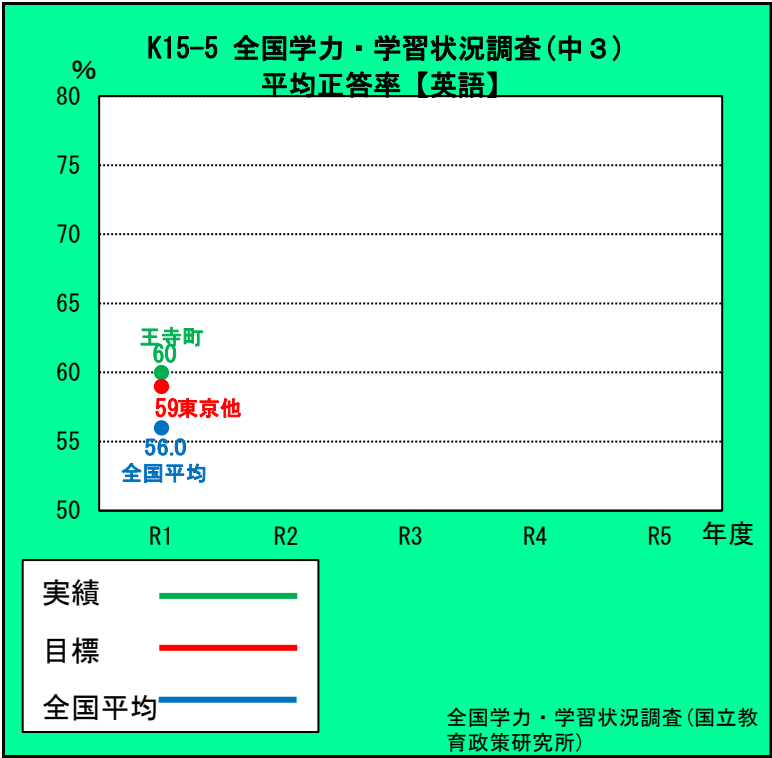
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



K15-4 全国学力・学習状況調査(中3) 平均正答率【数学】					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	51.4	↗	53	24.2%	58
	R4年度 全国平均	1.6 %	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R4年度 石川県
進捗状況	少人数学級編成による授業や放課後の王寺町寺子屋塾(雪丸サポートスクール)等きめ細やかな学習指導の実施により、生徒の単元に対する理解の向上に努め、本町のR4年度の平均正答率は全国平均より高く、目標値である全国1位の石川県に比べ5ポイント差である。 ※R1年度から、数学に関する調査が、知識・活用を一体的に問う調査に変更されたため、R1年度からの実績を掲載。 ※R2年度については、コロナ禍により、全国学力・学習状況調査が実施されなかった。 ※R5年度調査結果は、R5年7月末公表予定。				

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(15) 学校教育の充実
施策	(30) 学校教育

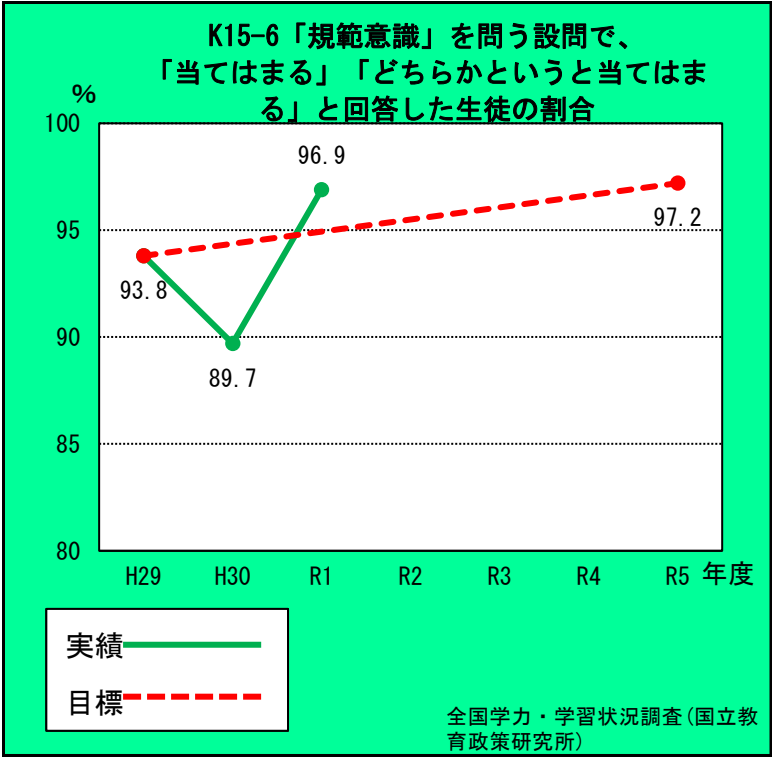
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



K15-5 全国学力・学習状況調査(中3) 平均正答率【英語】					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	56.0	↑	60	133.3%	59
	R1年度 全国平均	4.0 %	R1年度 (2019)	1 5 年目	R1年度 東京、神奈川、福井
進捗状況	外国語指導助手(ALT)を両中学校に配置し、実践的な英語教育を実施している。また、英検対策講座を実施し、英検合格者の向上を目指す等の取組により、本町のR1年度の平均正答率は、全国平均より高く、目標値である全国1位より高い数値である。 ※全国学力・学習状況調査【英語】は3年に1度の調査であり、次回はR5年度を予定されている。 ※R5年度調査結果は、R5年7月末公表予定。				

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(15) 学校教育の充実
施策	(30) 学校教育

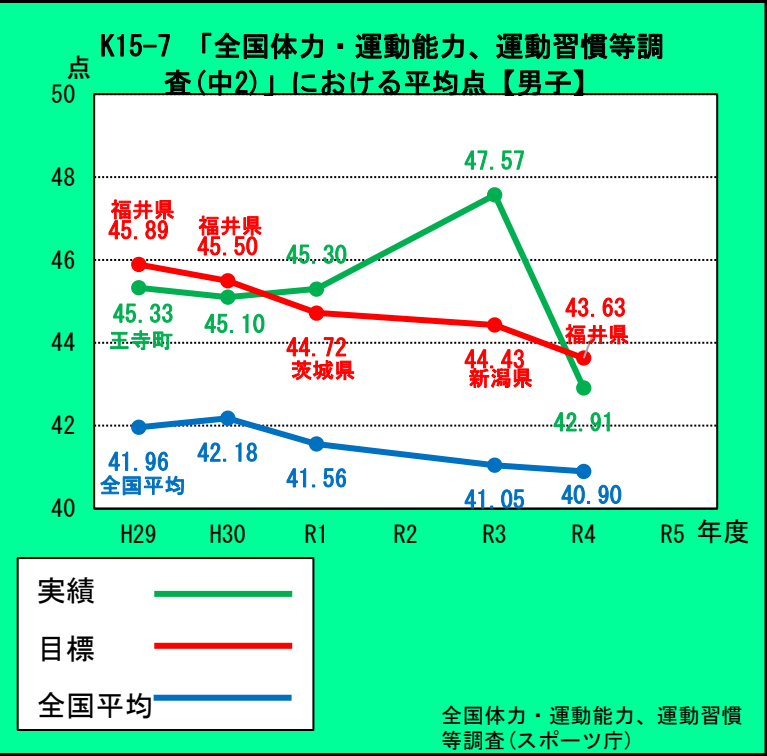
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



K15-6 「規範意識」を問う設問で、「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と回答した生徒の割合					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	93.8	↑	96.9	91.2%	97.2
	H29年度 (2017)	3.1 %	R1年度 (2019)	1 5 年目	R5年度 (2023)
進捗状況	時間を守る、忘れ物をしない、学校の物を大事にするなど、常日頃から生徒に対し、学校の規則を守ることへの意識付けを行っていること等により、R1年度全国学力・学習状況調査における「学校の規則を守っていますか」の問いに対し、「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と回答した生徒の割合が、H29年度に対し3.1ポイント増加した。 ※R2年度については、コロナ禍により、全国学力・学習状況調査が実施されなかった。 ※R3・R4・R5年度については、全国学力・学習状況調査の設問が無かった。				

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(15) 学校教育の充実
施策	(30) 学校教育

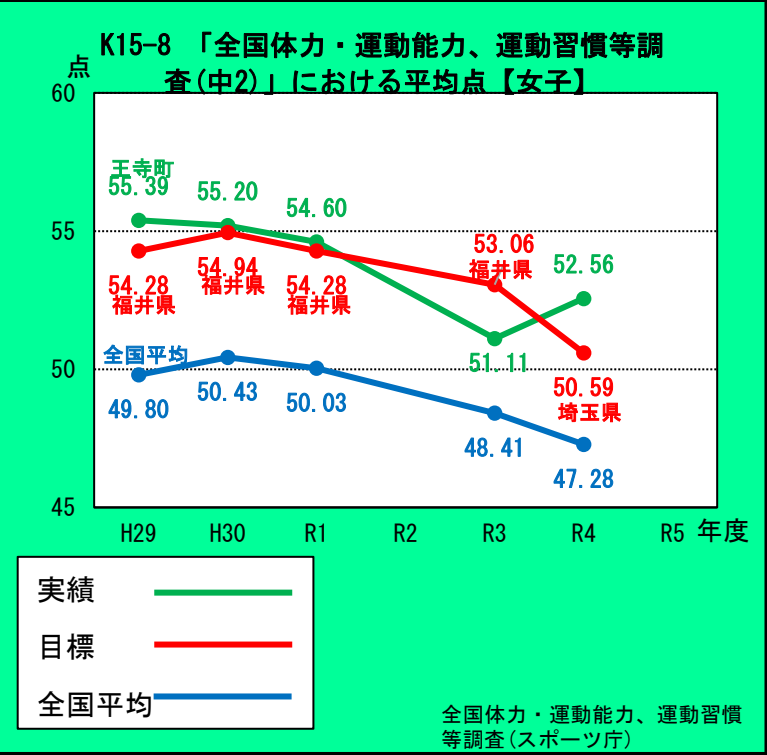
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



K15-7 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査(中2)」における平均点【男子】					
KPI	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	40.90	↑	42.91	73.6%	43.63
	R4年度 全国平均	2.01 点	R4年度 (2022)	4/5 年目	R4年度 福井県
進捗状況	義務教育学校開校前より、中学校保健体育の教員が小学校5・6年の体育授業のサポートに入り、早くから専門性の高い指導等を行うことにより、R4年度は、全国平均を上回ったが、目標値よりは約1ポイント下回った。				
	※R2年度については、コロナ禍により、全国体力・運動能力、運動習慣等調査が実施されなかった。				

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(15) 学校教育の充実
施策	(30) 学校教育

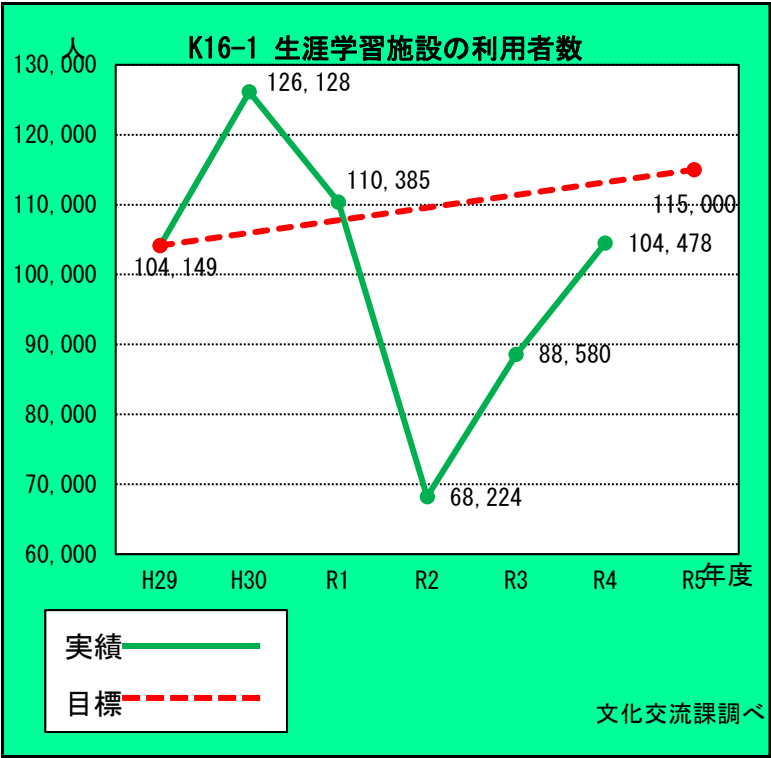
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



K15-8 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査(中2)」における平均点【女子】					
KPI	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	47.28	↑	52.56	159.5%	50.59
	R4年度 全国平均	5.28 点	R4年度 (2022)	4/5 年目	R4年度 埼玉県
進捗状況	義務教育学校開校前より、中学校保健体育の教員が小学校5・6年の体育授業のサポートに入り、早くから専門性の高い指導等を行うことにより、R4年度は、目標値を約2ポイント上回った。				
	※R2年度については、コロナ禍により、全国体力・運動能力、運動習慣等調査が実施されなかった。				

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(16)生涯学習の充実
施策	(31)生涯学習

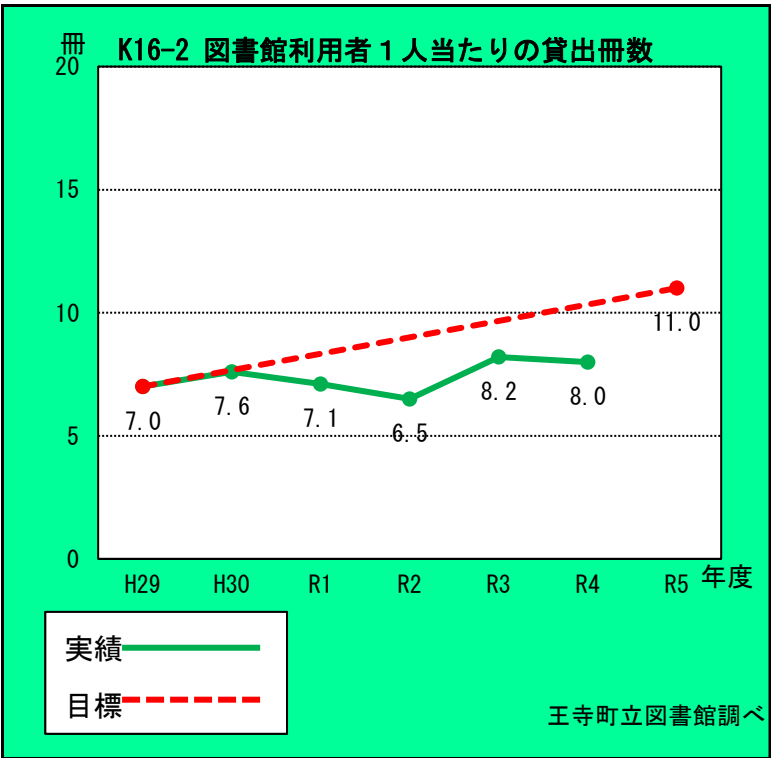
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 文化交流課 課長 田積 健児



K16-1 生涯学習施設の利用者数					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	104,149	↑	104,478	3.0%	115,000 125,000
	H29年度 (2017)	329 人	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	R4年6月1日から発声を伴う活動・管楽器演奏以外は定員を50%から100%に戻し、R5年1月4日からは全ての定員を100%に戻した。これによりR4年度は104,478人でR3年度と比較して15,898人の増となった。 R5年度も魅力ある自主事業を行いながら目標達成に向け取り組む。				

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(16)生涯学習の充実
施策	(31)生涯学習

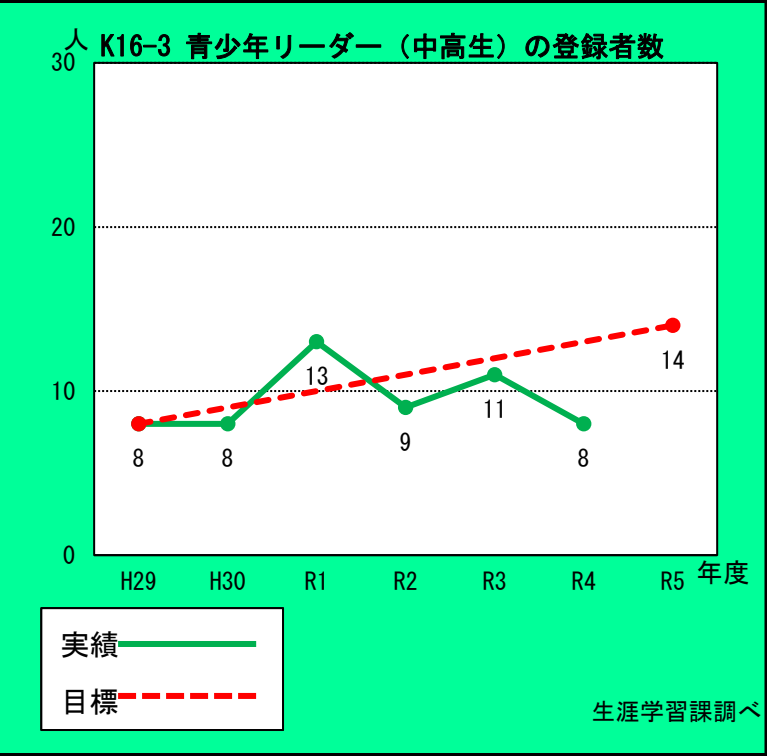
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 文化交流課 課長 田積 健児



K16-2 図書館利用者1人当たりの貸出冊数					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	7.0	↑	8.0	25.0%	11.0 15.0
	H29年度 (2017)	1.0 冊	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	R4年度の1人当たりの貸出冊数はR3年度と比較して横ばいであった。 R5年度は、すくすく広場などに出向き、直接その場で児童書の貸出を行うなど、貸出冊数の増加に向け取り組む。 ○参考：図書館貸出冊数 ・R4年度：192,373冊（内、電子図書4,488冊） ・R3年度：197,273冊（内、電子図書6,148冊） ・R2年度：153,288冊・R1年度：168,828冊 ・H30年度：181,369冊				

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(16)生涯学習の充実
施策	(31)青少年健全育成

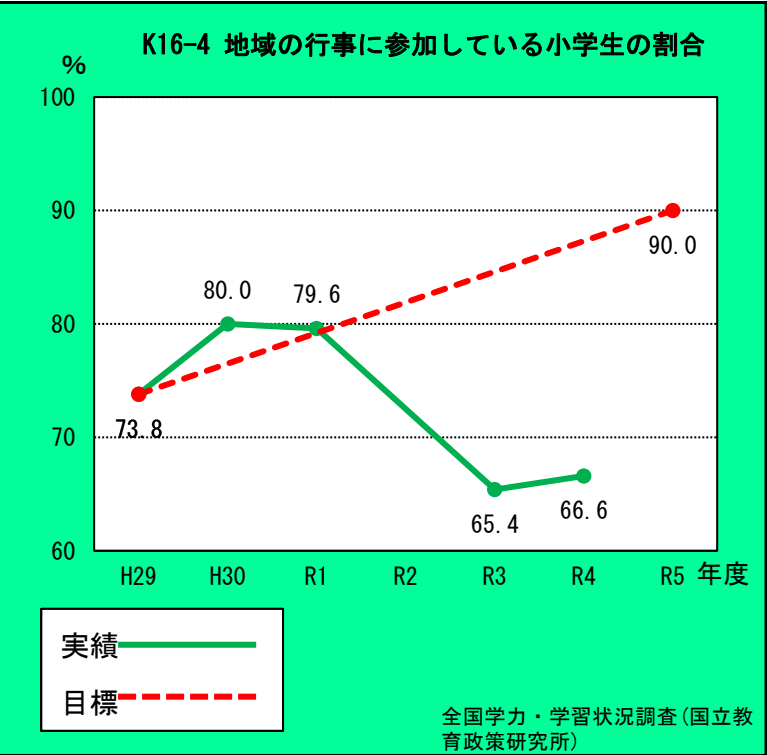
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 生涯学習課 課長 川中 孝茂



K16-3 青少年リーダー（中高生）の登録者数					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	8	→	8	0.0%	14 20
	H29年度 (2017)	0人	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	R4年度も新型コロナウイルスの影響により、リーダー活動ができなかった。 登録しているリーダーの継続的な活動支援や新たなリーダーを育成するためのジュニアリーダー養成研修会の開催など、今後も児童文化協会・スポーツ少年団・ボーイスカウトと連携して支援を行っていく。				

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(16)生涯学習の充実
施策	(32)青少年健全育成

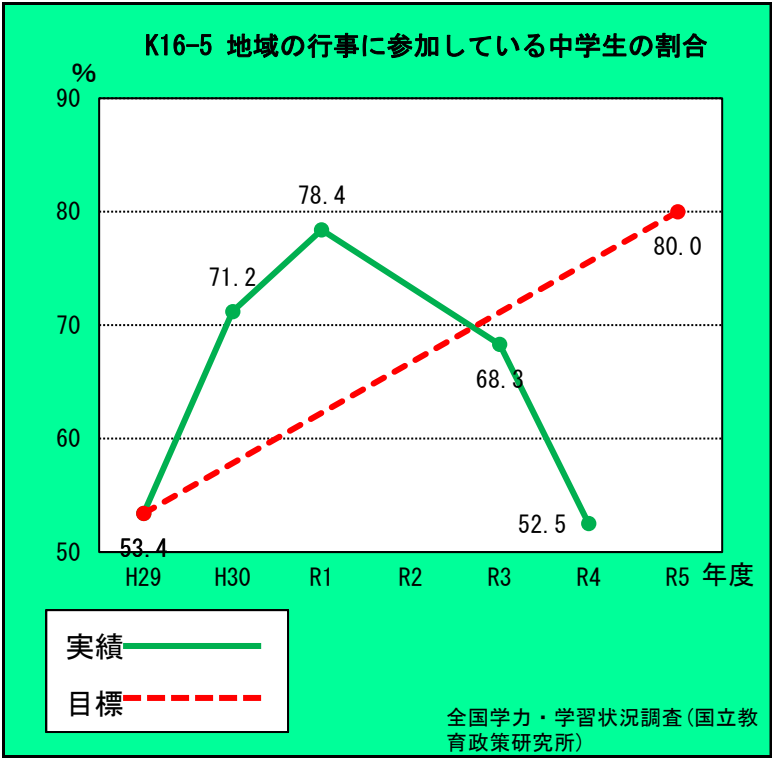
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



K16-4 地域の行事に参加している小学生の割合					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	73.8	↓	66.6	-44.4%	90 100
	H29年度 (2017)	-7.2%	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	コロナ禍による地域行事の中止により、令和4年度全国学力・学習状況調査において、「地域の行事に参加している小学生の割合」は、R3年度と同様、低い水準で推移している。 ※R2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が実施されなかった。 ※R5年度調査結果は、R5年7月末公表予定。				

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(16)生涯学習の充実
施策	(32)青少年健全育成

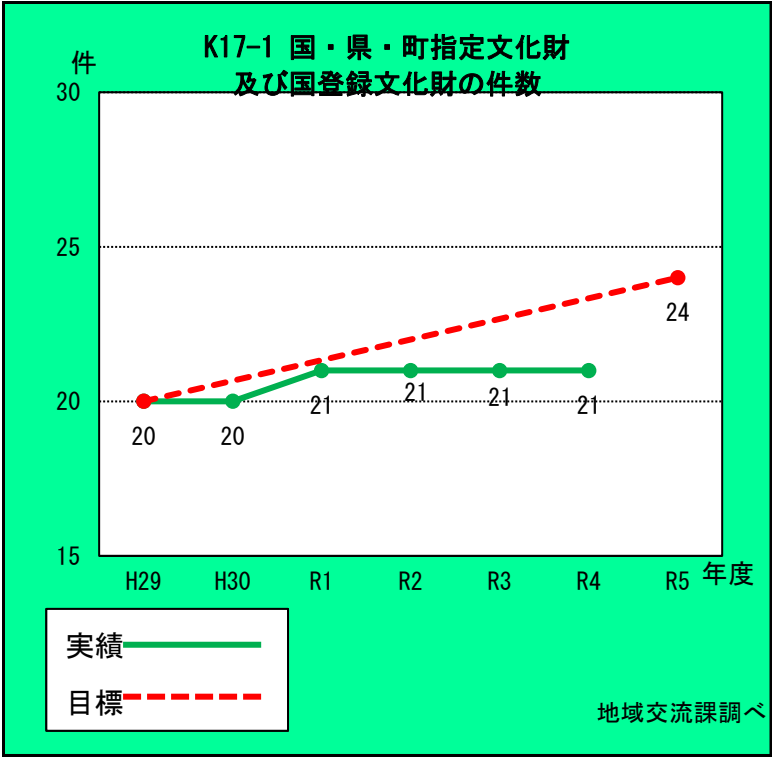
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



K16-5 地域の行事に参加している中学生の割合					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	53.4	↓	52.5	-3.4%	80 90
	H29年度 (2017)	-0.9 %	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	コロナ禍による地域行事の中止により、令和4年度全国学力・学習状況調査において、「地域の行事に参加している中学生の割合」が、R3年度に対し、15.8ポイント減少した。 ※R2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が実施されなかった。 ※R5年度調査結果は、R5年7月末公表予定。				

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(17)歴史文化・スポーツ活動の振興
施策	(33)文化財

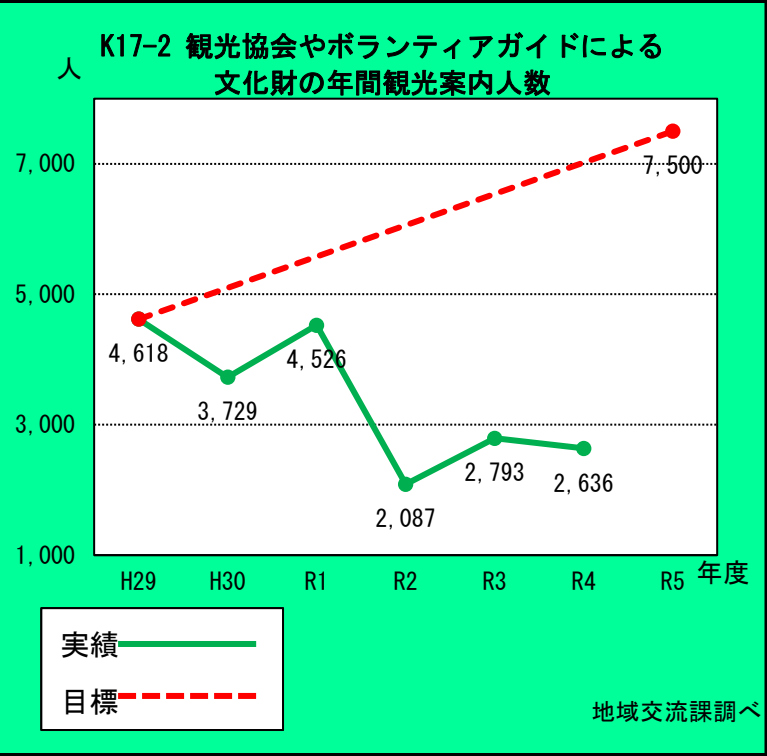
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 地域交流課 主幹 岡島 永昌



K17-1 国・県・町指定文化財及び国登録文化財の件数					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	20	↑	21	25.0%	24 28
	H29年度 (2017)	1 件	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	H31年2月22日付けで西安寺跡が奈良県指定史跡に指定されて以来、件数が増加していない。これは近年のコロナ禍を受けて、H27年度以降、新規指定の諮問機関である王寺町文化財保護審議会が開催できていないことと関係している。コロナの状況も落ち着きを見せたので、R4年度は同審議会を開催し、R5年度以降に町指定文化財の新規指定に向けて事務を進めていくことにしている。 なお、西安寺跡については、国史跡の指定を目指して、R4年度に調査成果をとりまとめ、奈良県・文化庁と指定に向けた協議に入る段階に至っており、また、王寺小学校跡地の利活用にもなって、片岡王寺跡についても文化財指定を視野に入れた調査を進める計画である。				

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(17) 歴史文化・スポーツ活動の振興
施策	(33) 文化財

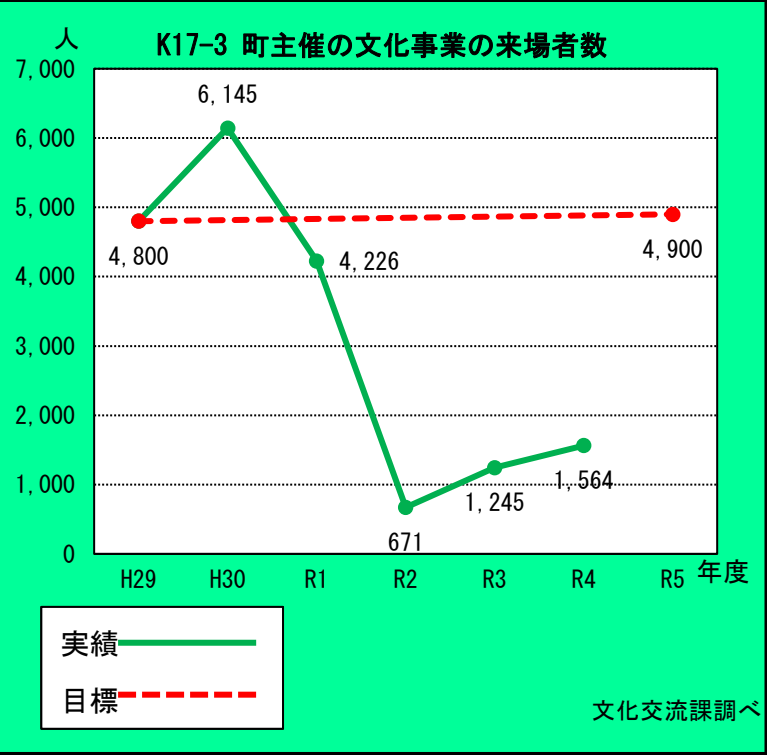
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 地域交流課 主幹 岡島 永昌



K17-2 観光協会やボランティアガイドによる文化財の年間観光案内人数					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	4,618	↓	2,636	-68.8%	7,500
	H29年度 (2017)	-1,982 人	R4年度 (2022)	4 5 年目	R5年度 (2023)
進捗状況					
R4年度も、R2・R3年度と同じくコロナ禍により観光が控えられる風潮にあり、目標に掲げた数値から乖離してしまっている。しかしながら、感染症拡大の状況も落ち着きつつあり、R5年度からは観光イベント等もコロナ前の水準で復活すると見込まれる。王寺町においてもR3・R4年度に明神山からの歴史的眺望を楽しむVRゴーグルコンテンツを制作し、R4年度はボランティアガイドの養成講座を開講したことで、8名が新たに入会した。R5年度は、スムーズにガイドの受け入れができるよう体制を整えられている。					

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(17) 歴史文化・スポーツ活動の振興
施策	(34) 文化・芸術活動

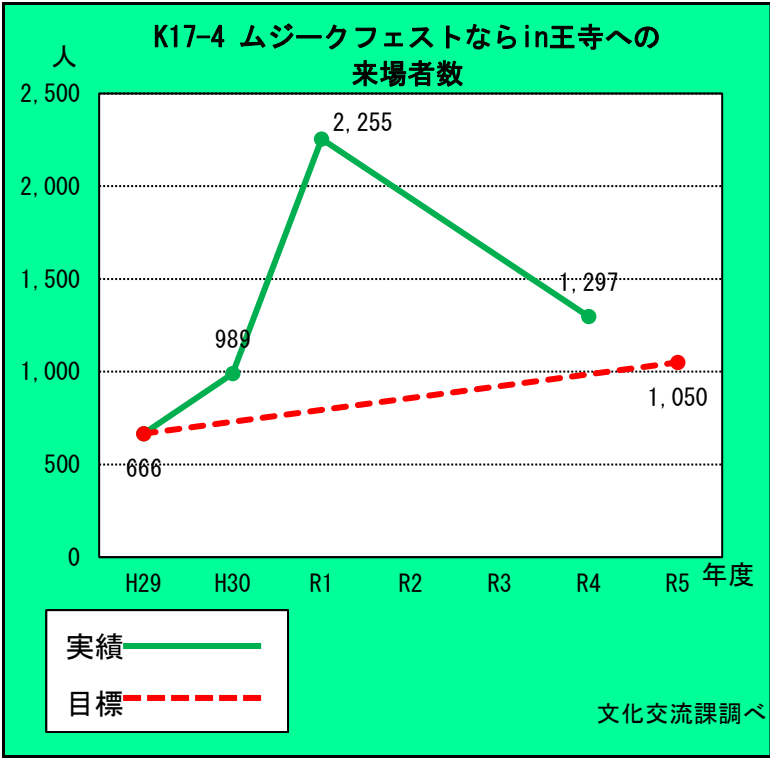
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 文化交流課 課長 田積 健児



K17-3 町主催の文化事業の来場者数					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	4,800	↓	1,564	-3236.0%	4,900
	H29年度 (2017)	-3,236 人	R4年度 (2022)	4 5 年目	R5年度 (2023)
進捗状況					
R4年6月1日から発声を伴う活動・管楽器演奏以外は定員を50%から100%に戻し、R5年1月4日からは全ての定員を100%に戻した。 しかし、R3年度に引き続き、R4年度も吹奏楽フェスティバルが無観客での開催となったことやリーベル・いずみアラカルトが開催できなかったことにより来場者数が伸びなかった。 R5年度は吹奏楽フェスティバルを有観客で開催し、中止していたリーベル・いずみアラカルトを再開するなど、目標達成に向け取り組む。					

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(17) 歴史文化・スポーツ活動の振興
施策	(34) 文化・芸術活動

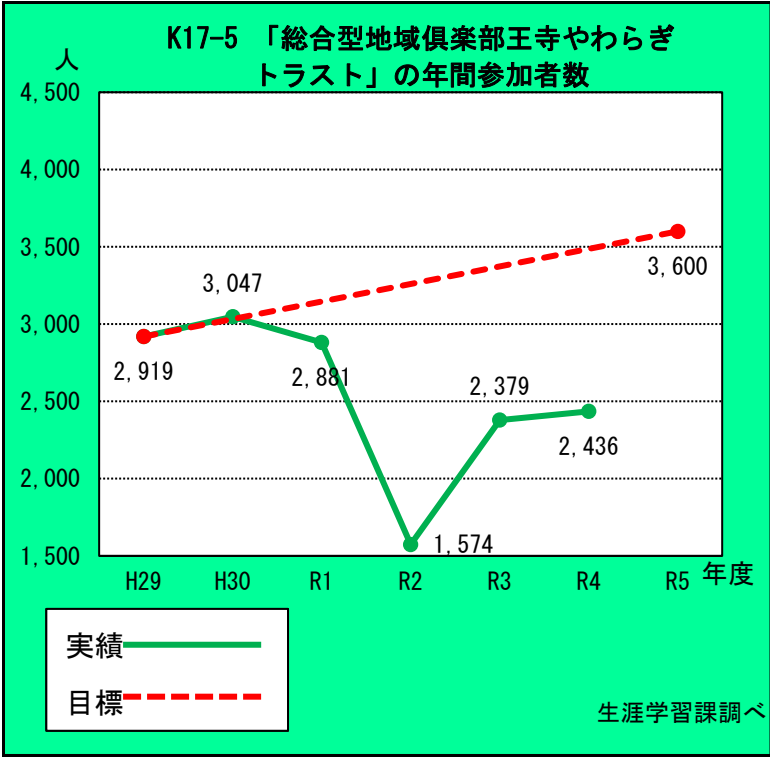
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 文化交流課 課長 田積 健児



K17-4 ムジークフェストならin王寺への来場者数					
KPI	基準値	実績値	進捗率(傾向)	目標値	
	666	1,297	164.3%	1,050	1,250
	H29年度(2017)	R4年度(2022)	4/5年目	R5年度(2023)	R10年度(2028)
進捗状況	新しく改装されたりーべる王寺東館地下りーべルステージでムジークフェストなら2022in王寺として「やわらぎウィンドハーモニーコンサート」、「駅前コンサート金管5重奏」、「王寺ハンドベルコンサート」を開催し、目標値を上回ることができた。 ※R2・R3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、「ムジークフェストなら」が中止であった。 ※R5年度実績は、6月末確定。				

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(17) 歴史文化・スポーツ活動の振興
施策	(35) スポーツ・レクリエーション

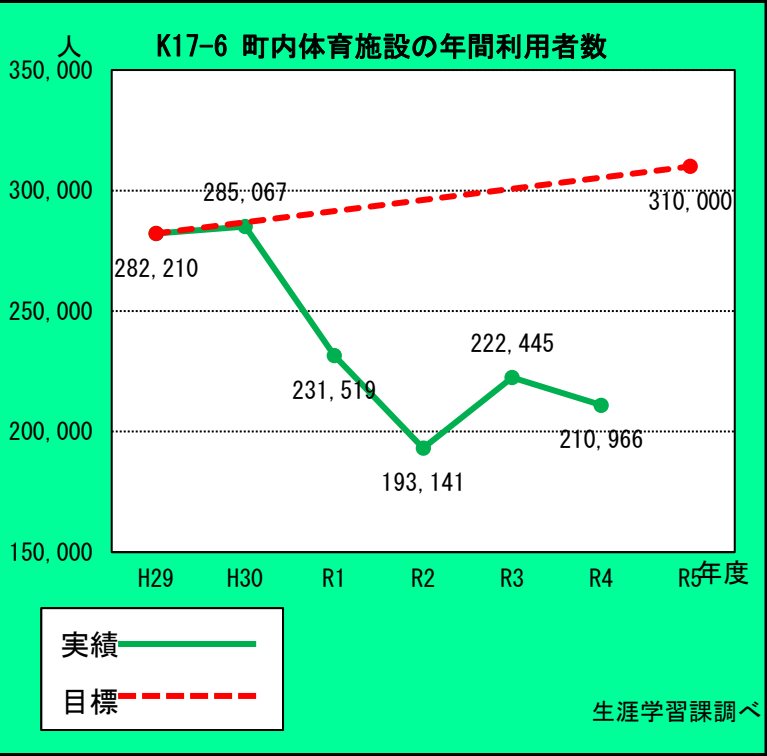
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 生涯学習課 課長 川中 孝茂



K17-5 「総合型地域倶楽部王寺やわらぎトラスト」の年間参加者数					
KPI	基準値	実績値	進捗率(傾向)	目標値	
	2,919	2,436	-70.9%	3,600	4,100
	H29年度(2017)	R4年度(2022)	4/5年目	R5年度(2023)	R10年度(2028)
進捗状況	R2年度～R4年度において会員を確保する新たな取組として、町内及び近隣市町への折込み広告(37,100部)、Youtubeチャンネル開設によるクラブの動画及び個別教室の動画の公開や講師を地域へ派遣する「出張1日スポーツ教室」の開講などに取り組んだ結果、会員数・参加者数ともに回復の兆候がみられた。 今後の取組として、多様な媒体による広報として町公式LINEを活用した情報発信などを実施していく。 【参考】やわらぎトラスト会員数 R1:1,011人 R2:732人 R3:829人 R4:830人				

目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
政策	(17) 歴史文化・スポーツ活動の振興
施策	(35) スポーツ・レクリエーション

担当部署・指標管理責任者
教育総務部 生涯学習課 課長 川中 孝茂



K17-6 町内体育施設の年間利用者数					
K P I	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	282,210	↓	210,966	-256.4%	310,000 340,000
	H29年度 (2017)	-71,244 人	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進 捗 状 況	R4年度は旧王寺小学校の仮設テニスコート整備により、体育施設としての使用を停止したことなどによりR3年度と比べて減少している。				

6 活力とにぎわいのあるまちづくり

数値目標

- 6(1)王寺町内での新規起業件数（累計）
- 6(2)人口の社会増（転入者数－転出者数）【再掲】
- 6(3)町の観光入込客数
- 6(4)王寺町周辺宿泊者数

K P I

政策(18) 活力の創出

- K18-1 町内の事業所数
- K18-2 町内の事業所の従業員数
- K18-3 王寺町に住み続けたいと思う人の割合

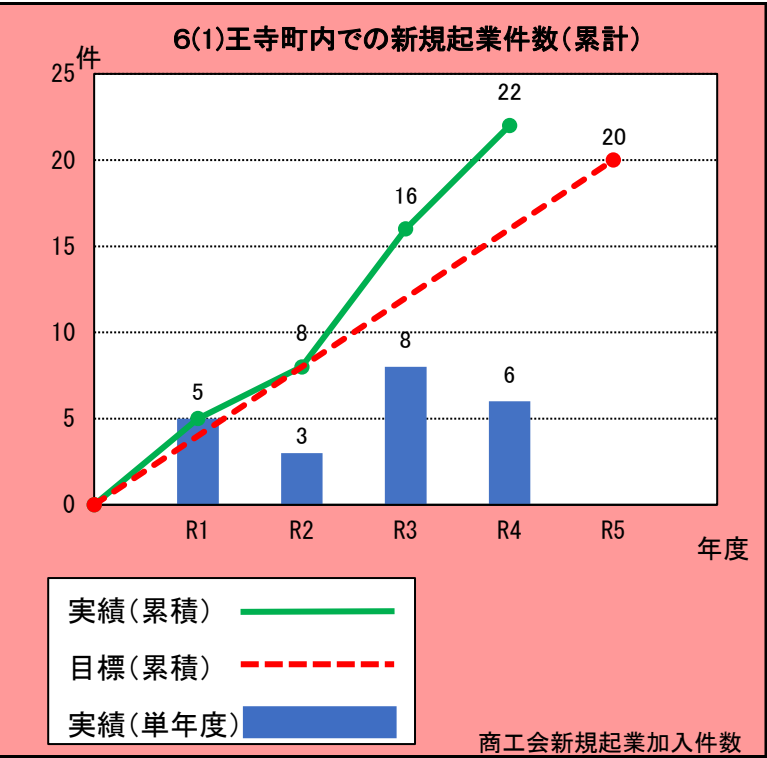
政策(19) 交流の促進

- K19-1 明神山の来訪者数
- K19-2 達磨寺来訪者数

数値目標

基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	歴史資源を活用した観光振興により、経済の好循環を促し、にぎわいのある住み続けたいと思える町をつくる

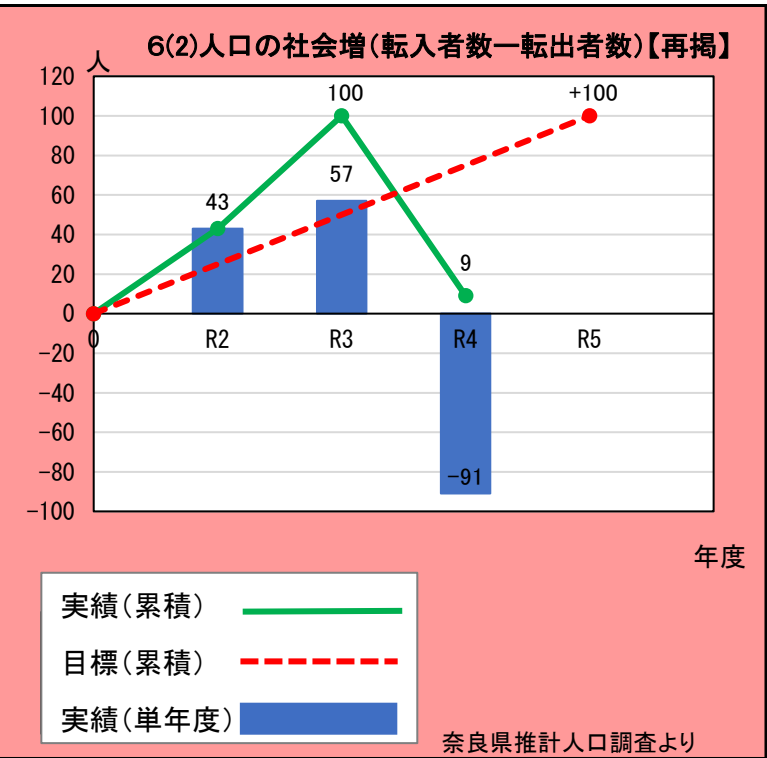
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 部長 前田 日出高



6(1)王寺町内での新規起業件数(累計)					
数値目標	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	0	↗	22	110.0%	20
	H30年度(2018)	22.0件	R4年度(2022)	4/5年目	R5年度(2023)
進捗状況	王寺町では第3次産業が90%以上を占め、王寺駅周辺に事業者が集積しているため、王寺駅を中心とした「集客」と「消費」を喚起する取組を行い、賑わいを創出していく。				
	R7年に開催される大阪・関西万博等のビッグイベントに向けて、観光産業の育成と周辺居住者、駅利用者が必要とされる事業者を育成していく。事業者の育成については、商工会に支援体制の強化を働きかけていく。また、南都銀行旧王寺支店跡地に誘致したテレワーク施設0-terraceと連携し、IT人材育成からITビジネスの起業を促していく。				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	都市基盤の整備、環境や景観への配慮により、快適に暮らし続けられる町をつくる

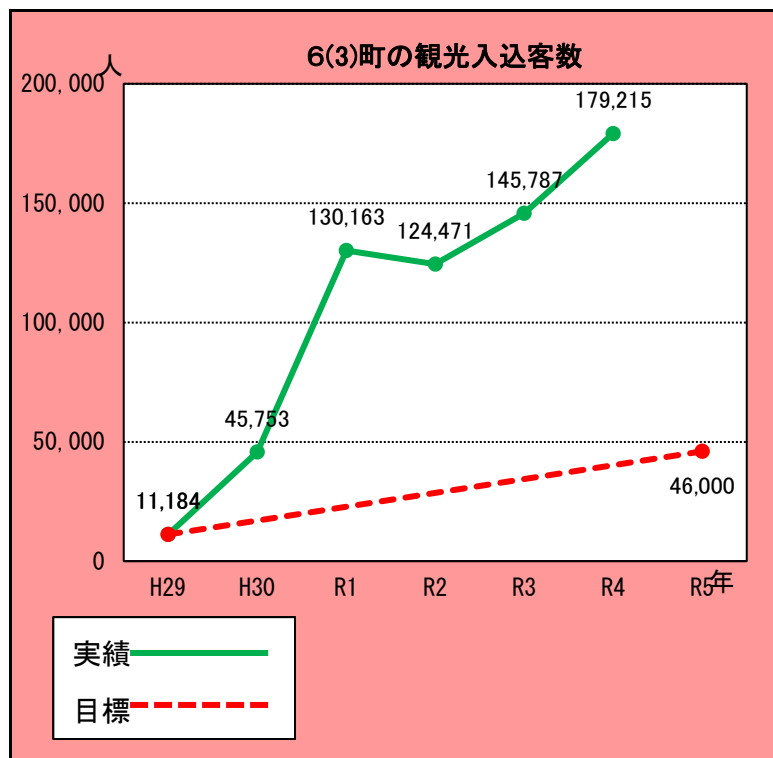
担当部署・指標管理責任者
王寺町理事 守田 景敬



6(2)人口の社会増(転入者数－転出者数)【再掲】					
数値目標	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	0.0	↗	9	9.0%	100
	H30年度(2018)	9人	R4年度(2022)	3/4年目	R5年度(2023)
進捗状況	都市基盤の整備について、王寺駅周辺への医療・福祉、商業、事業所(オフィス)等の都市機能の集積及び生活サービス機能の充実を図るため、有識者会議等で、将来のまちづくりについて協議を重ねており、R4年6月に「王寺駅周辺地区(駅北エリア)まちづくり基本計画」を策定した。				
	今年度は、王寺駅南エリアのまちづくり計画を定め、王寺町の中心拠点である王寺駅周辺について「西和地域の中核となる拠点機能の強化」をコンセプトに、1つの計画に取りまとめていく予定である。また、その計画を実現するため、民間活力による拠点施設の整備推進や、まちなかウォーカブルの推進、まちなみの誘導型の地区計画を定めることで、人中心の空間を創出し、良好な都市景観を形成していくことに繋がる。引き続き、駅周辺の拠点機能を強化し、活力あふれる西和地域の拠点都市を目指す。				

基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	歴史資源を活用した観光振興により、経済の好循環を促し、にぎわいのある住み続けたいと思える町をつくる

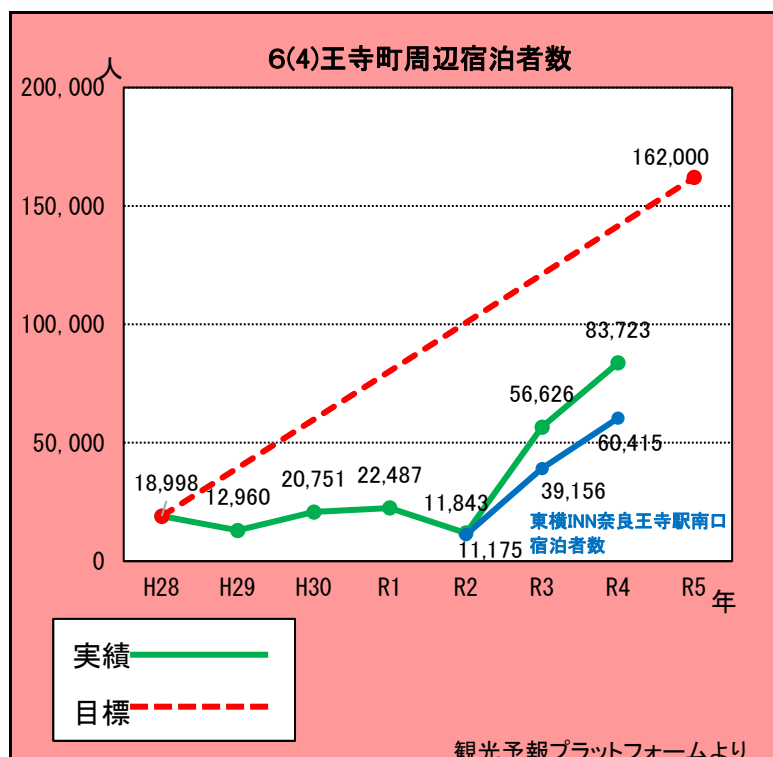
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 部長 前田 日出高



6(3)町の観光入込客数					
数値目標	基準値	実績値	進捗率 (傾向)	目標値	
	11,184	179,215	482.6%	46,000	60,000
	H29年 (2017)	168,031 人	R4年 (2022)	4 5 年目	R5年 (2023)
進捗状況	コロナ禍においても感染防止対策をしつつ、王寺らしいイベントとして「鉄道イベント」や「全国だるまさんがころんだ選手権大会」を開催し、集客と消費を連動する仕組みづくりを行い、域内経済の活性化を図った。 今後も町内の観光資源の磨き上げと交通の要衝の強みを生かして王寺に集客する仕組みをWEST NARA（周辺自治体）と連携しながら取り組んでいく。				

基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	歴史資源を活用した観光振興により、経済の好循環を促し、にぎわいのある住み続けたいと思える町をつくる

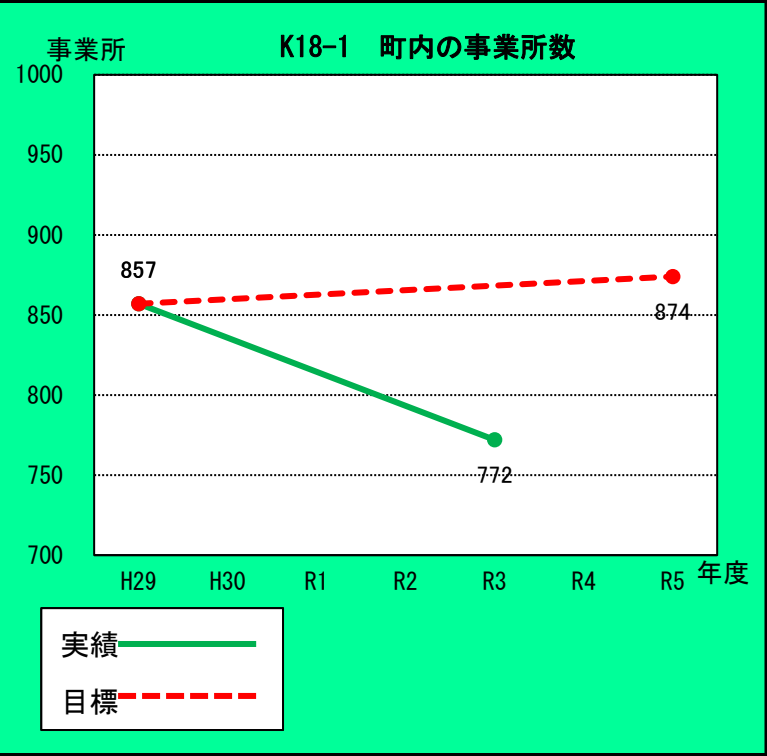
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 部長 前田 日出高



6(4)王寺町周辺宿泊者数					
数値目標	基準値	実績値	進捗率 (傾向)	目標値	
	18,998	83,723	45.3%	162,000	164,000
	H28年 (2016)	64,725 人	R4年 (2022)	4 5 年目	R5年 (2023)
進捗状況	R2年8月に開業したホテル東横INN奈良王寺駅南口は、コロナ禍においても90%以上の稼働率であり、月平均約5000名が宿泊されている。 R4年には、町観光協会と連携し、東横INNとしては全国初のコンセプトルーム「雪丸のお部屋」を開設し、人気を博している。 また、近鉄田原本線サイクリストレインに関連して、奈良県の「サイクリストに優しい宿」に登録されるなど、時勢に応じた取組を積極的に行なうことで稼働率の向上につなげている。 ホテル周辺飲食事業者等とも連携を図りながら、域内経済を活性化する取組を進めていく。				

目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
政策	(18) 活力の創出
施策	(36) 産業・雇用

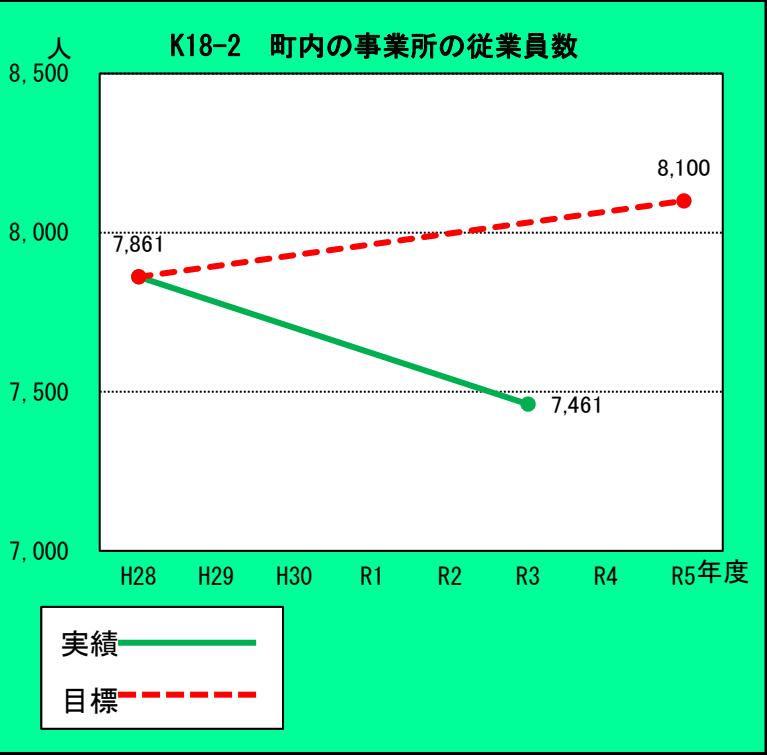
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 地域交流課 課長 片岡 篤



K18-1 町内の事業所数					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	857	↓	772	-500.0%	874 887
	H29年度 (2017)	-85 事業所	R3年度 (2021)	$\frac{3}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	王寺町では第3次産業が90%以上を占め、王寺駅周辺に事業者が集積しているため、王寺駅を中心とした「集客」と「消費」を喚起する取組を行い、賑わいを創出していく。 R7年に開催される大阪・関西万博等のビッグイベントに向けて、観光産業の育成と周辺居住者、駅利用者が必要とされる事業者を育成していく。 事業者の育成については、商工会に支援体制の強化を働きかけていく。また、南都銀行旧王寺支店跡地に誘致したテレワーク施設0-terraceと連携し、IT人材育成からITビジネスの起業を促していく。				

目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
政策	(18) 活力の創出
施策	(36) 産業・雇用

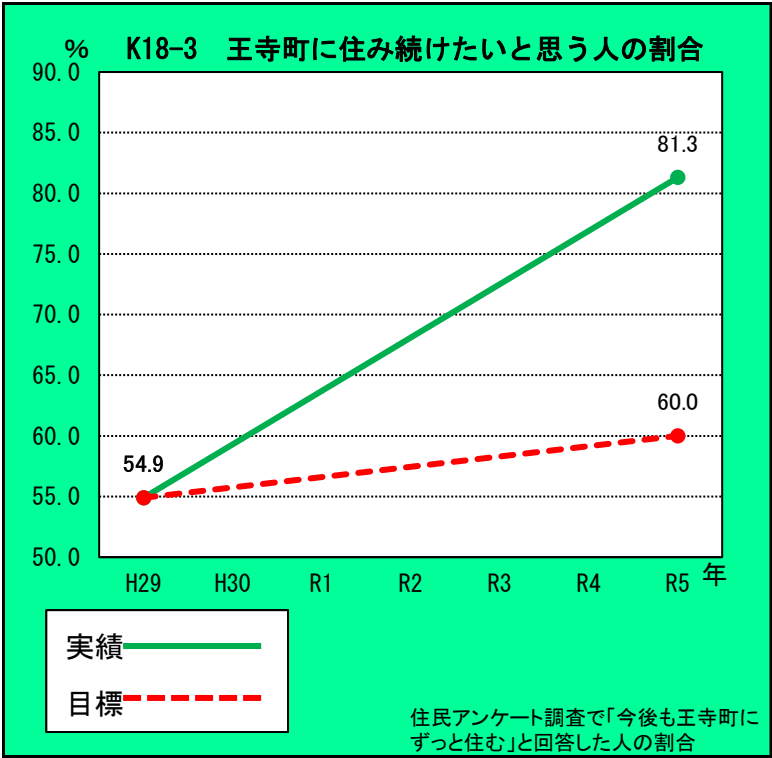
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 地域交流課 課長 片岡 篤



K18-2 町内の事業所の従業員数					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	7,861	↓	7,461	-167.4%	8,100 8,230
	H29年度 (2017)	-400 人	R3年度 (2021)	$\frac{3}{5}$ 年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	王寺町では第3次産業が90%以上を占め、王寺駅周辺に事業者が集積しているため、王寺駅を中心とした「集客」と「消費」を喚起する取組を行い、賑わいを創出していく。 R7年に開催される大阪・関西万博等のビッグイベントに向けて、観光産業の育成と周辺居住者、駅利用者が必要とされる事業者を育成していく。 事業者の育成については、商工会に支援体制の強化を働きかけていく。また、南都銀行旧王寺支店跡地に誘致したテレワーク施設0-terraceと連携し、IT人材育成からITビジネスの起業を促していく。				

目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
政策	(18) 活力の創出
施策	(37) 定住促進

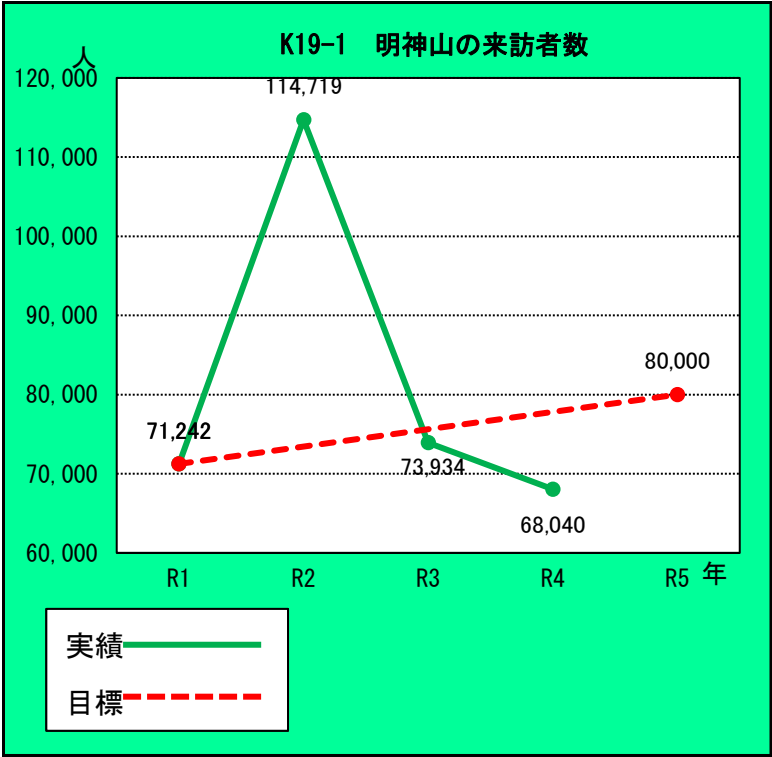
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



K18-3 王寺町に住み続けたいと思う人の割合					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	54.9	↑	81.3	517.6%	60.0 65.0
	H29年 (2017)	26.4 %	R5年 (2021)	5年目	R5年 (2023) R10年 (2028)
進捗状況	H28年度～R2年度の5年間、生活圏が類似する北葛城郡4町で事業連携し、映画のCMやラジオ番組のスポンサー、大阪市内や県内でイベントを開催するなど、プロモーション活動を行い、4町連携のスケールメリットを活かした移住促進事業を実施してきた。 また同時に町独自の定住促進事業として、若者世代及び子育て世代向けの住宅取得補助等を実施している。現在も三世帯世帯向けの住宅取得補助を継続中である。				

目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
政策	(19) 交流の促進
施策	(38) 観光・交流

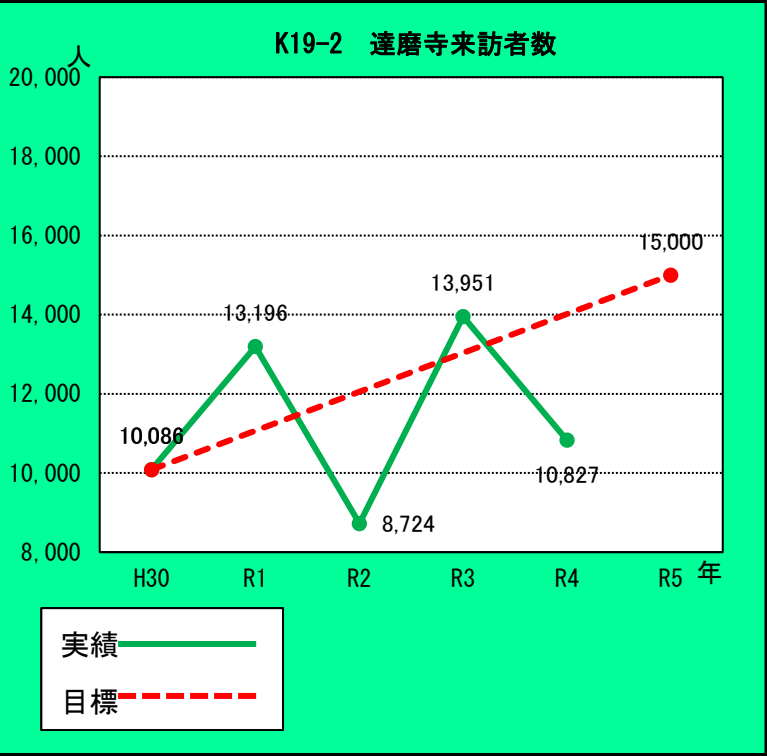
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 地域交流課 課長 片岡 篤



K19-1 明神山の来訪者数					
KPI	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	71,242	↓	68,040	-36.6%	80,000 100,000
	R1年度 (2019)	-3,202 人	R4年度 (2022)	3年目	R5年度 (2023) R10年度 (2028)
進捗状況	VRゴーグルやライブカメラ等を駆使した明神山の魅力発信の他、明神山山頂での新たな魅力として、明神山山頂でまちの芸術祭(アート作品展示)やオーリーブ収穫祭(山頂マルシェ)を開催し、ハイカー以外の方が訪れる機会を創出している。 また、明日香村と連携して明神山山頂で「烽火」の実証実験を行っているが、R7年に飛鳥・藤原京の世界遺産登録になれば明神山山頂から6つの世界遺産が見渡せることとなる。このような明神山にまつわる話題を効果的に発信して登山者数の増加を図っていきたい。				

目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
政策	(19) 交流の促進
施策	(38) 観光・交流

担当部署・指標管理責任者
地域整備部 地域交流課 課長 片岡 篤



K19-2 達磨寺来訪者数					
K P I	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	10,086	↗	10,827	15.1%	15,000
	H30年度 (2018)	741 人	R4年度 (2022)	$\frac{3}{4}$ 年目	R5年度 (2023)
進 捗 状 況					R10年度 (2028)
	アフターコロナにおいて、達磨寺行事(達磨会式、除夜の鐘、節分豆まき)の充実と全国だるまさんがころんだ選手権大会、王寺まちの芸術祭、合格だるまストリート、王寺マルシェなど集客力の高い事業を行う。 また、達磨寺を訪れる観光客の対応として王寺観光ボランティアガイドの会に定点ガイドや王寺まちづくり事業のプログラムを提供し、観光客の満足度を高める。				